

東部幹線水路

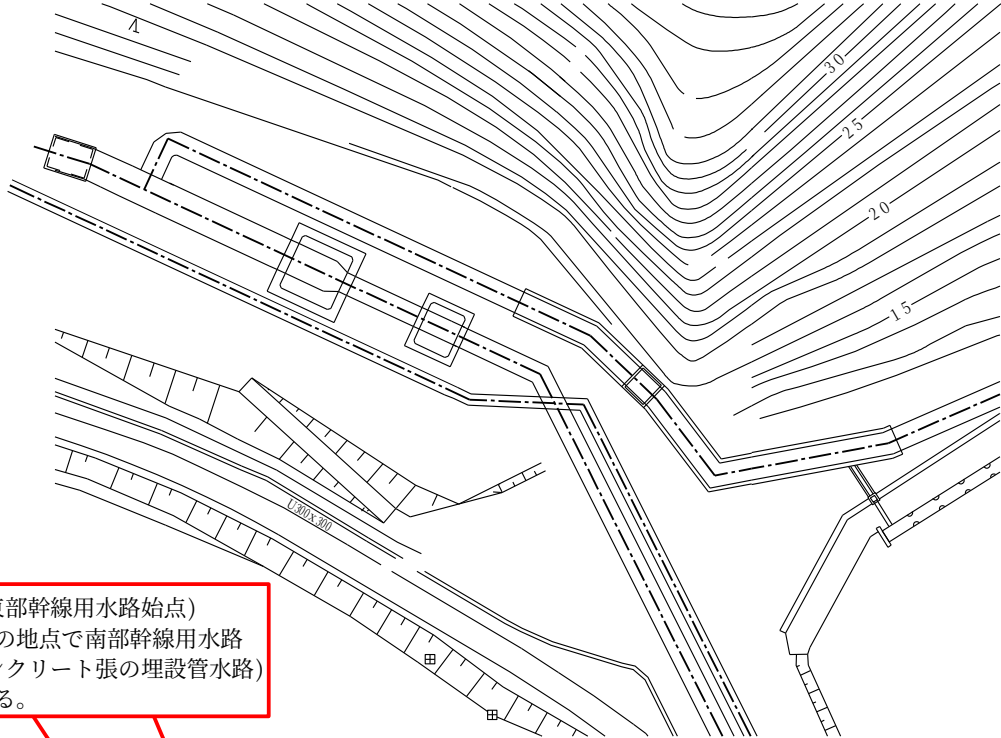
管理設備調書

分水工番号 東部幹線分水工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 35 ' 41.73 "	
			関連事業名			経度	140 ° 23 ' 05.29 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3800 1870 5670	国営 計画流量 (m³ S)	計	最大流量	施設容量	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要	
----	--

分水工は南部幹線用水路に隣接し南部幹線38号空気弁工が目印となる。
南部幹線用水路との分岐部分は地下埋設となっているため分岐地点に看板を設置している。
東部幹線用水路の始点となる分水工である。

平面図



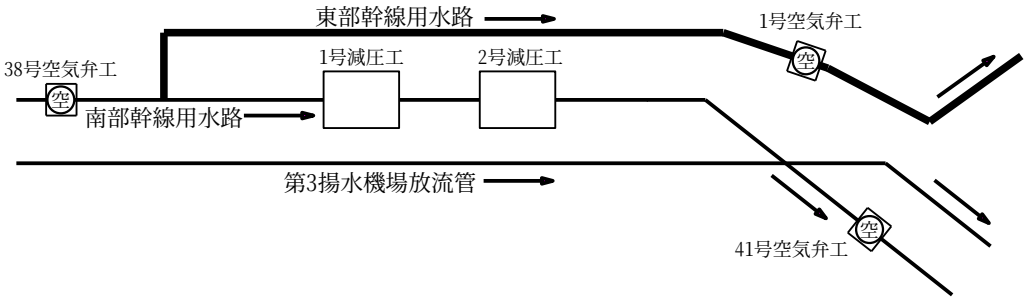
分水工(東部幹線用水路始点)
この看板の地点で南部幹線用水路
(右側コンクリート張の埋設管水路)
と分岐する。



分水工番号 東部幹線分水工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 41.73 "
			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 05.29 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



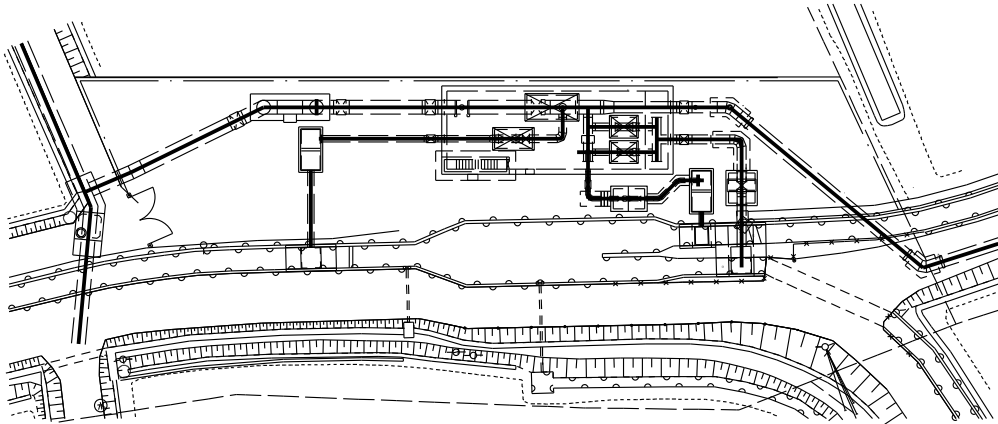
凡 例	
空 気 弁	⊗

分水工番号			東金東分水工	路線名	東部幹線用水路		緯度	35°33'54.18"	
				関連事業名			経度	140°24'11.76"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,060 430 1,490	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 2.01	施設容量 2.01	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.70 4.12
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

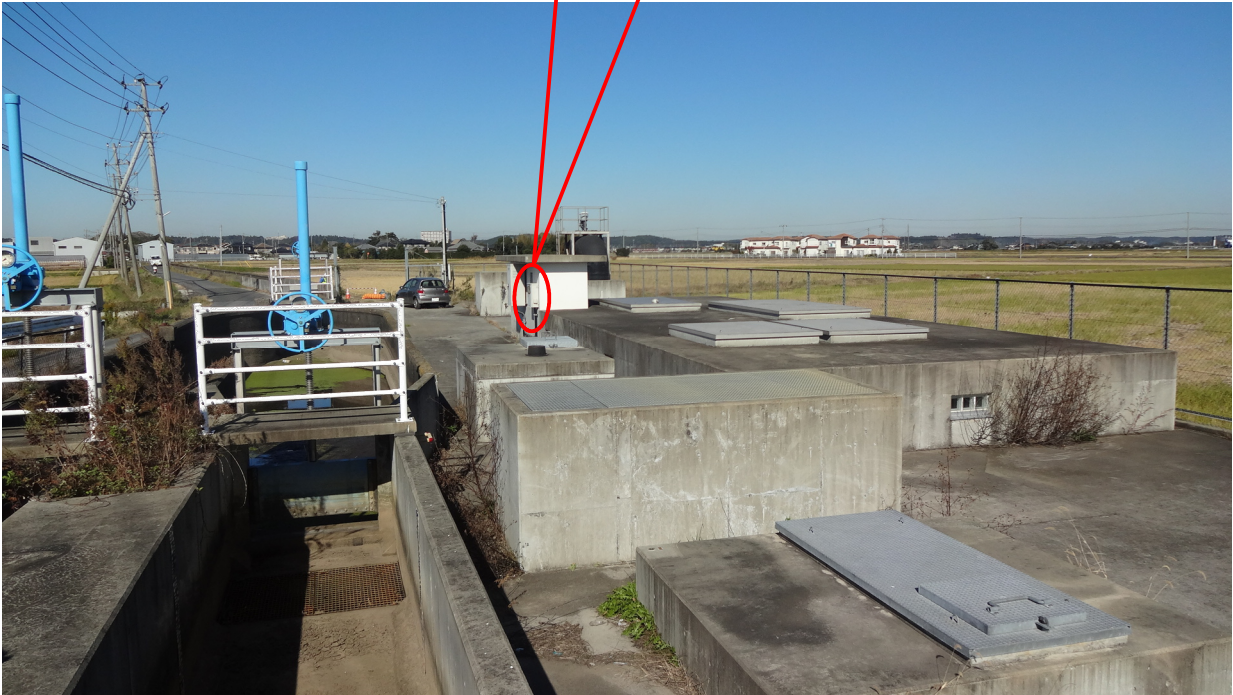
概要

分水工は県営東金支線水路正気派線分水工に隣接しサイホンブレーカーが目印となる。
県営東金支線水路及び同支線正気派線水路と新たに造成した県営東金東支線水路への分水工機能を有している。

平面図



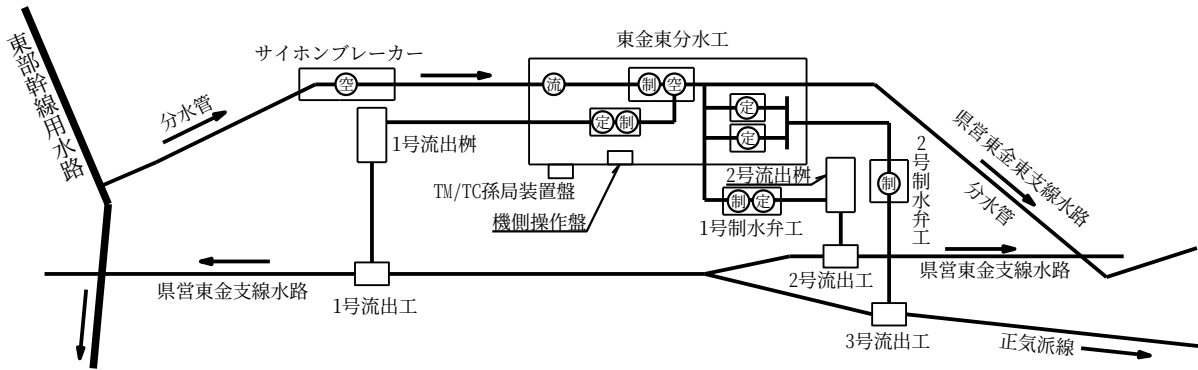
孫局
東金東分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤も併設されている。



分水工番号	東金東分水工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 33 ' 54.18 "
		関連事業名		経度	140 ° 24 ' 11.76 "

説明図

管理施設・配管・模式図

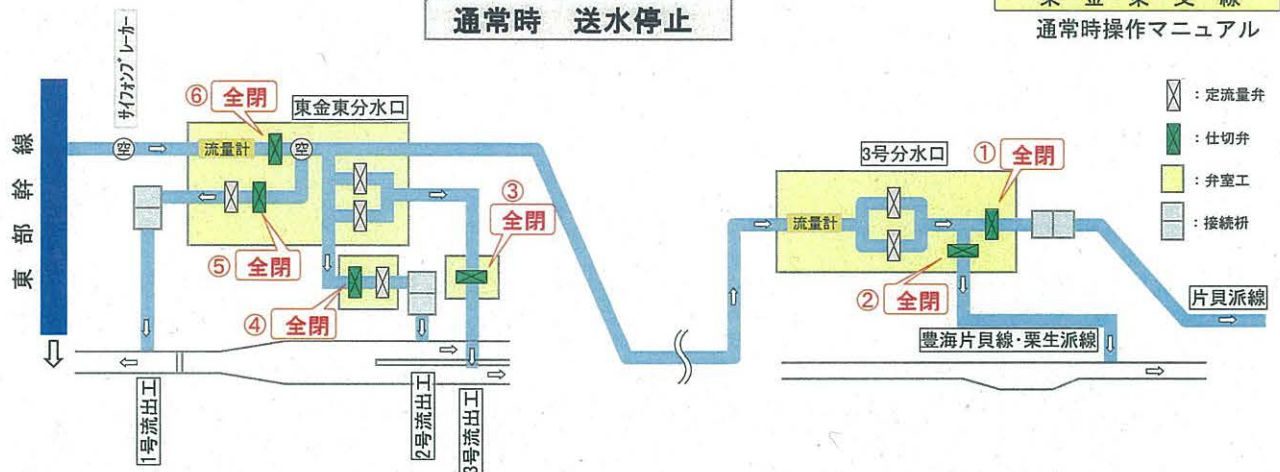


凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
流 量 計	⊙流
定 流 量 弁	⊙定

【制水弁について】
東金東分水工分水管の主弁は、電動バタフライバルブであり、第2揚水機場中央管理所からの遠隔操作で全閉・全開が可能のほか、現地孫局からも操作可能である。
その他の制水弁（副弁含）は仕切弁で、全て上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止



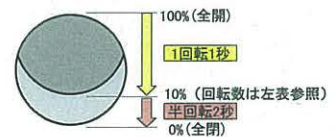
《注意》

- ・下流の分水工から順番に閉鎖（①→⑤）し、最後に⑥を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、更に注意して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

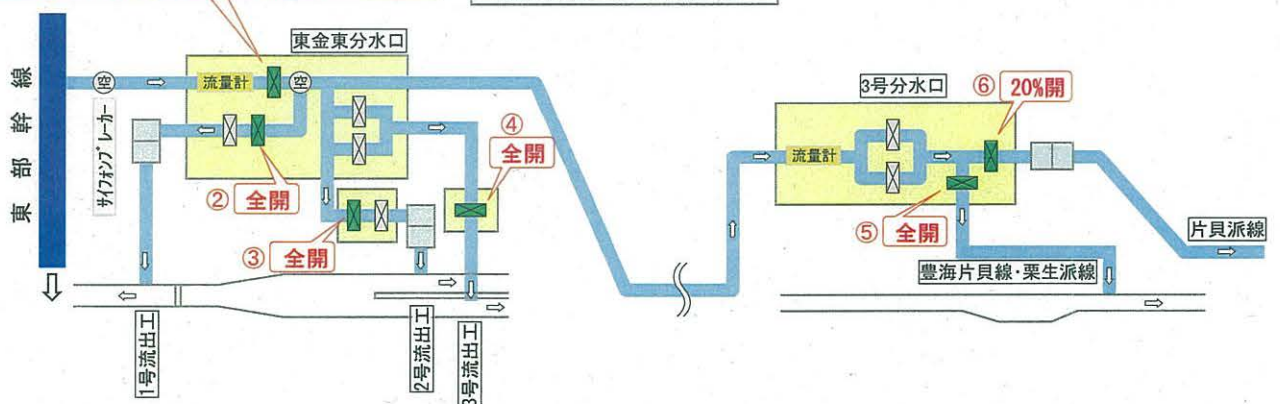
上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	162	1回転1秒
②	35	31回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	37	33回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
④	15	13回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑤	30	27回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑥	600	電動（手動の場合、1回転1秒）

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始

- ・開操作し0.2m3/sで停止。（流量計で確認）
- ・満水確認後全開。
（定流量弁上流圧力計で確認）



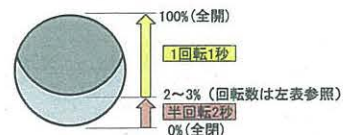
《注意》

- ・開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・⑤より先に⑥を開けると、下流水槽で溢れるので、⑤⇒⑥の順は厳守する。
- ・⑥の開度は、下流水槽の刃形堰により流量を確認しながら最終調整する。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	600	電動（手動の場合、1回転1秒）
②	30	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	15	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
④	37	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑤	35	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑥	162	1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

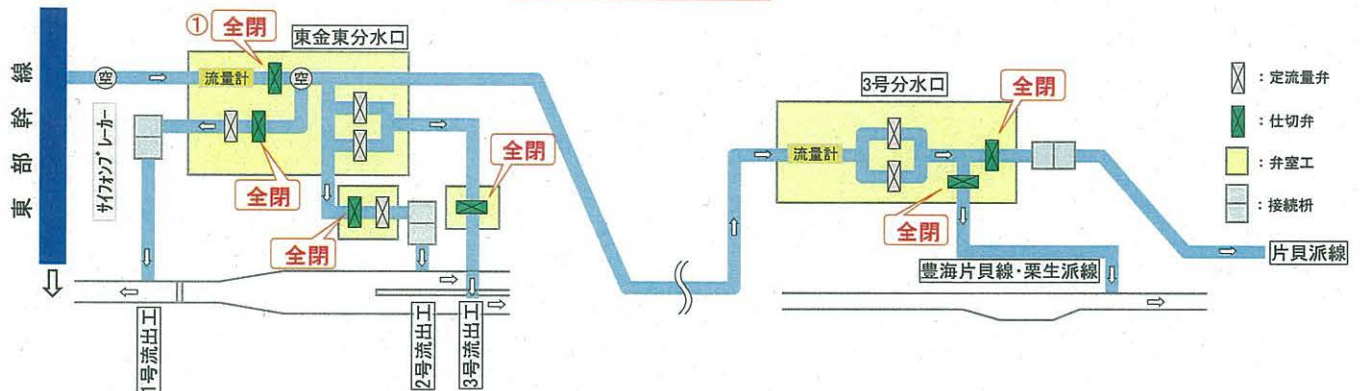
↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

東 金 東 支 線

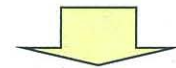
緊急時操作マニュアル

緊 急 停 止



《注意》

- ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
- ・ ①は電動閉鎖して良いが、手動で閉鎖する場合は1回転1秒を目安とする。他の閉鎖速度も同様である。
- ・ 定流量弁は操作しないこと。



緊急停止後の復旧

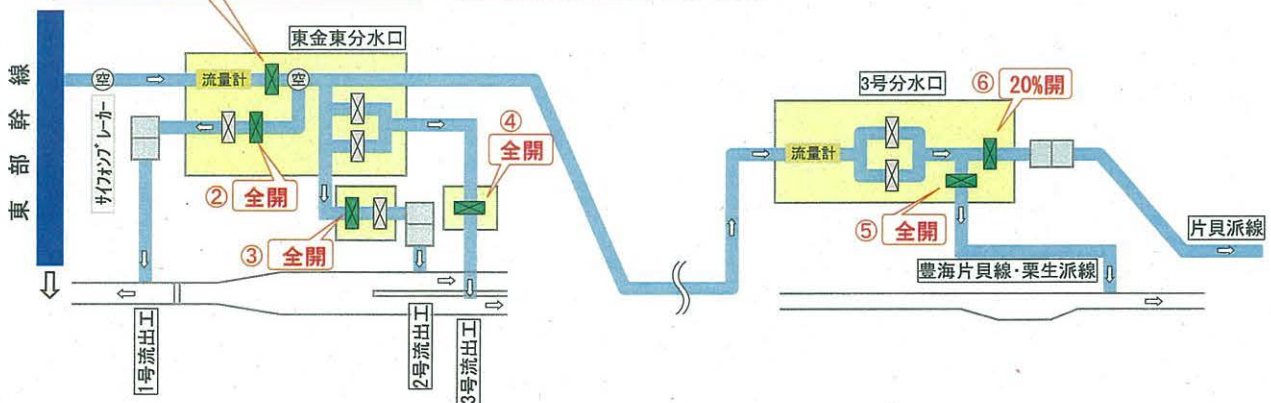
※幹線の充水作業が完了後に実施。

①
満水10%流量(0.20m³/s)まで開操作
(上流側の流量計で確認)

【充 水 中】

満水確認後全開
(定流量弁上流圧力計で確認)

0.20m³/sでの所要時間13分
・ 充水率(空虚率)12%程度
・ 所要時間は注水量に反比例



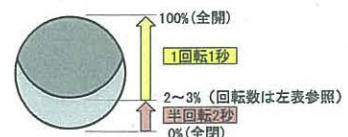
《注意》

- ・ 開始は2~3%開度(「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認)で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ ⑤より先に⑥を開けると、下流水槽で溢れるので、⑤⇒⑥の順は厳守する。
- ・ ⑥の開度は、下流水槽の刃形堰により流量を確認しながら最終調整する。
- ・ 定流量弁は操作しないこと。

操 作 手 順 と 要 領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	600	電動(手動の場合、1回転1秒)
②	30	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	15	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
④	37	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑤	35	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑥	162	1回転1秒

バルブ開放要領

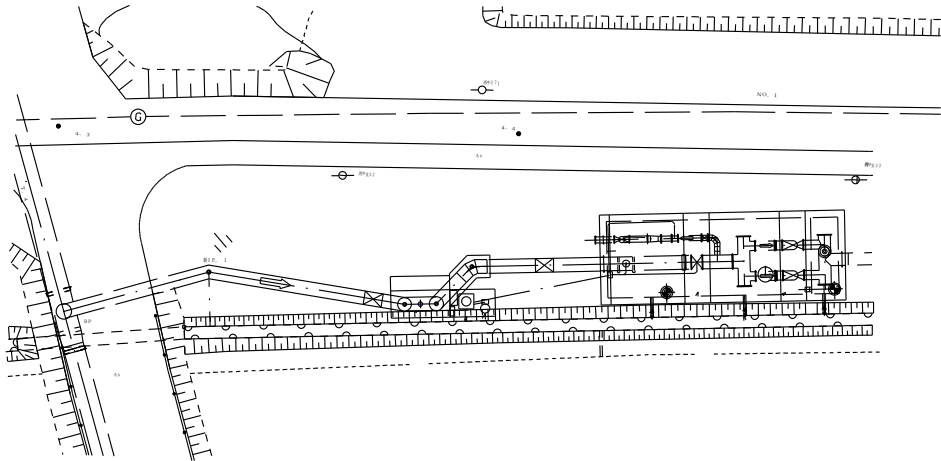


分木工番号 福岡東分木工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 31 ' 28.73 "	
			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 49.28 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	840 430 1,270	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.33	施設容量 1.33	分木工付近 標高(m)	地盤高 管中心高 4.40 1.00
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要	
----	--

分木工は東金市道0134号線に隣接しているが、流量計及び制御弁室は東金市管理の道路敷地下に埋設されている。
このため東金市道0134号線脇に立つサイホンブレーカーが分木工位置の目印となる。
県営福岡東支線水路と福岡東支線取付水路への分木工機能を有している。

平面図



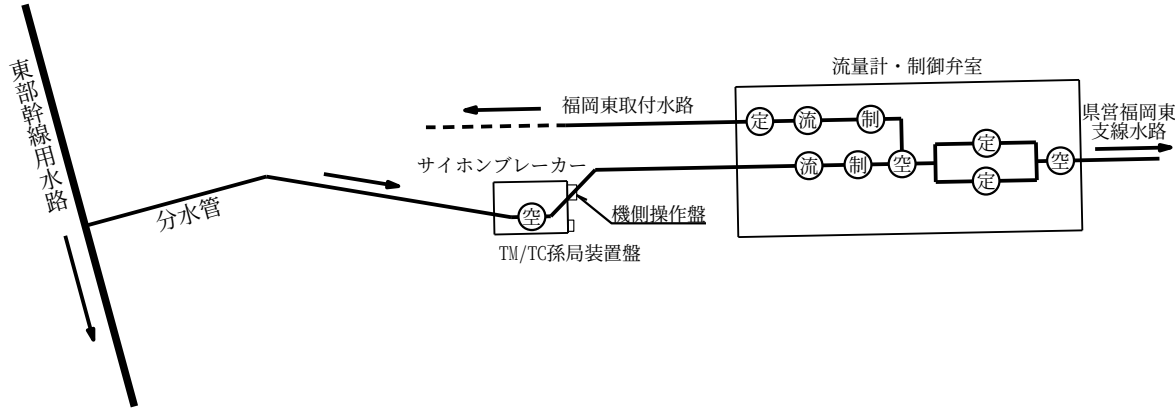
孫局
福岡東分木工の制水弁(主弁)はここから操作。
機側操作盤を併設している。
手前のフェンス内に流量表示盤を設置。



分木工番号 福岡東分木工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 31 ' 28.73 "
			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 49.28 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



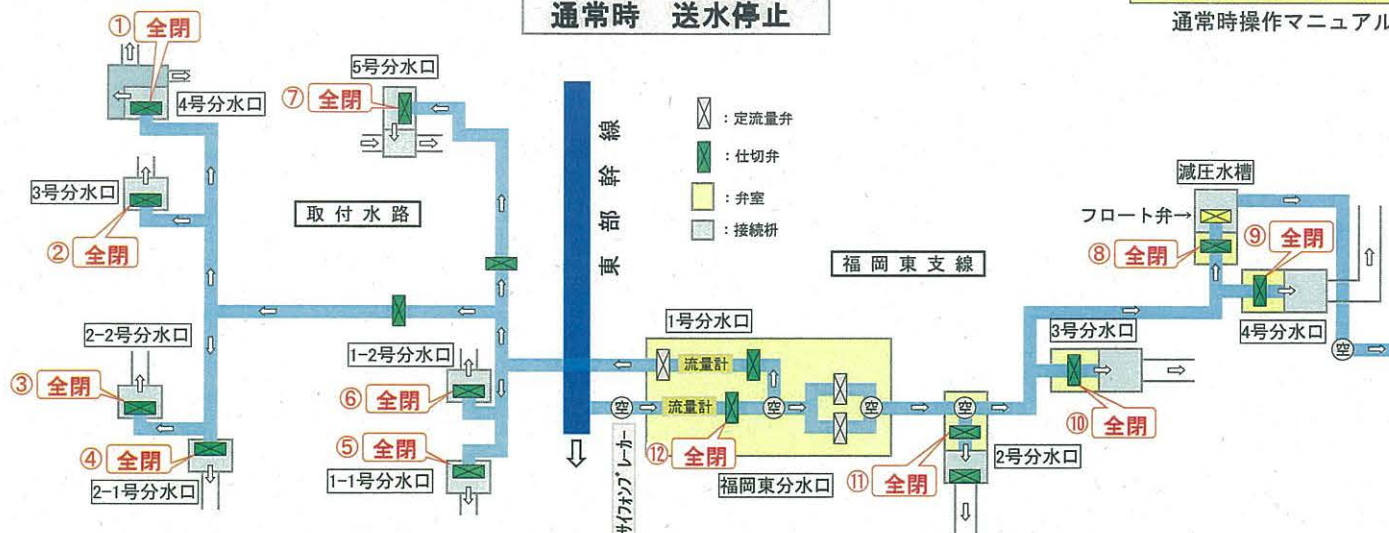
凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
電 磁 流 量 計	⊙流
定 流 量 弁	⊙定

【制水弁について】

福岡東分木工分水管の主弁は、電動バタフライバルブであり、第2揚水機場中央管理所からの遠隔操作で全閉・全開が可能なほか、現地孫局からも操作可能である。
その他の制水弁（副弁含）は仕切弁で、全て上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止

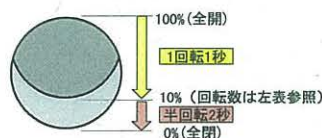


- 《注意》
- ・下流の分水工から順番に閉鎖（①→⑫）し、最後に⑫を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
 - ・定流量弁 は操作しないこと。

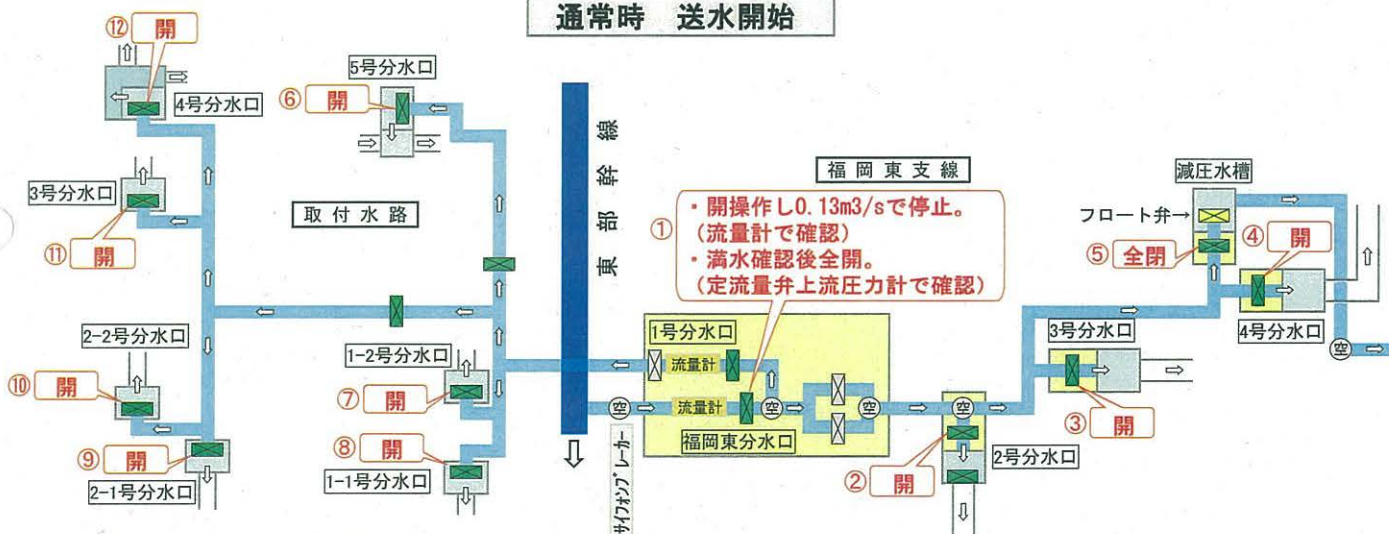
操作手順と要領

上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①～⑦	15	13回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑧	親30・子11	親弁1回転1秒で全閉後、子弁半回転2秒で全閉
⑨、⑩	15	13回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑪	9	8回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑫	—	電動（手動の場合、1回転1秒）

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始

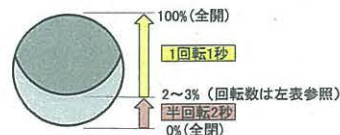


- 《注意》
- ・開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満水を確認して下さい。
 - ・「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
 - ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	—	電動（手動の場合、1回転1秒）
②	9	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
③、④	15	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑤	親30・子11	半回転2秒で子弁80%開け、満水確認後に1回転1秒
⑥～⑫	15	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒

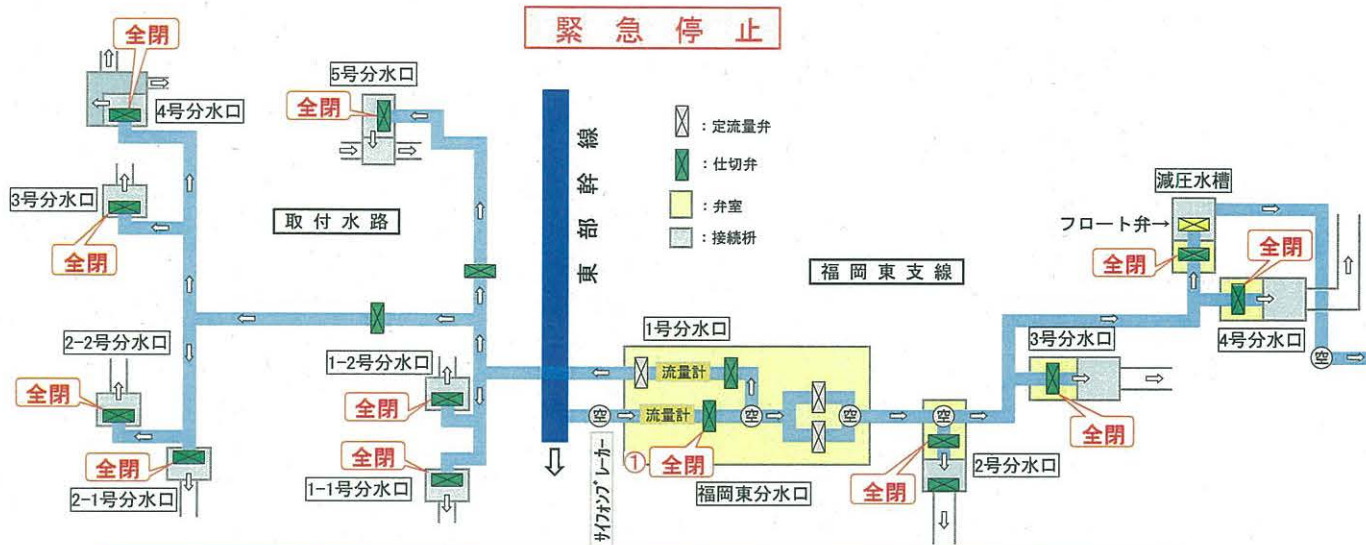
バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

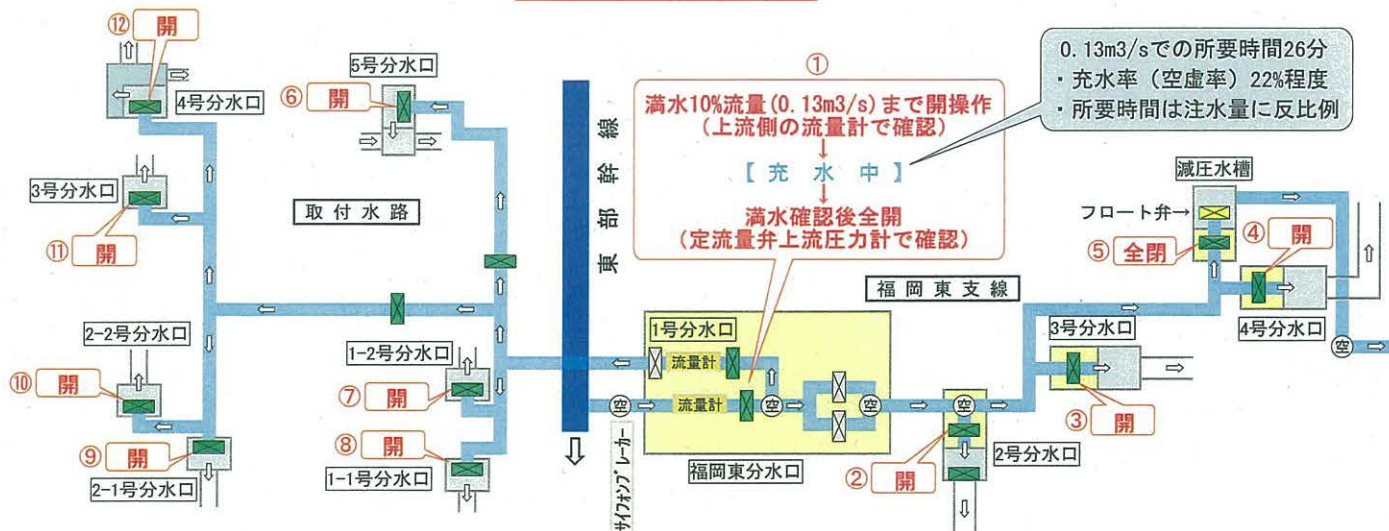
機場停止・幹線圧力低下
↓（幹線圧力安定後）
緊急停止 の手順
↓（幹線充水完了後）
緊急停止後の復旧 の手順

福岡東支線
緊急時操作マニュアル



《注意》
・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
・ ①は電動閉鎖して良いが、手動で閉鎖する場合は1回転1秒を目安とする。他の閉鎖速度も同様である。
・ 定流量弁は操作しないこと。

緊急停止後の復旧 ※幹線の充水作業が完了後に実施。

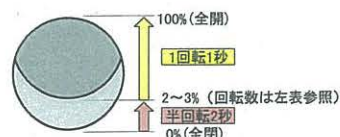


《注意》
・ 開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
・ 定流量弁は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	—	電動（手動の場合、1回転1秒）
②	9	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
④	親30・子11	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
③、⑤	15	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑥～⑫	15	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

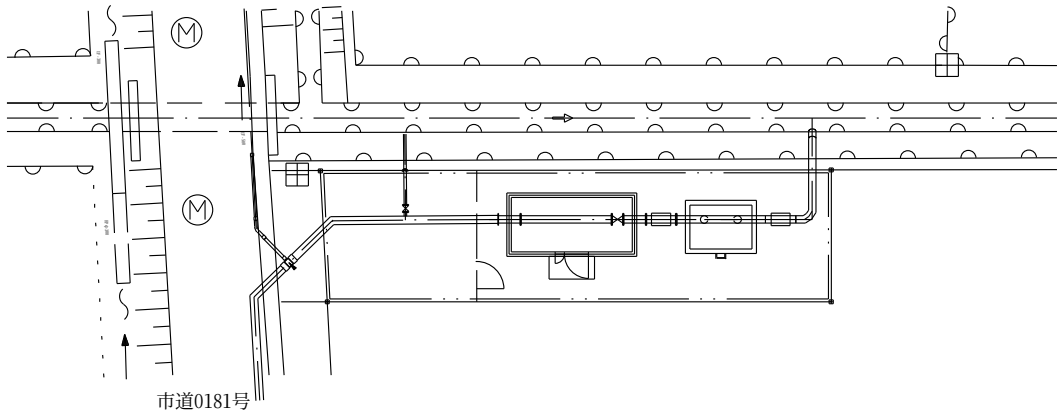


分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 30 ' 33.35 "	
大網東1分水工			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 12.21 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	140 50 190	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 0.15m ³ /S	施設容量 0.15m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

分水工は大網白里市道0181号線に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
大網東支線取付水路への分水工機能のほか、桂山池放流口への分岐施設を併設している。

平面図



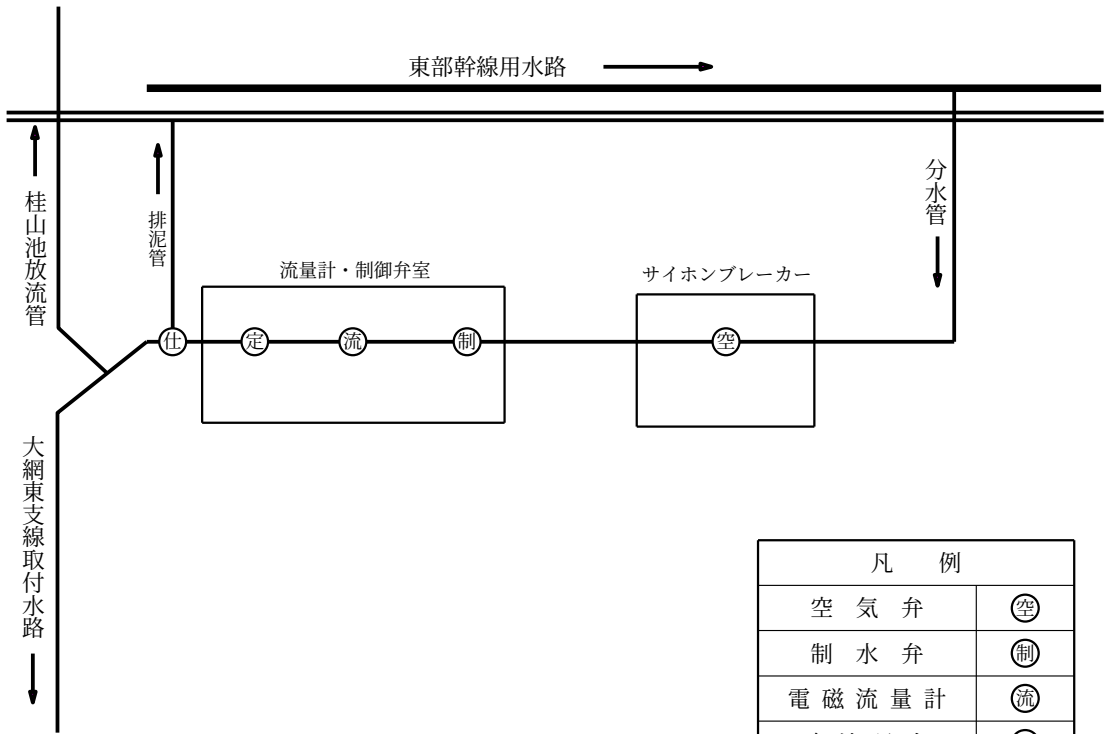
流量計・制御弁室
大網東1分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は流量計・制御弁室扉脇に設置されている。



分水工番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 30 ' 33.35 "	
大網東1分水工			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 12.21 "	

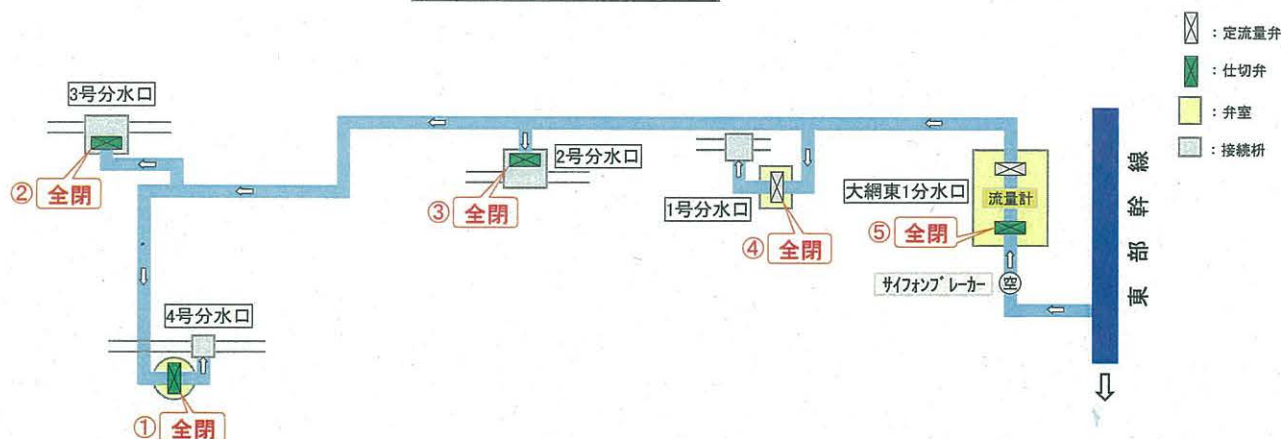
説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊗
制 水 弁	⊙
電 磁 流 量 計	⊕
定 流 量 弁	⊖
仕 切 弁 (排 泥 工)	⊞

通常時 送水停止



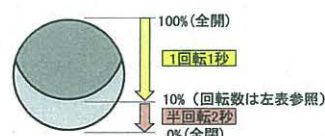
《注意》

- ・ 下流の分水工から順番に閉鎖（①→④）し、最後に⑤を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・ 特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・ 定流量弁は操作しないこと。

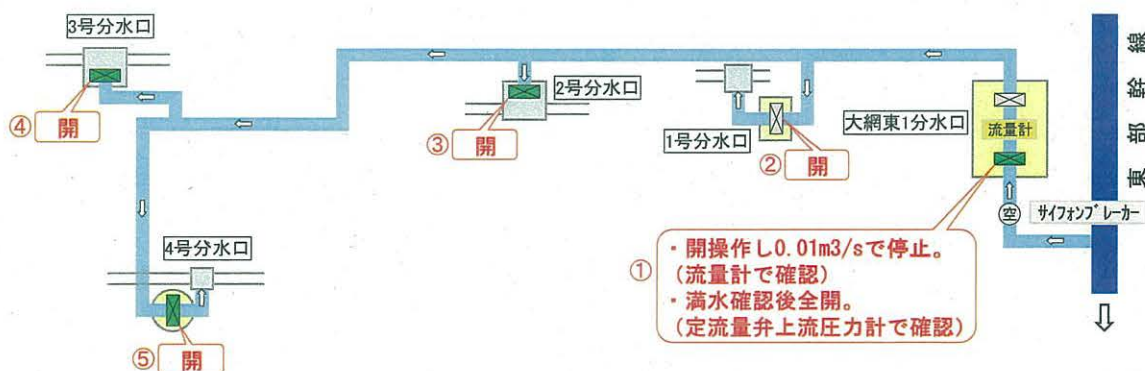
操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	14.5	13回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
②	8	7回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	8	7回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
④	—	10%まで1回転1秒、以降半回転2秒
⑤	26	23回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



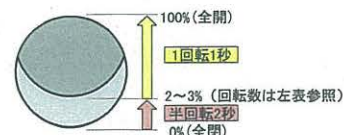
《注意》

- ・ 開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 定流量弁は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	—	10%まで半回転2秒、以降1回転1秒
③	8	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
④	8	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑤	14.5	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

大網東1分水口

緊急時操作マニュアル

機場停止・幹線圧力低下

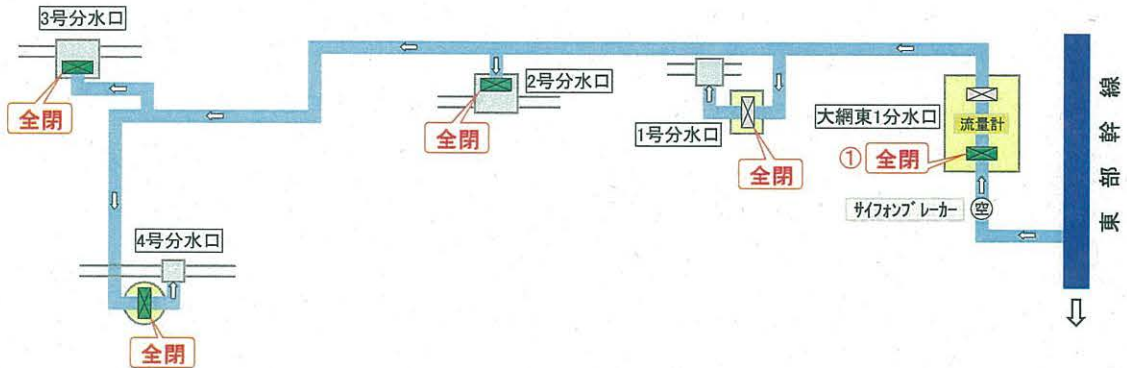
↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

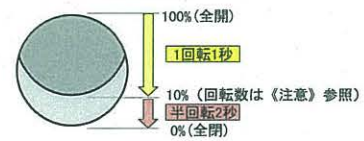
緊急停止



《注意》

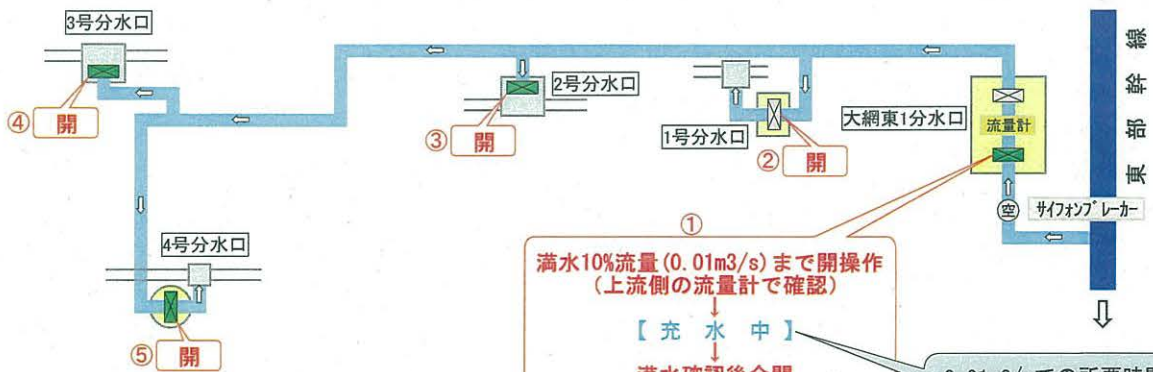
- ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
- ・ ①は「23回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒」で全閉する。他は1回転1秒を目安として閉鎖する。
- ・ 大網東1分水口の定流量弁は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



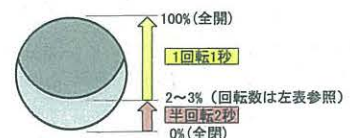
《注意》

- ・ 開始めは2~3%開度(「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認)で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 大網東1分水口の定流量弁は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	—	10%まで半回転2秒、以降1回転1秒
③	8	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
④	8	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
⑤	14.5	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

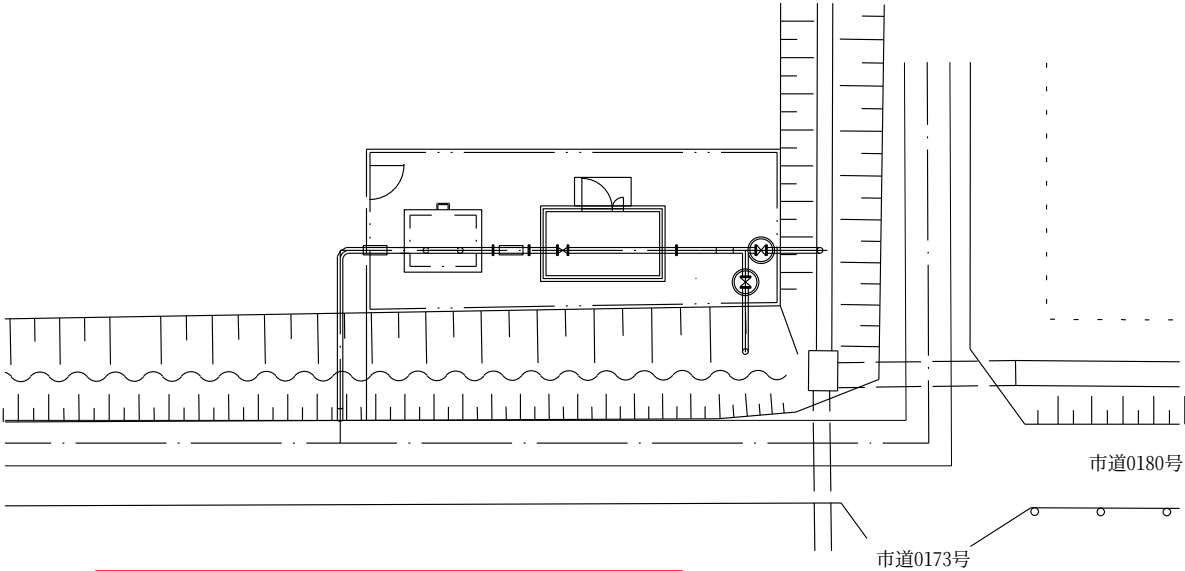


分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 29 ' 58.07 "		
大網東2分水工			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 02.11 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	140 50 190	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 0.15m ³ /S	施設容量 0.15m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.80 3.117
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要									
----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

分水工は大網白里市道0180号線と0173号線との交差点に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
長岡地区幹線水路への分水工機能を有している。

平面図



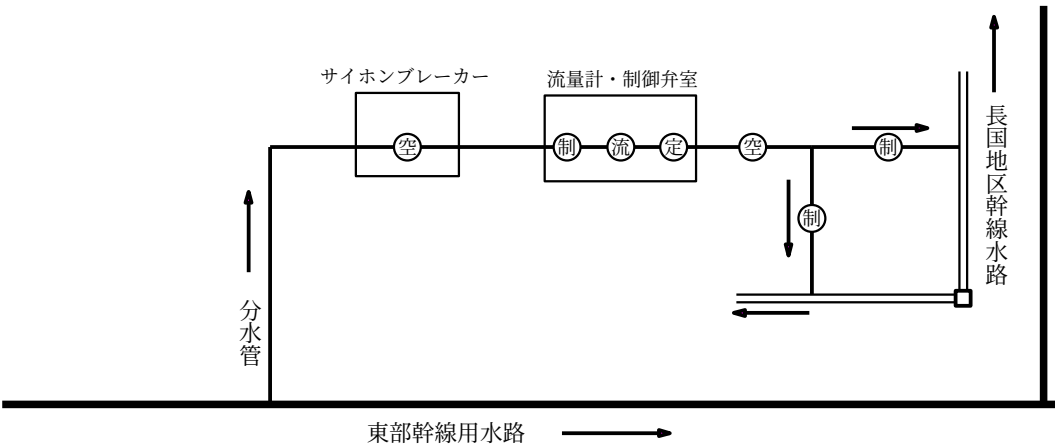
流量計・制御弁室
大網東2分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は流量計・制御弁室扉脇に設置されている。



分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 29 ' 58.07 "		
大網東2分水工			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 02.11 "		

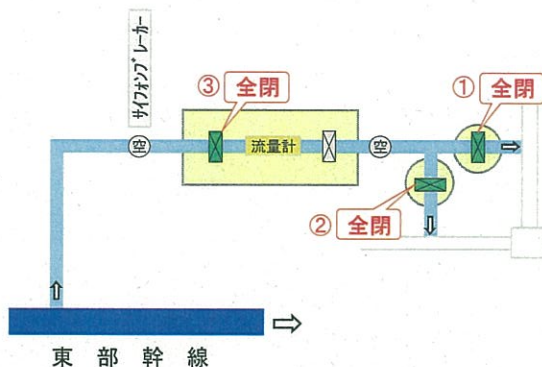
説明図									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
電 磁 流 量 計	⊙流
定 流 量 弁	⊙定

通常時 送水停止



- ⊗ : 定流量弁
- : 仕切弁
- : 弁室
- : 接続橋

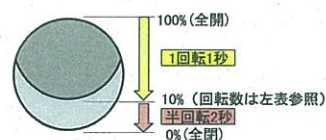
《注意》

- ・ 下流の分水路から順番に閉鎖（①→②）し、最後に③を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・ 特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・ 定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

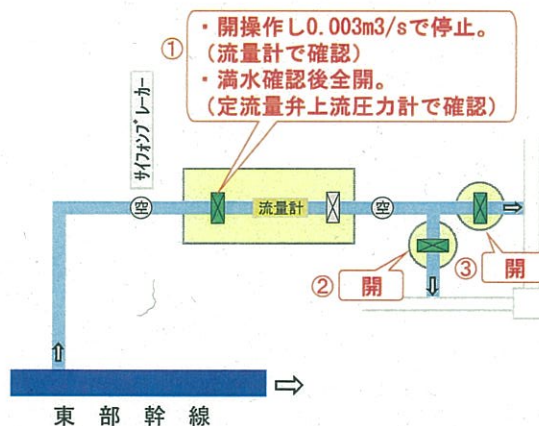
操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
②	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



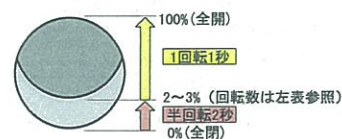
《注意》

- ・ 開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

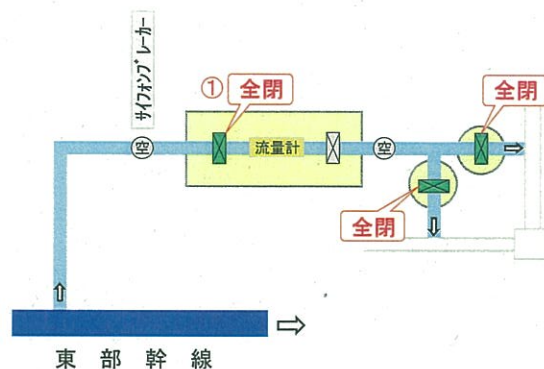
↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

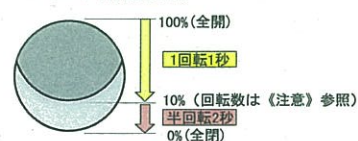
緊 急 停 止



《注意》

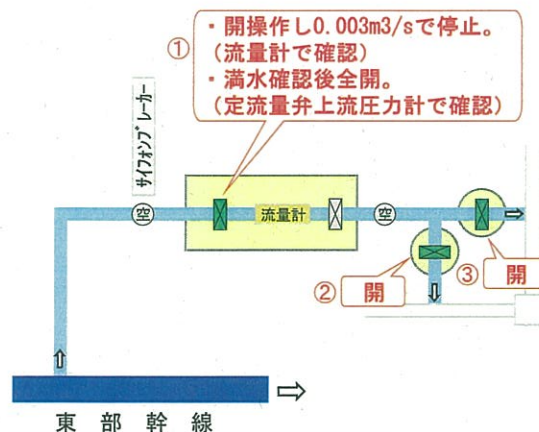
- ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
- ・ ①は「17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒」で全閉する。他は1回転1秒を目安として閉鎖する。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



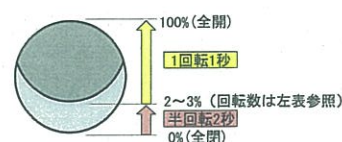
《注意》

- ・ 開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 大網東1分水口の定流量弁 は操作しないこと。

操 作 手 順 と 要 領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



分水工番号 本納東分水工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 58.85 "		
			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 29.96 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	410 210 620	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 0.60m ³ /S	施設容量 0.60m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.10 2.65
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

分水工は茂原市道2-36号線の道路下に流量計室・制御弁室が茂原市道2-36号線の道路下に埋設されている。
このため茂原市道2-36号線脇に立つサイホンブレーカーが目印となる。
県営本納支線南白亀線水路への分水工機能を有している。

平面図

分水工番号 本納東分水工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 58.85 "		
			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 29.96 "		

説明図

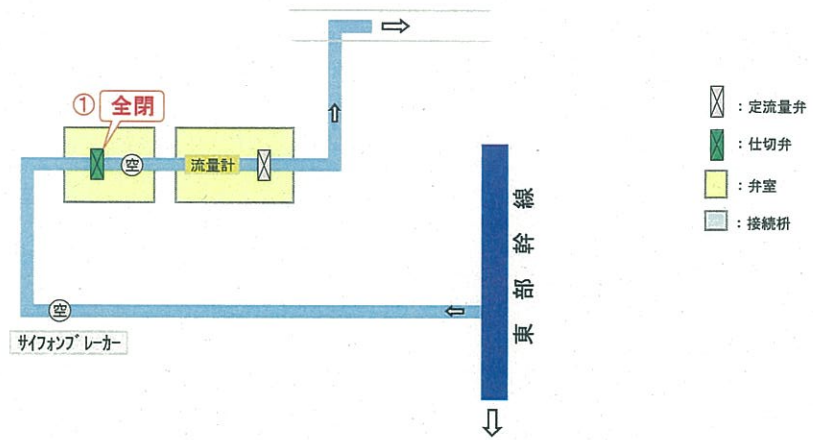
管理施設・配管・模式図

凡 例	
制 水 弁	⊙制
空 気 弁	⊙空
電 磁 流 量 計	⊙流
定 流 量 弁	⊙定

【制水弁について】
本納東分水工分水管の制水弁は仕切弁で上部にハンドル(開は時計回り)が設置されているタイプ。
定流量弁は電動バルブであり第2揚水機場中央管理所からの遠隔操作で全閉・全開が可能なほか
現地曾孫局からも操作可能である。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止

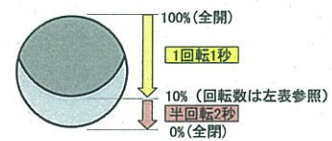


《注意》

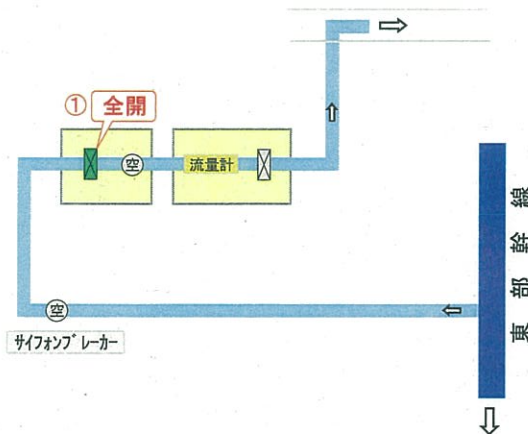
- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領

上図の 番号	総回転数 (子弁)	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	親30・子11	親弁1回転1秒で全閉後、子弁半回転2秒で全閉



通常時 送水開始

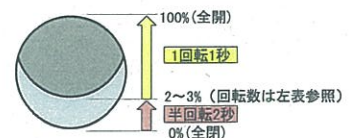


《注意》

- ・開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

バルブ開放要領

上図の 番号	総回転数 (子弁)	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	親30・子11	半回転2秒で子弁80%開け、満水確認後1回転1秒



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

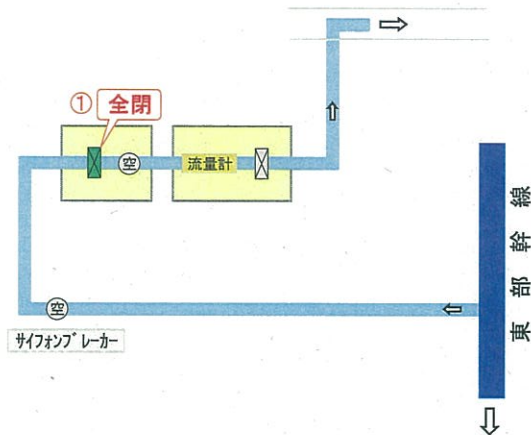
↓（幹線圧力安定後）

緊急停止 の手順

↓（幹線充水完了後）

緊急停止後の復旧 の手順

緊急停止



本 納 東 分 水 口

緊急時操作マニュアル

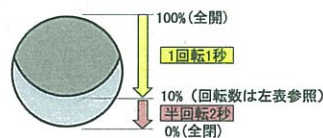
- ⊗ : 定流量弁
- ⊗ : 仕切弁
- : 弁室
- : 接続枳

《注意》

- ・ 全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・ 特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・ 定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

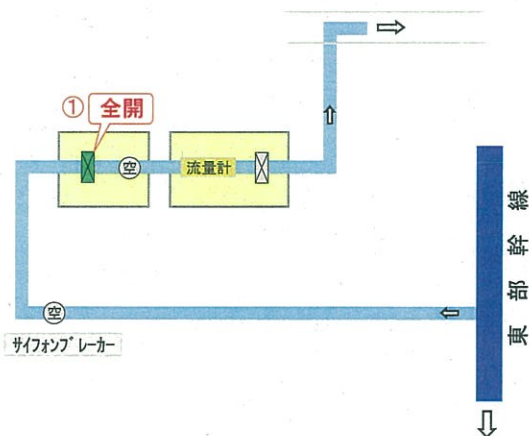
バルブ閉鎖要領

上図の 番号	総回転数 (子弁)	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	親30・子11	親弁1回転1秒で全閉後、子弁半回転2秒で全閉



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。

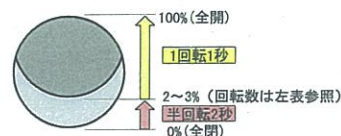


《注意》

- ・ 開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

バルブ開放要領

上図の 番号	総回転数 (子弁)	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	親30・子11	半回転2秒で子弁80%開け、満水確認後1回転1秒

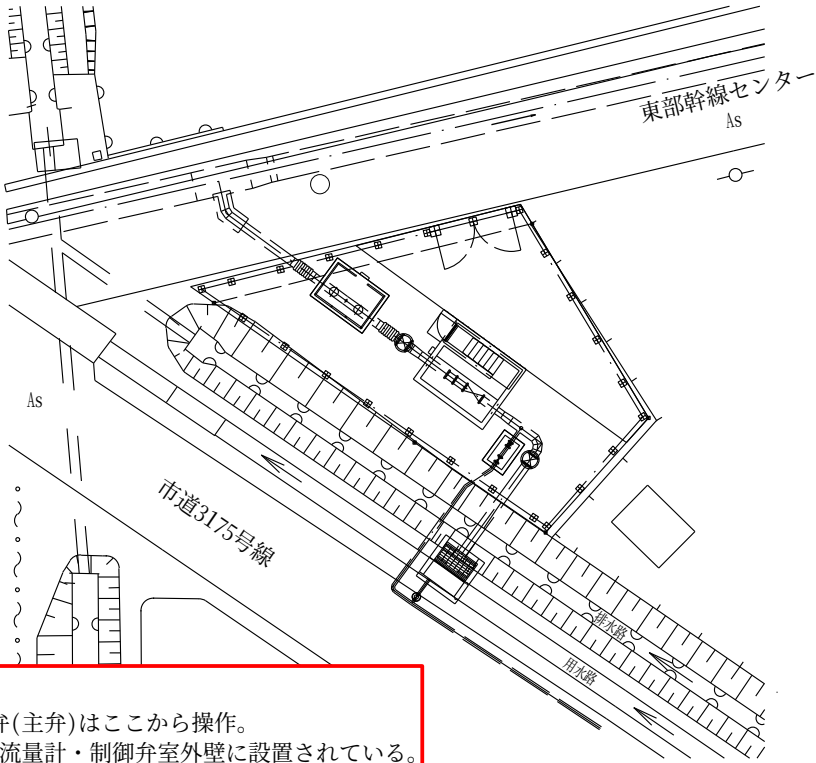


分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 27 ' 49.54 "		
東郷東1分水工			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 10.82 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

分水工は茂原市道3175号線に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
県営東郷支線千沢派線水路と東郷支線取付水路への分水工機能を有している。

平面図



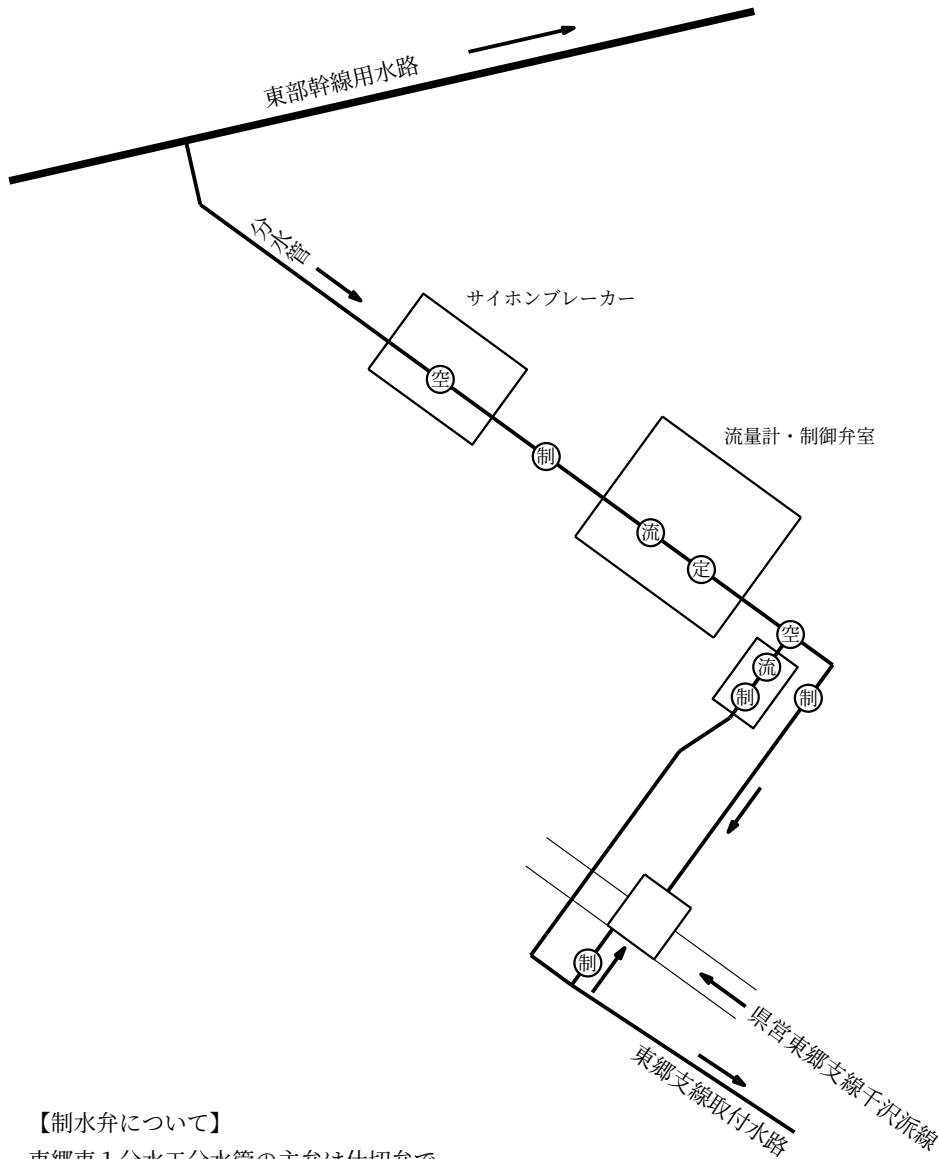
制水弁工
東郷東1分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は隣接する流量計・制御弁室外壁に設置されている。



分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 27 ' 49.54 "		
東郷東1分水工			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 10.82 "		

説明図

管理施設・配管・模式図



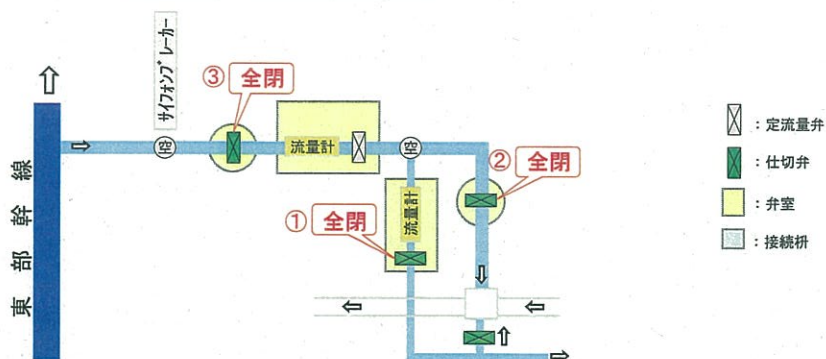
【制水弁について】

東郷東1分水工分水管の主弁は仕切弁で、上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプ。
その他の制水弁（副弁）については仕切弁で、上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプと東郷支線取付水路に設置されている仕切弁は開栓棒（開は時計回り）により操作を行うタイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順は別紙操作マニュアルを参照のこと。

凡 例	
空 気 弁	⊕
制 水 弁	⊖
電 磁 流 量 計	⊙
定 流 量 弁	⊗

通常時 送水停止



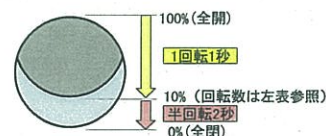
《注意》

- ・下流の分水工から順番に閉鎖（①→②）し、最後に③を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁は操作しないこと。

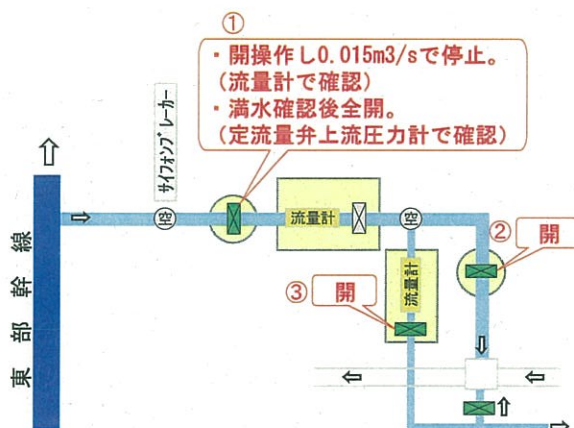
操作手順と要領

上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	19	17回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
②	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	10	9回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



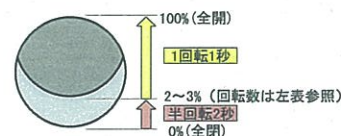
《注意》

- ・開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・定流量弁は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	10	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

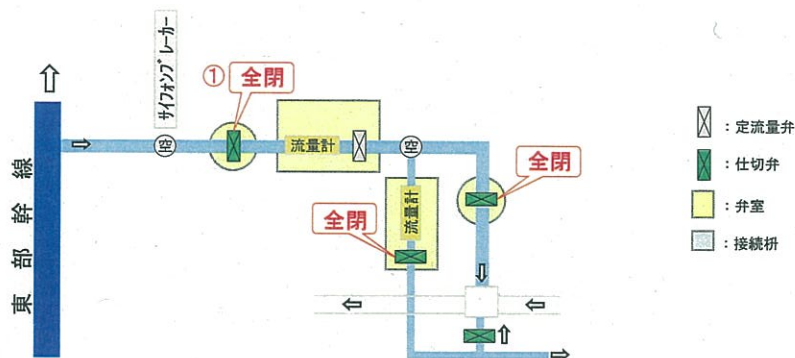
↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

東郷東1分水口

緊急時操作マニュアル

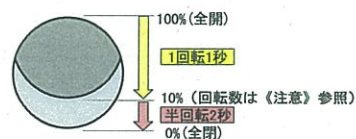
緊急停止



《注意》

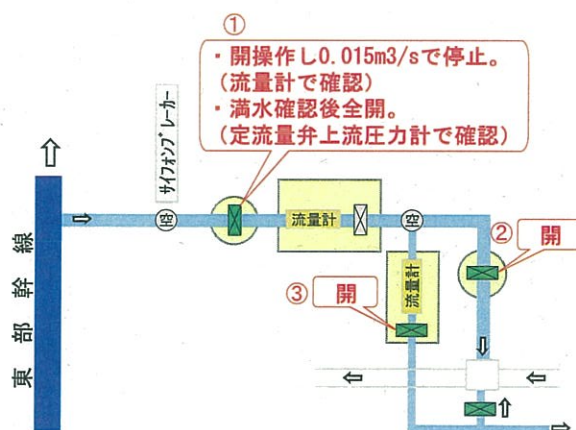
- ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
- ・ ①は「9回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒」で全閉する。他は1回転1秒を目安として閉鎖する。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



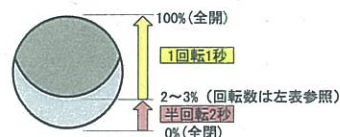
《注意》

- ・ 開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 大網東1分水口の定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	10	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	19	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

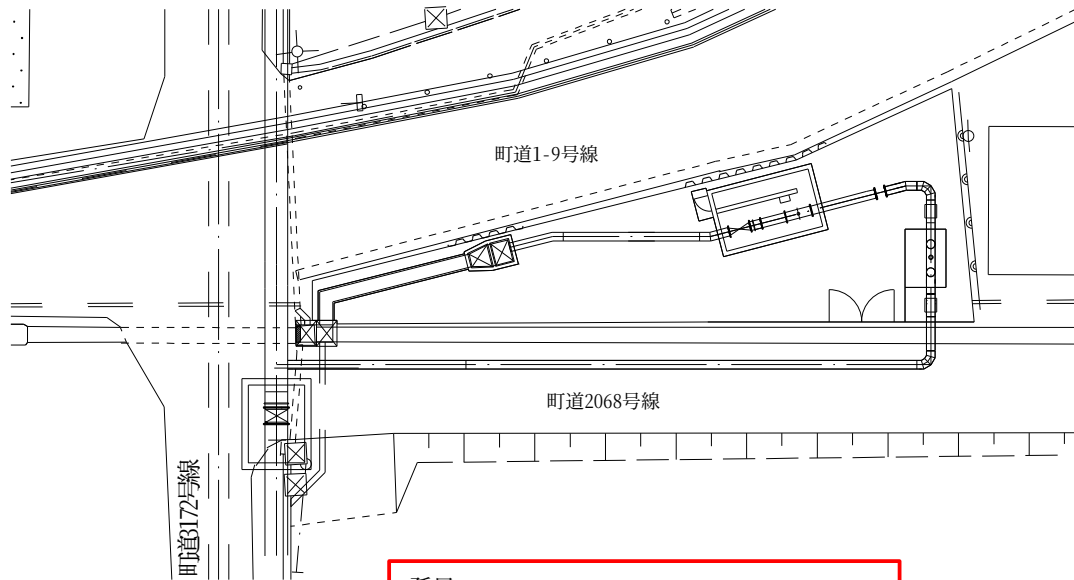


分水工番号			東郷東2分水工	路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 27 ' 13.51 "	
				関連事業名			経度	140 ° 24 ' 47.79 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.30 3.50
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要	
----	--

分水工は白子町道1-9号線及び同町道2068号線に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
分水工敷地に隣接する県営東郷支線新川派線水路への分水工機能を有している。

平面図



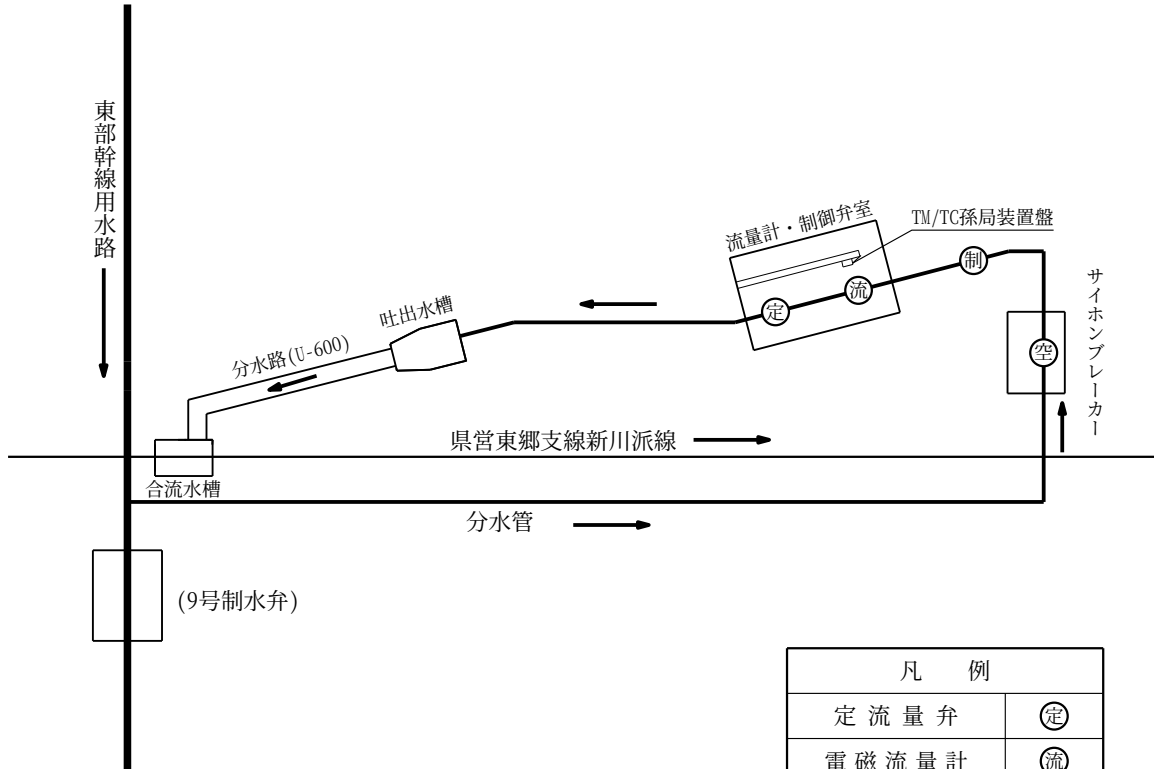
孫局
東郷東2分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤も併設されている。



分水工番号	東郷東2分水工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 27 ' 13.51 "
		関連事業名		経度	140 ° 24 ' 47.79 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図

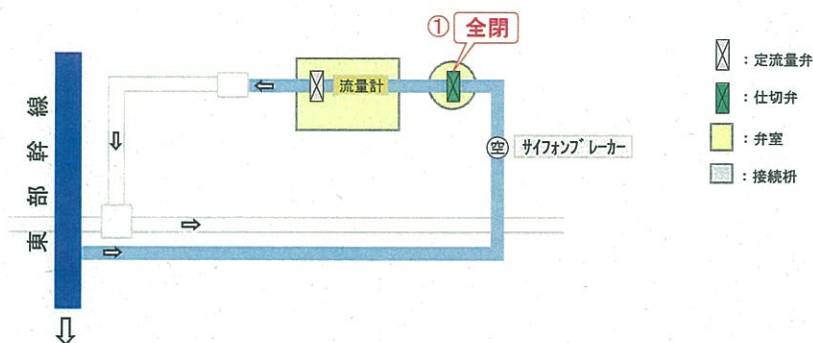


凡 例	
定 流 量 弁	Ⓐ
電 磁 流 量 計	Ⓑ
制 水 弁	Ⓒ
空 気 弁	Ⓓ

【制水弁について】
東郷東 2 分水工分水管の制水弁は仕切弁で、
上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプ。
定流量弁は電動バルブであり第 2 揚水機場
中央管理所からの遠隔操作で全閉・全開が
可能なほか、現地孫局からも操作可能である。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止

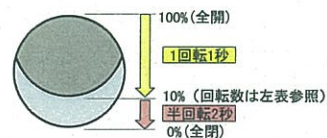


《注意》

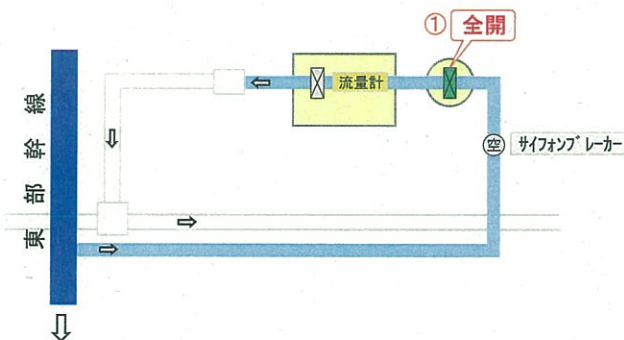
- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領

操作手順と要領		
上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	37	33回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



通常時 送水開始

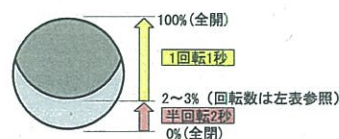


《注意》

- ・開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

バルブ開放要領

操作手順と要領		
上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	37	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

↓（幹線圧力安定後）

緊急停止 の手順

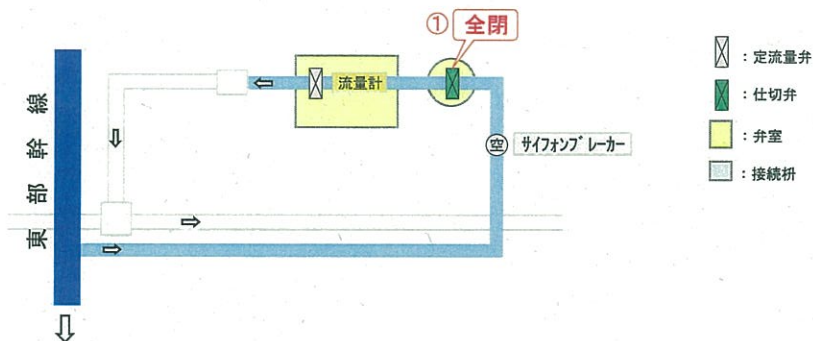
↓（幹線充水完了後）

緊急停止後の復旧 の手順

東郷東2分水口

緊急時操作マニュアル

緊急停止

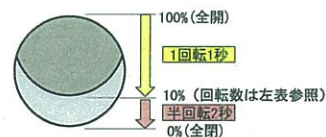


《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

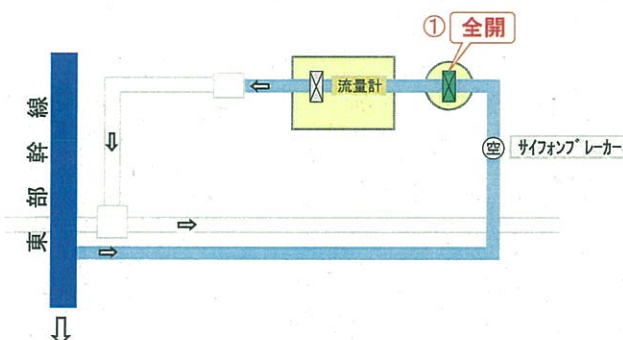
バルブ閉鎖要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	37	33回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。

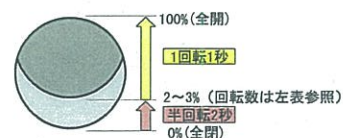


《注意》

- ・開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁  は操作しないこと。

バルブ開放要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	37	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒



分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 26 ' 31.90 "		
			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.76 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.45 4.675
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

分水工は白子町道1-2号線及び同町道2249号線との交差点に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
白子町道1-2号線と隣接する県営東郷支線関派線水路への分水工機能を有している。

平面図

制水弁工
東郷東3分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は隣接する流量計・制御弁室外壁に設置されている。

分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 26 ' 31.90 "		
			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.76 "		

説明図

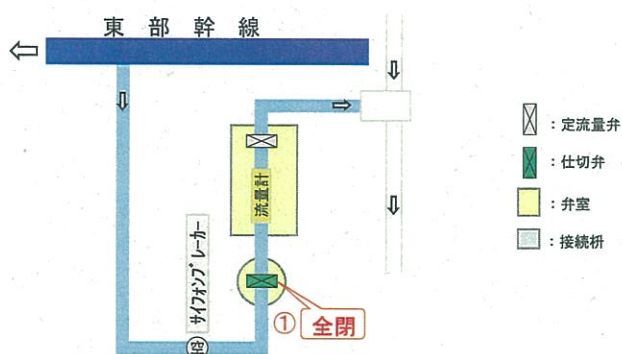
管理施設・配管・模式図

【制水弁について】
東郷東3分水工の制水弁は、仕切弁で上部にハンドル（開は時計回り）が設置されているタイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順は別紙操作マニュアルを参照のこと。

凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊙
流 量 計	⊙
定 流 量 弁	⊙

通常時 送水停止



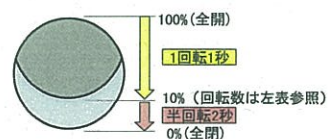
《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

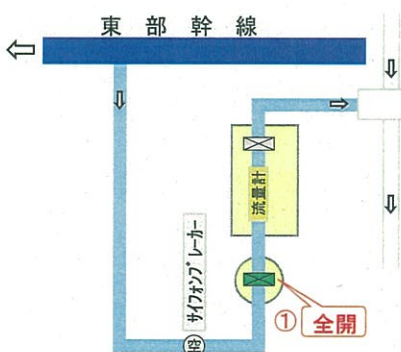
操作手順と要領

上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



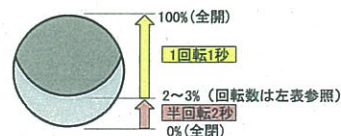
《注意》

- ・開始めは2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

東 郷 東 3 分 水 口

緊急時操作マニュアル

機場停止・幹線圧力低下

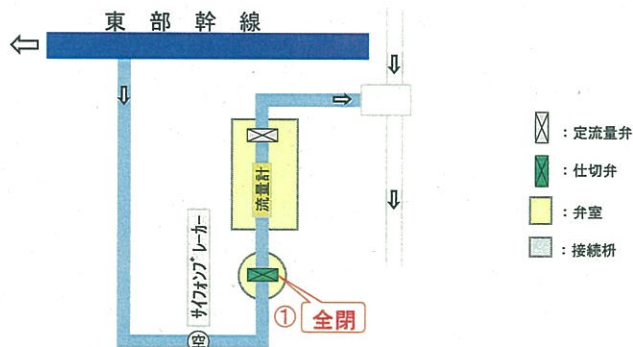
↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

緊 急 停 止



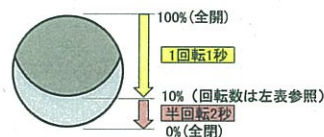
《注意》

- ・ 全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

操 作 手 順 と 要 領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



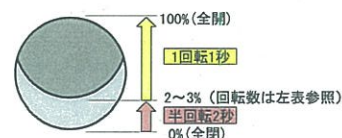
《注意》

- ・ 開始めは2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

操 作 手 順 と 要 領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満流確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

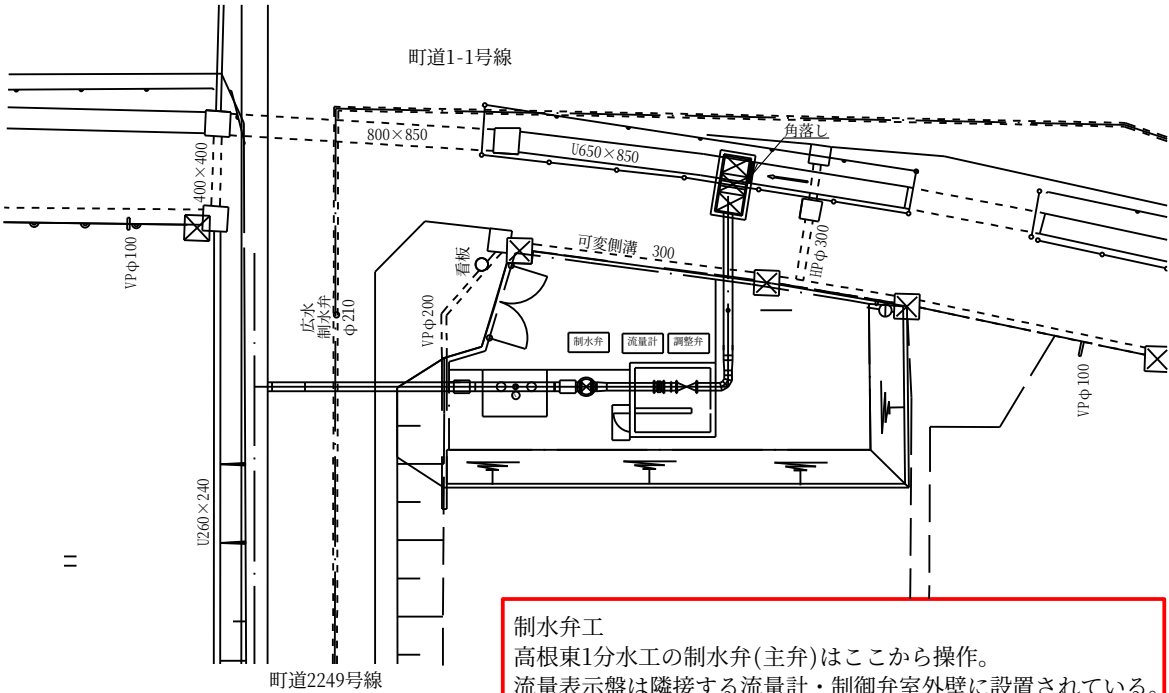


分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 26 ' 04.62 "		
高根東1分水工			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 47.35 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量	施設容量	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.60 4.225
					1.16m ³ /S	1.16m ³ /S	国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要	
----	--

分水工は白子町道2249号線と同町道1-1号線歩道との交差点に隣接し、サイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
白子町道1-1号線と隣接する県営高根支線第1派線水路への分水工機能を有している。

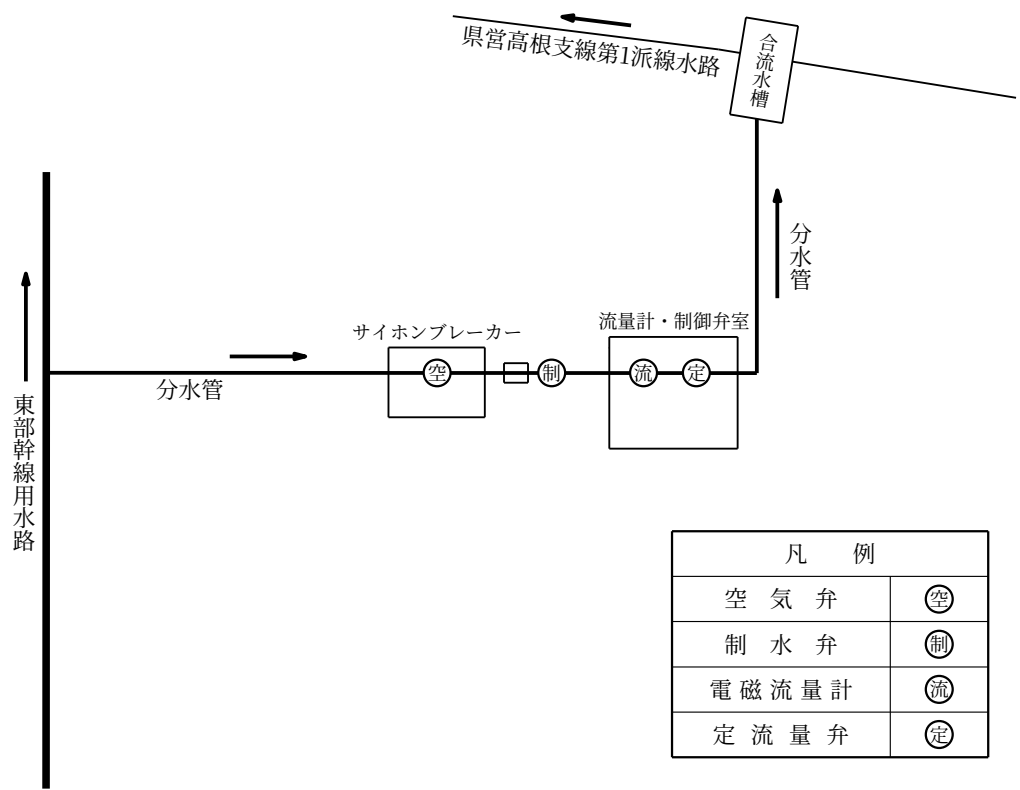
平面図



分水工番号	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 26 ' 04.62 "
高根東1分水工	関連事業名		経度	140 ° 20 ' 47.35 "

説明図	
-----	--

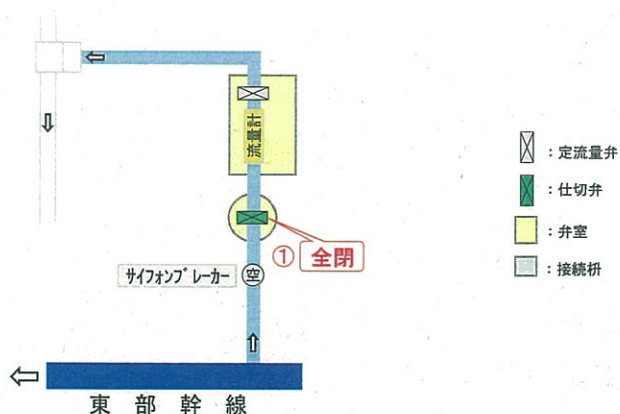
管理施設・配管・模式図



【制水弁について】
高根東 1 分水工の制水弁は、仕切弁で上部
にハンドル（開は時計回り）が設置されている
タイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止

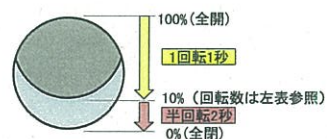


《注意》

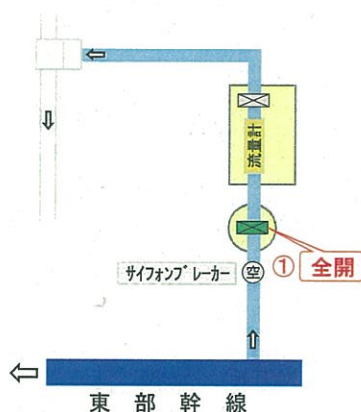
- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領

操作手順と要領		
上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



通常時 送水開始

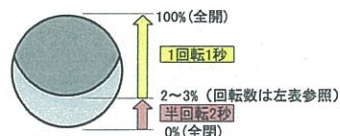


《注意》

- ・開始めは2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

バルブ開放要領

操作手順と要領		
上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒



3号機場停止時の操作方式

高根東1分水口

緊急時操作マニュアル

機場停止・幹線圧力低下

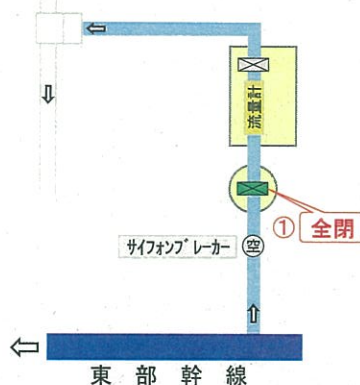
↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

↓ (幹線充水完了後)

緊急停止後の復旧 の手順

緊急停止



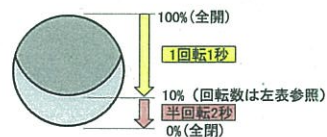
- ⊠ : 定流量弁
- ⊡ : 仕切弁
- : 弁室
- : 接続板

《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- 特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 ⊠ は操作しないこと。

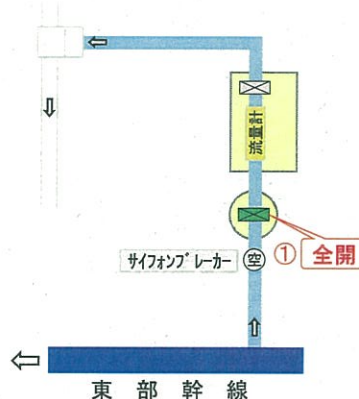
バルブ閉鎖要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。

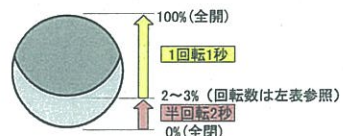


《注意》

- ・開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 ⊠ は操作しないこと。

バルブ開放要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒

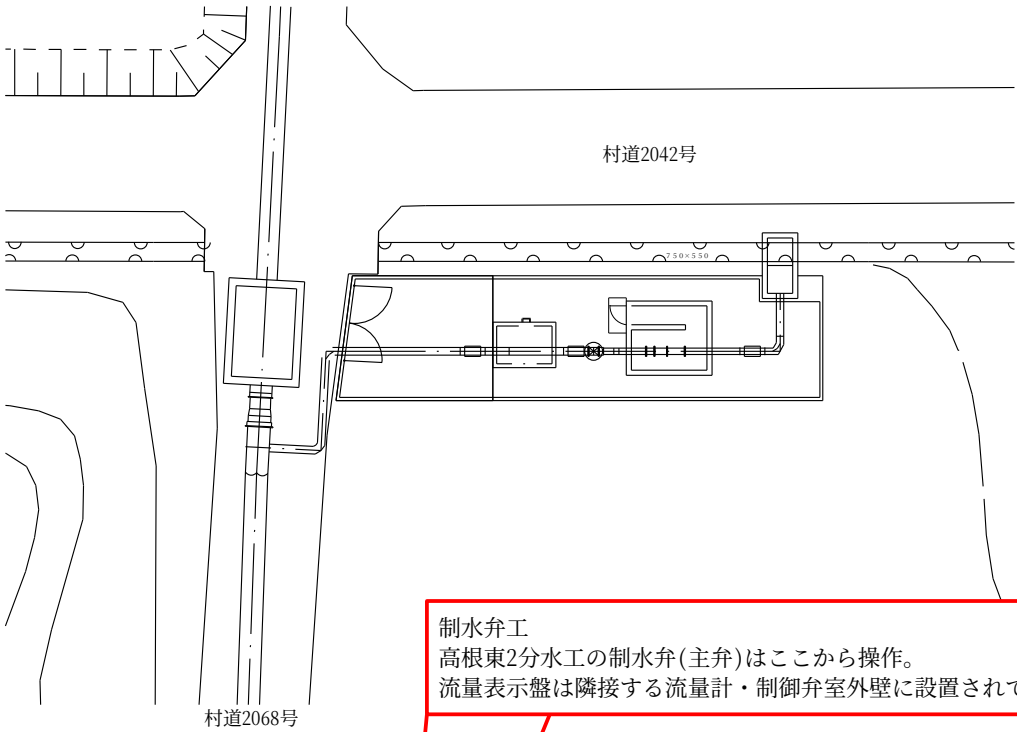


分木工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 25 ' 38.20 "		
高根東2分木工			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.57 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分木工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.70 4.35
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

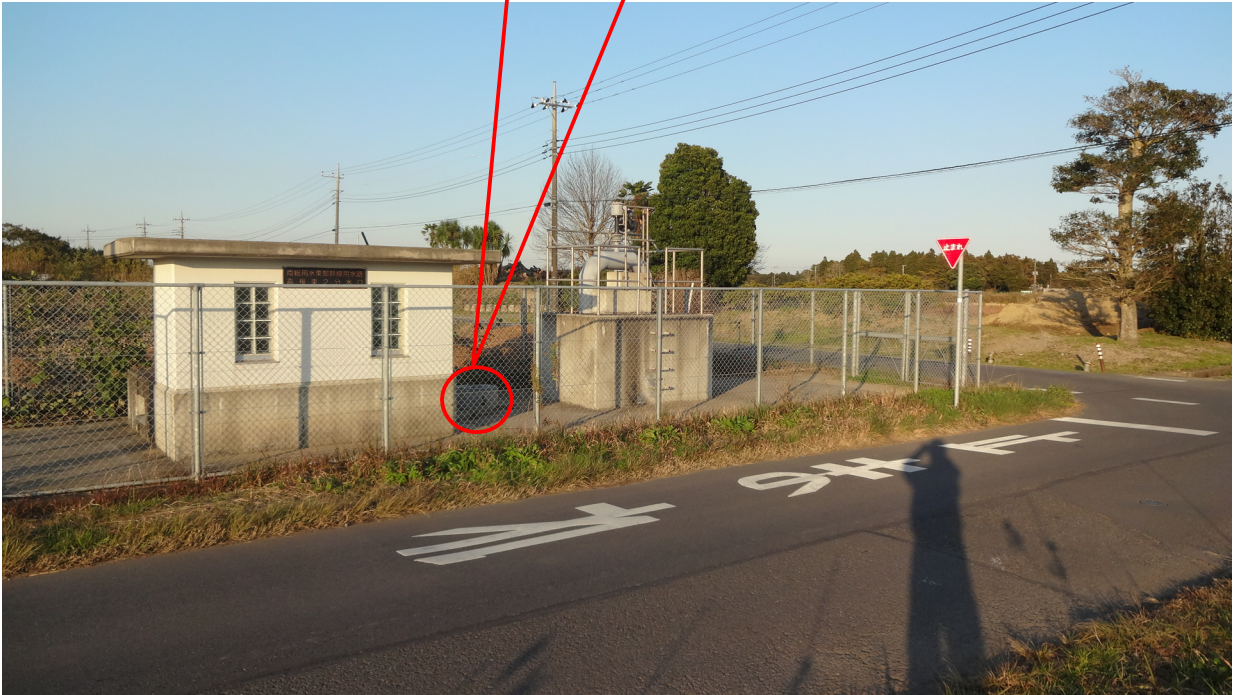
概要

分木工は長生村道2042号線と同村道2068号線との交差点に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
分木工敷地に隣接する県営高根支線第2派線水路への分木工機能を有している。

平面図



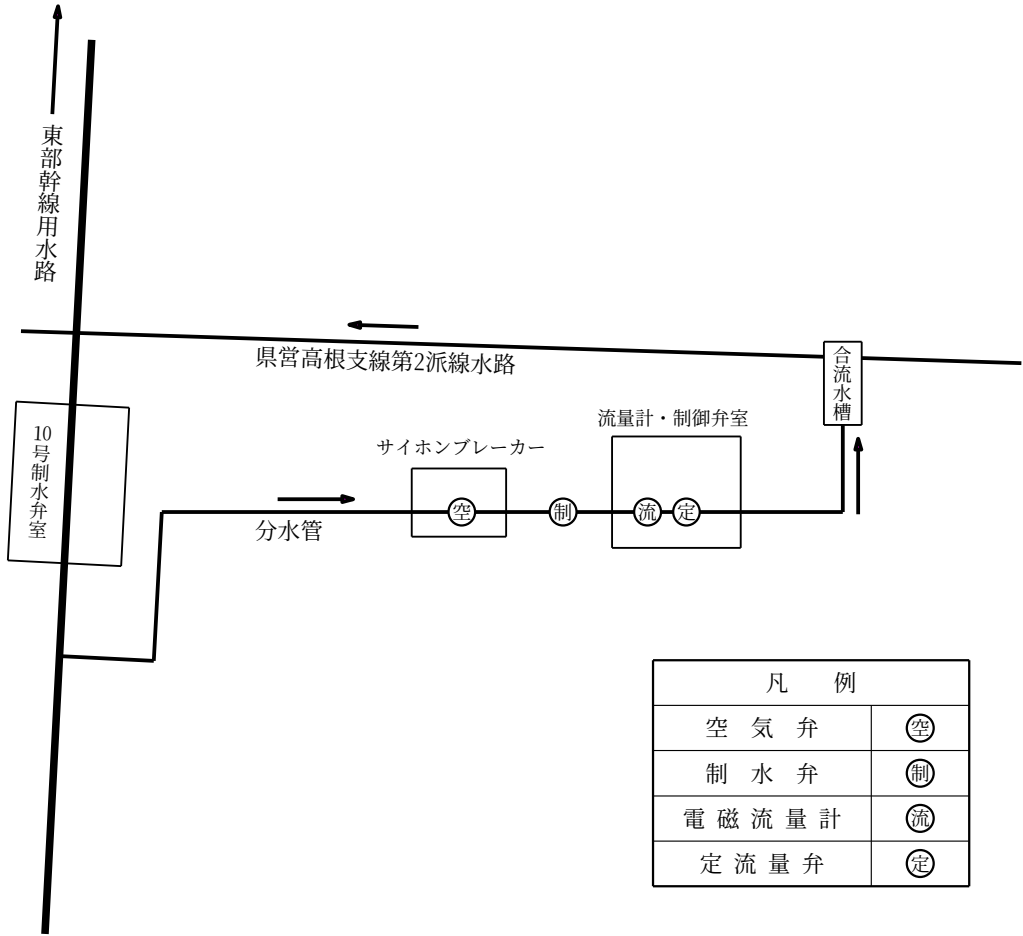
制水弁工
高根東2分木工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は隣接する流量計・制御弁室外壁に設置されている。



分木工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 25 ' 38.20 "		
高根東2分木工			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.57 "		

説明図

管理施設・配管・模式図

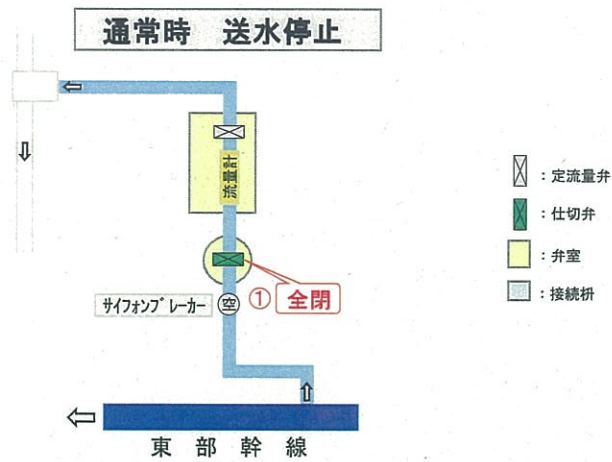


凡 例	
空 気 弁	⊗
制 水 弁	⊙
電 磁 流 量 計	⊗
定 流 量 弁	⊙

【制水弁について】

高根東 2 分木工の制水弁は、仕切弁で上部
にハンドル（開は時計回り）が設置されている
タイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。



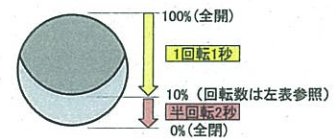
《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 □ は操作しないこと。

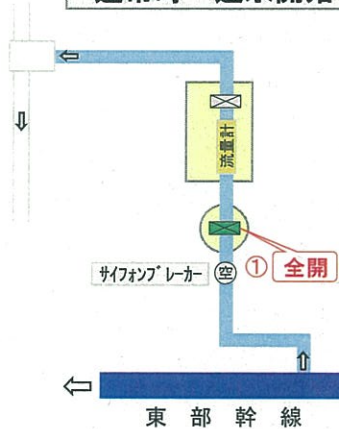
操 作 手 順 と 要 領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	31	27回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



《注意》

- ・開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 □ は操作しないこと。

操 作 手 順 と 要 領

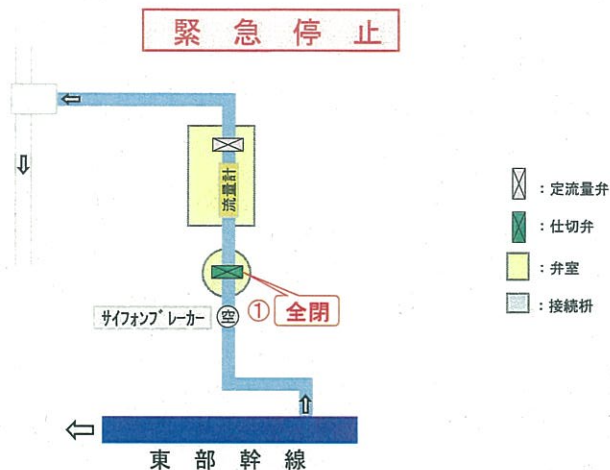
上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	31	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下
↓ (幹線圧力安定後)
緊急停止 の手順
↓ (幹線充水完了後)
緊急停止後の復旧 の手順



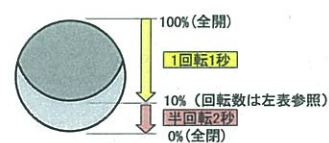
《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
特に、閉じ終りの10%開度以下(「シュー」という音で確認)は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	31	27回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領

**緊急停止後の復旧**

※幹線の充水作業が完了後に実施。



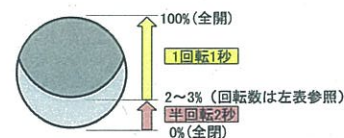
《注意》

- ・開始は2~3%開度(「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認)で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	31	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

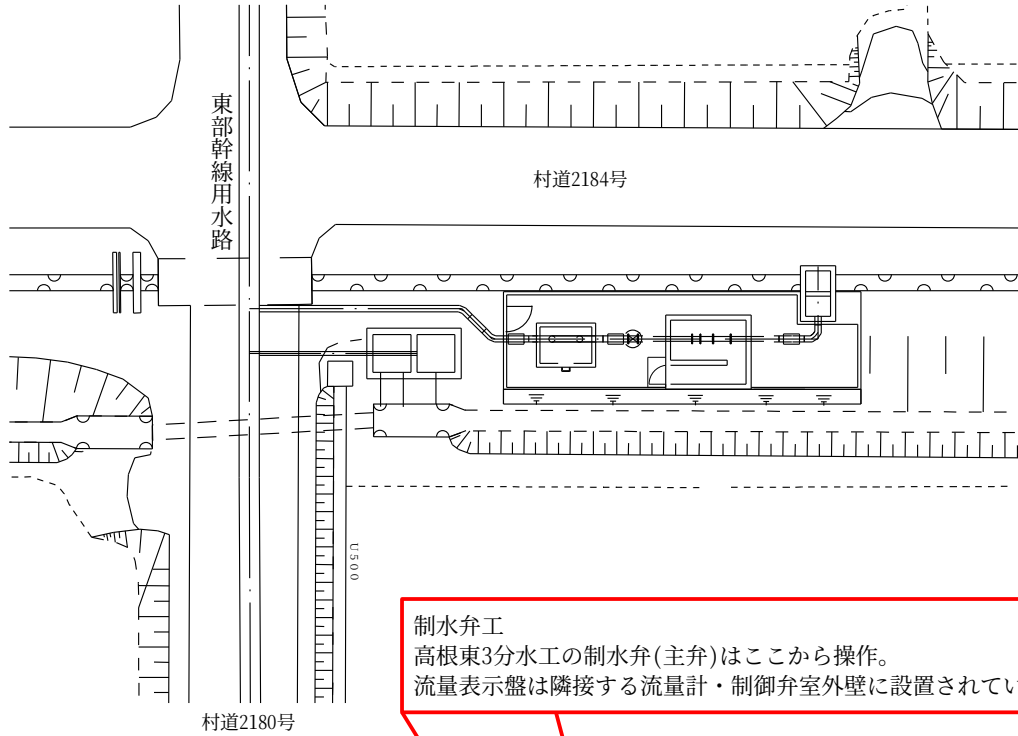


分水工番号 高根東3分水工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°25'10.09"	
			関連事業名				経度	140°20'44.70"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.16m³/S	施設容量 1.16m³/S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.70 4.96
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要	
----	--

分水工は長生村道2184号線と同村道2180号線との交差点に隣接しサイホンブレーカーと制御弁室が目印となる。
分水工施設入口脇に東部幹線用水路14-1号排泥工が併設されている。
県営高根支線第3派線水路への分水工機能を有している。

平面図



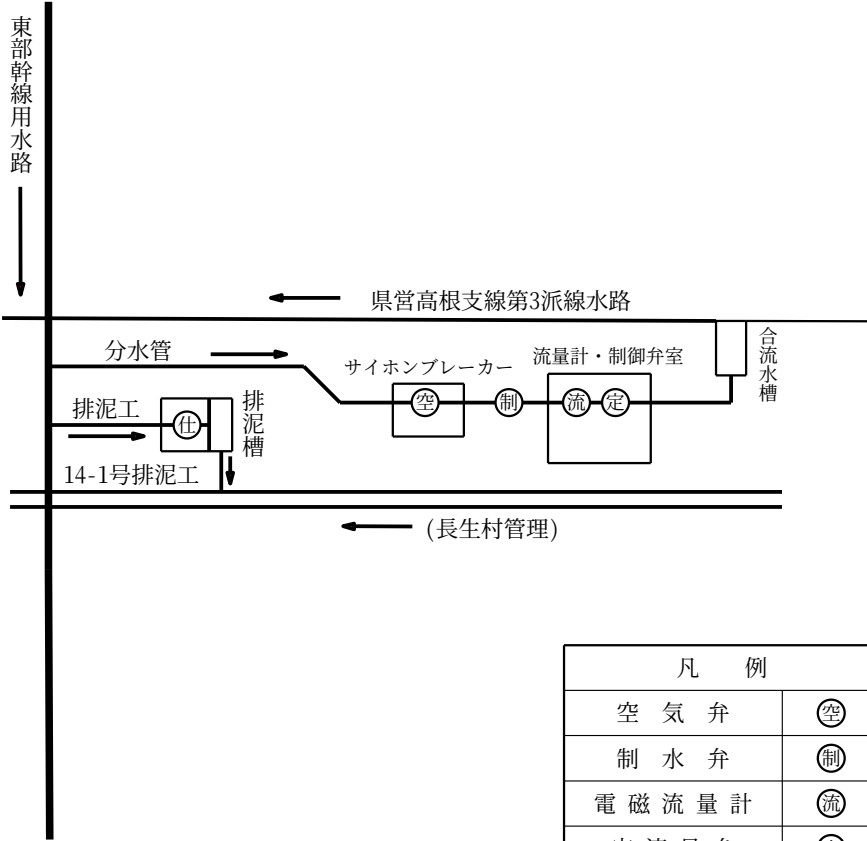
制水弁工
高根東3分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は隣接する流量計・制御弁室外壁に設置されている。



分水工番号 高根東3分水工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 25 ' 10.09 "
			関連事業名		経度	140 ° 20 ' 44.70 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図

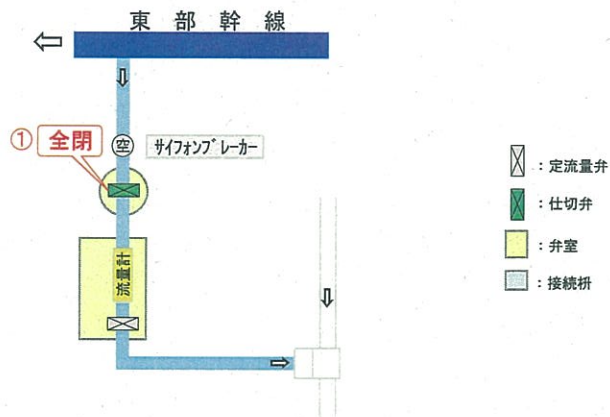


凡 例	
空 気 弁	⊗
制 水 弁	⊙
電 磁 流 量 計	⊖
定 流 量 弁	⊕
(仕 切 弁 弁) (排 泥 弁)	⊞

【制水弁について】
高根東 3 分水工の制水弁は、仕切弁で上部
にハンドル（開は時計回り）が設置されている
タイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止



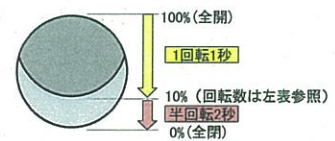
《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

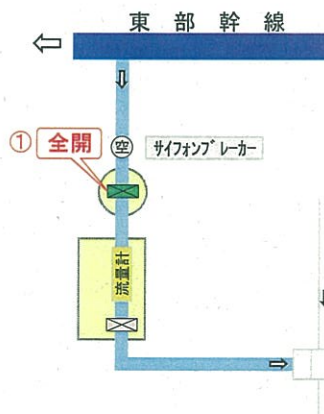
操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	23回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



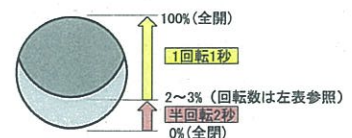
《注意》

- ・開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

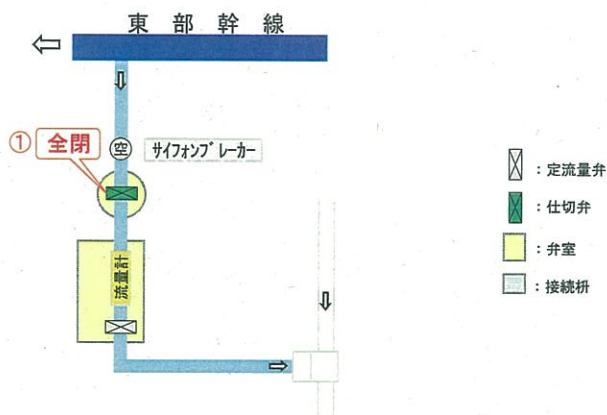


3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下
↓（幹線圧力安定後）
緊急停止 の手順
↓（幹線充水完了後）
緊急停止後の復旧 の手順

高根東3分水口
緊急時操作マニュアル

緊急停止



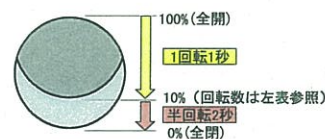
《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

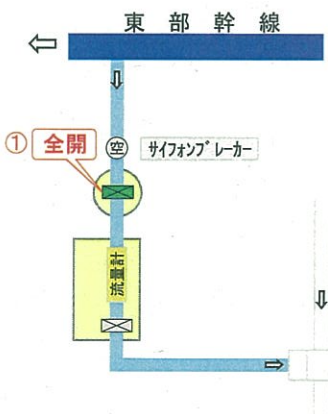
上図の番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	23回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



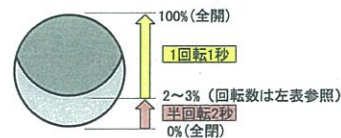
《注意》

- ・開始は2~3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	26	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領

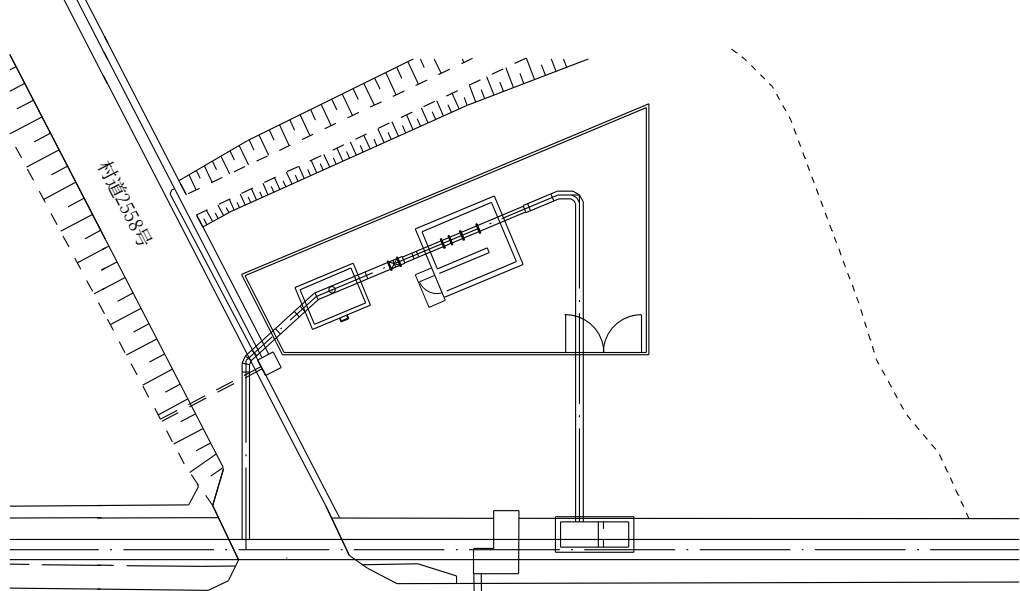


分水工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 24 ' 41.93 "	
高根東4分水工			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 03.91 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

分水工は長生村道2558号線に隣接しサイホンプレーカーと制御弁室が目印となる。
県営高根支線第4派線水路への分水工機能を有している。

平面図



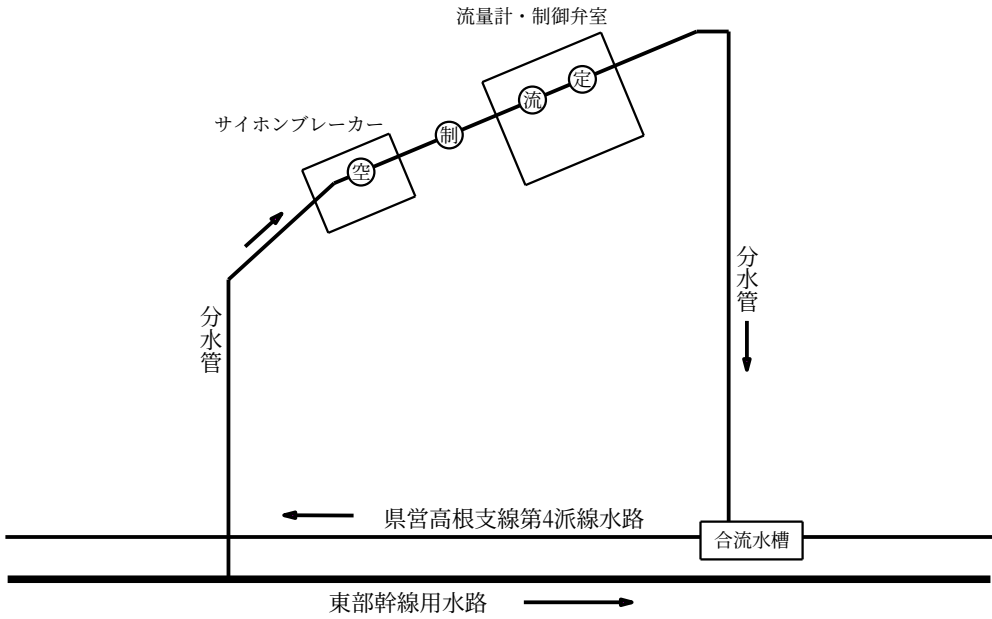
制水弁工
高根東4分水工の制水弁(主弁)はここから操作。
流量表示盤は隣接する流量計・制御弁室外壁に設置されている。



分水工番号	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 24 ' 41.93 "
高根東4分水工	関連事業名		経度	140 ° 21 ' 03.91 "

説明図

管理施設・配管・模式図

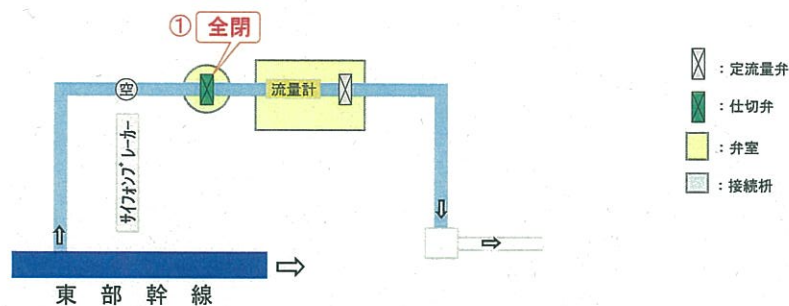


凡 例	
空 気 弁	⊗
制 水 弁	⊙
電 磁 流 量 計	⊕
定 流 量 弁	⊖

【制水弁について】
高根東 4 分水工の制水弁は、仕切弁で上部
にハンドル（開は時計回り）が設置されている
タイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止

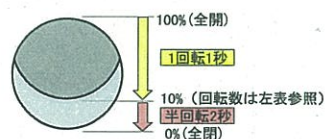


《注意》

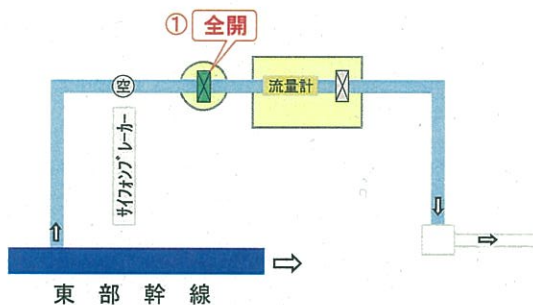
- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領

操作手順と要領		
上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	31	27回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



通常時 送水開始



《注意》

- ・開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

バルブ開放要領

操作手順と要領		
上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	31	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒



3号機場停止時の操作方式

高根東4分水口

緊急時操作マニュアル

機場停止・幹線圧力低下

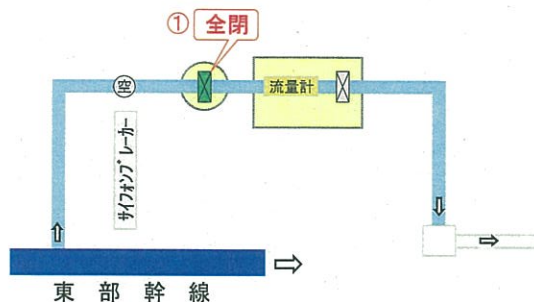
↓（幹線圧力安定後）

緊急停止 の手順

↓（幹線充水完了後）

緊急停止後の復旧 の手順

緊急停止



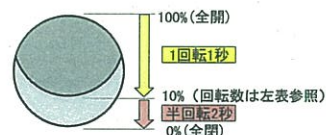
- ⊗ : 定流量弁
- : 仕切弁
- : 弁室
- : 接続弁

《注意》

- ・全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- 特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、**更に注意**して下さい。
- ・定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

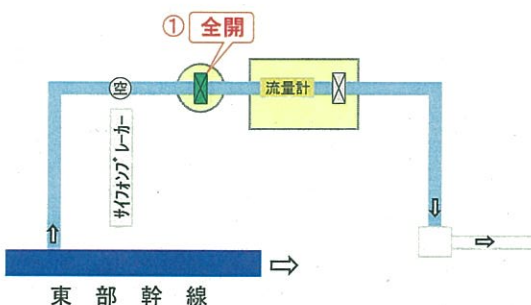
バルブ閉鎖要領

操 作 手 順 と 要 領		
上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	31	27回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。

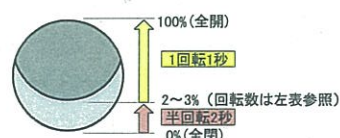


《注意》

- ・開始は2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、**満流を確認**して下さい。
- ・定流量弁 ⊗ は操作しないこと。

バルブ開放要領

操 作 手 順 と 要 領		
上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	31	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒

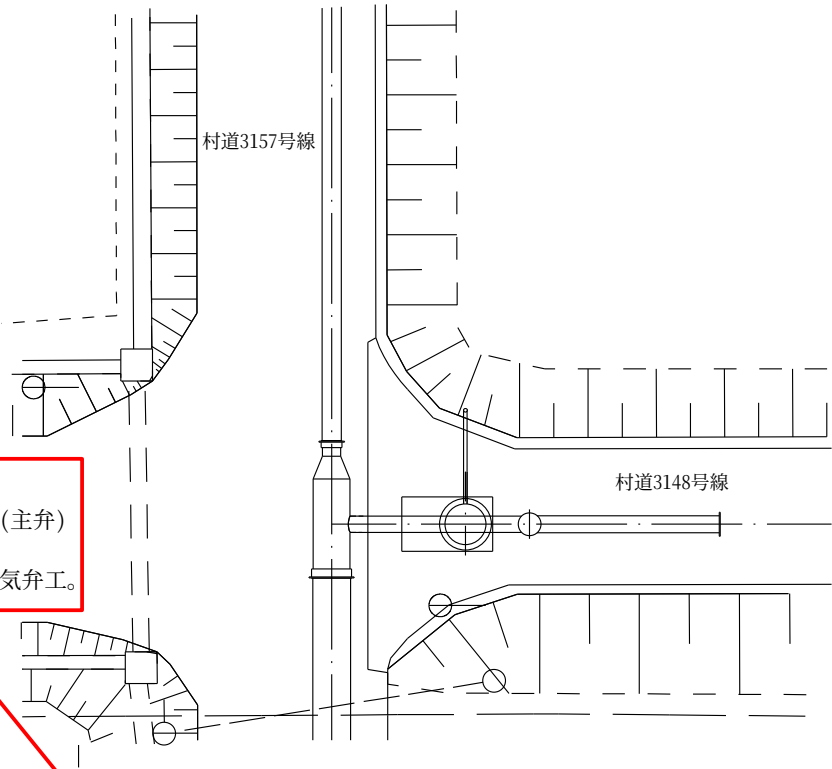


分水工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 23 ' 22.62 "	
			関連事業名				経度		140 ° 21 ' 16.53 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	660 320 980	国営 計画流量 (m ³ /S)	水田 畑 計	最大流量 1.16m ³ /S	施設容量 1.16m ³ /S	分水工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.02 3.76	
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位		

概要	
----	--

分水工は長生村道3148号線と同村道3157号線との交差点付近の同村道3148号線道路下に埋設されている。
このため市道交差点脇に立つ空気弁工の通気管が目印となる。
金田調整池取付水路への分水工機能を有している。

平面図



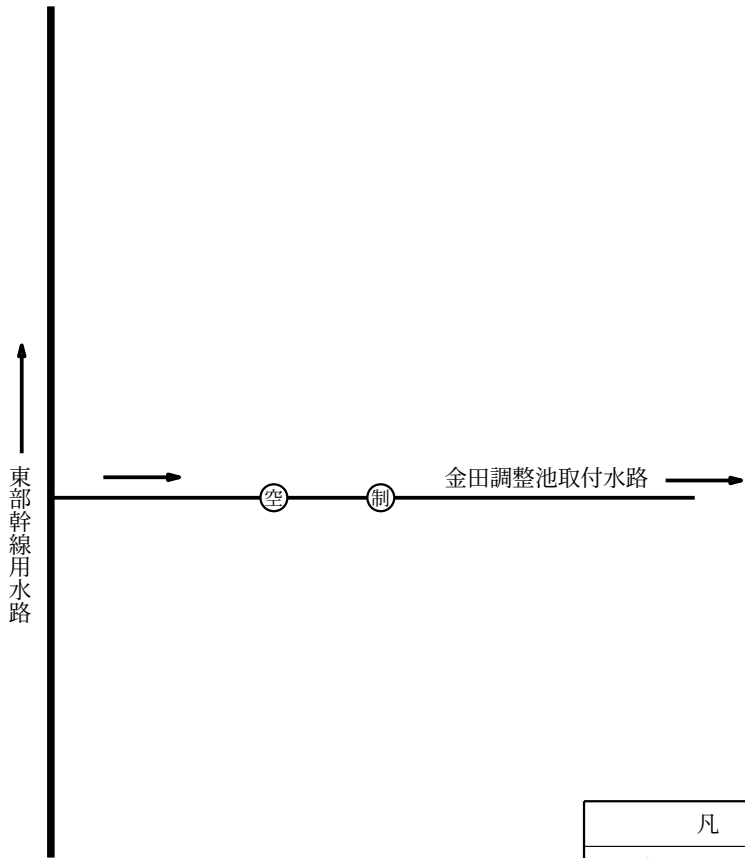
制水弁工
茂原東分水工の制水弁(主弁)
はここから操作。
手前のマンホールは空気弁工。



分水工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 23 ' 22.62 "	
			関連事業名				経度		140 ° 21 ' 16.53 "	

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図

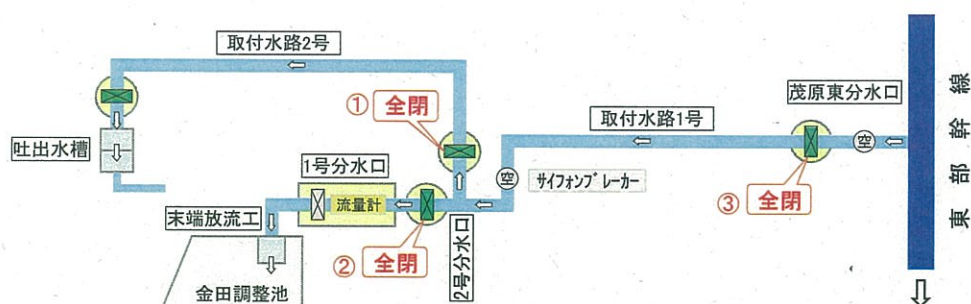


凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊙

【制水弁について】
茂原東4分水工の制水弁は、仕切弁で開栓棒
(開は時計回り)により操作を行うタイプ。

全閉操作時、全閉からの開操作時の操作手順
は別紙操作マニュアルを参照のこと。

通常時 送水停止



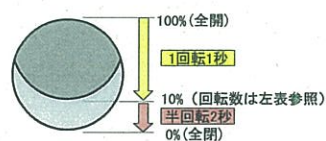
《注意》

- ・下流の分水工から順番に閉鎖（①→②）し、最後に③を閉鎖。全閉操作は下表の要領で閉鎖すること。
- ・特に、閉じ終りの10%開度以下（「シュー」という音で確認）は、更に注意して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

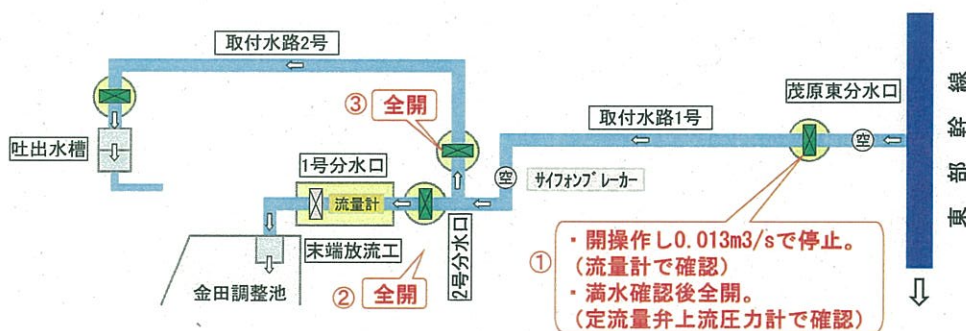
操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	閉操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	9	8回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
②	25	22回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒
③	36	32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒

バルブ閉鎖要領



通常時 送水開始



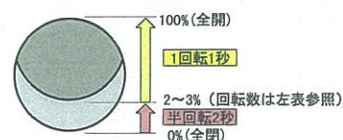
《注意》

- ・開始めは2～3%開度（「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認）で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の 番号	総回転数	開操作 (最短時間で、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	25	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	9	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



3号機場停止時の操作方式

機場停止・幹線圧力低下

↓ (幹線圧力安定後)

緊急停止 の手順

↓ (幹線充水完了後)

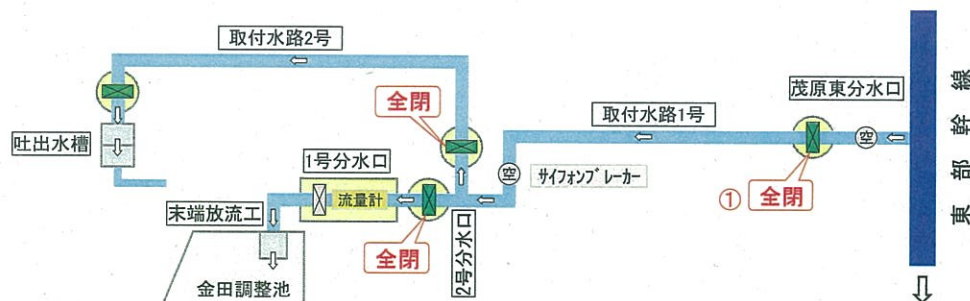
緊急停止後の復旧 の手順

茂原東支線

緊急時操作マニュアル

緊急停止

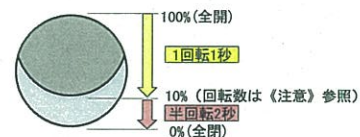
- : 定流量弁
- : 仕切弁
- : 弁室
- : 接続弁



《注意》

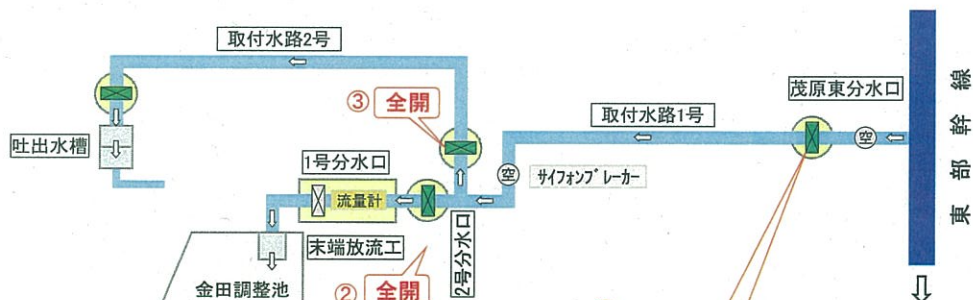
- ・ 先ず①を閉鎖。支線管内水が安定した後、分水口仕切弁を全閉する。①以外は順不同で閉鎖して良い。
- ・ ①は「32回転(10%)まで1回転1秒、以降半回転2秒」で全閉する。他は1回転1秒を目安として閉鎖する。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

バルブ閉鎖要領



緊急停止後の復旧

※幹線の充水作業が完了後に実施。



満水10%流量(0.013m³/s)まで開操作
(上流側の流量計で確認)
【充水中】
満水確認後全開
(定流量弁上流圧力計で確認)

0.013m³/sでの所要時間15分
・ 充水率(空虚率)74%程度
・ 所要時間は注水量に反比例

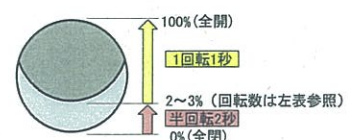
《注意》

- ・ 開始は2~3%開度(「シュー」→「ジョー」という音の変化で確認)で一旦停止し、満流を確認して下さい。
- ・ 「開」のバルブは、下流水槽の水位により流量を確認しながら開度調整を行う。
- ・ 定流量弁 は操作しないこと。

操作手順と要領

上図の番号	総回転数	開操作 (最短時間であり、これよりゆっくり操作する)
①	36	4秒で1回転開け、満水確認後に1回転1秒
②	25	2秒で1/2回転開け、満水確認後に1回転1秒
③	9	1秒で1/4回転開け、満水確認後に1回転1秒

バルブ開放要領



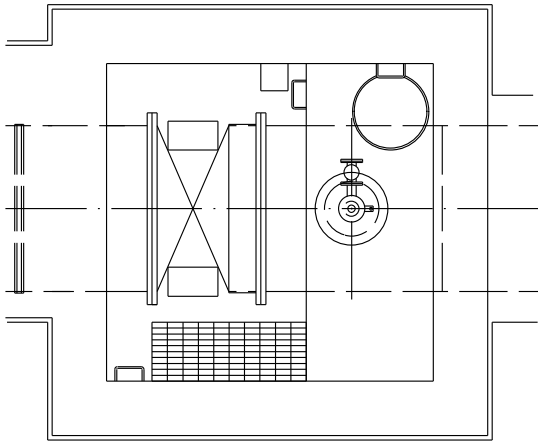
制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 35 ' 35.44 "	
2号制水弁工			関連事業名			経度	140 ° 23 ' 04.93 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3,800 (3,110) 1,870 (1,440) 5,670 (4,550)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 5.45m ³ /S	施設容量 5.45m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

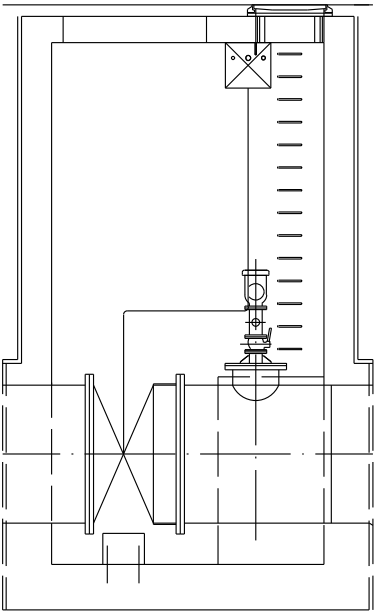
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道2033号線に隣接した東部幹線用水路の管理用道路下と東金市道2033号線下に設置された地下埋設施設である。このため管理用道路内に立つ制水弁操作の機側操作盤が目印となる。
また、直下流には1号排泥工が設置されており、現地には各施設の弁室人孔(マンホール)が設置されている。

平面図



縦断面図



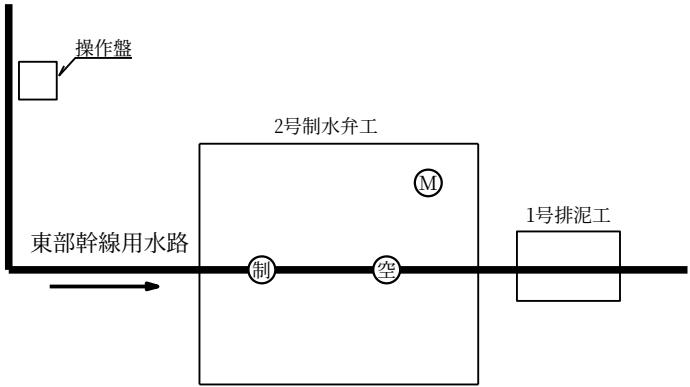
機側操作盤
2号制水弁工の制水弁（主弁）はここから操作。
圧力・弁開度も表示できる。
副弁による操作は手前マンホール（親子蓋）の
弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 35.44 "
2号制水弁工			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 04.93 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
2号制水弁工の主弁は電動バタフライバルブ
であり、現地機側操作盤からの操作で全閉・
全開操作が可能である。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

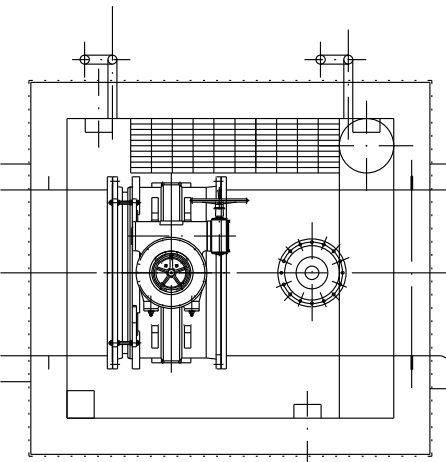
制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35°35'00.87"	
3号制水弁工			関連事業名				経度		140°23'52.80"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3,800 (3,110) 1,870 (1,440) 5,670 (4,550)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 5.45m³/S	施設容量 5.45m³/S	制水弁工付近 標高(m)		地盤高 管中心高	5.35 2.00
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位	

概要

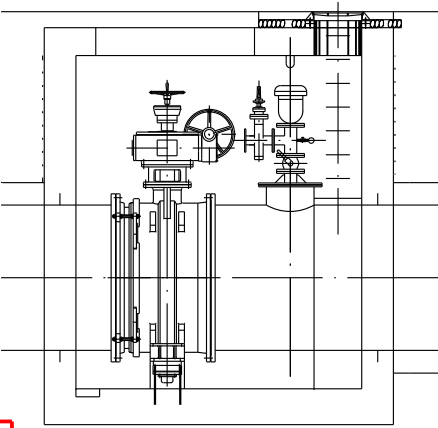
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は城西国際大学敷地に隣接する耕作地の耕作道下に設置された地下埋設敷地である。耕作道脇に設置された通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。

平面図



縦断面図



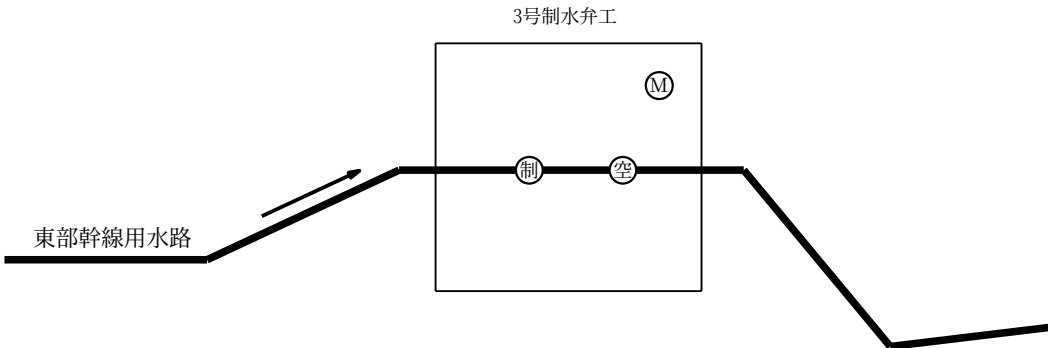
弁室人孔（マンホール）
3号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 00.87 "	
3号制水弁工			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 52.80 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
3号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

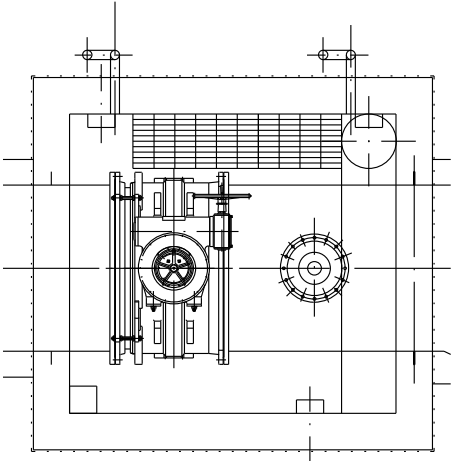
制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度	35 ° 33 ' 54.75 "	
4号制水弁工			関連事業名				経度	140 ° 24 ' 12.31 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 3.44m ³ /S	施設容量 3.44m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.75 2.67
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

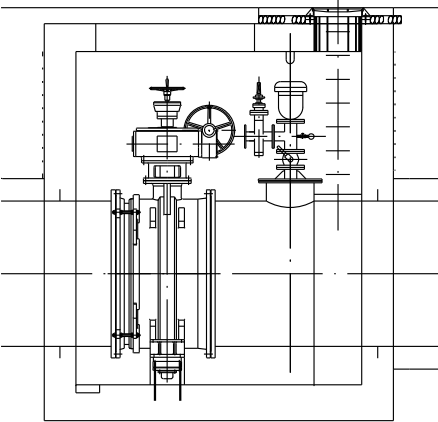
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道3190号線下に設置された地下埋設施設である。
東金東分水工の脇を走る開水路及び東金市道をまたいだ先の電柱が目印となる。
この電柱の根本に弁室人孔(マンホール)が設置されている。

平面図



縦断面図



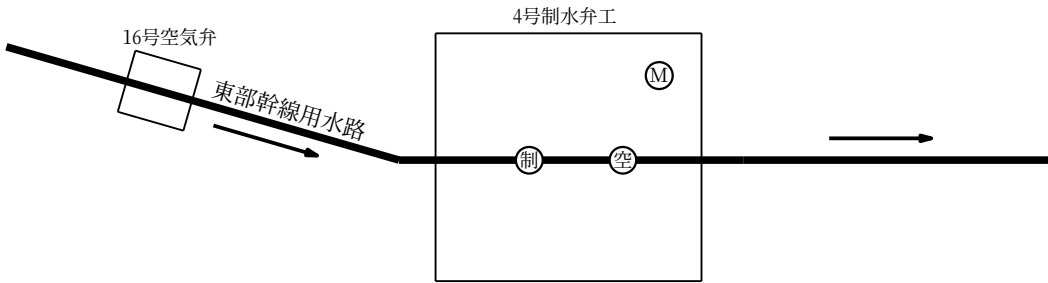
弁室人孔（マンホール）
4号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度	35 ° 33 ' 54.75 "	
4号制水弁工			関連事業名				経度	140 ° 24 ' 12.31 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
4号制水弁の主弁は手動バタフライバルブ
であり、弁室内のハンドルにより全閉・全開
操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

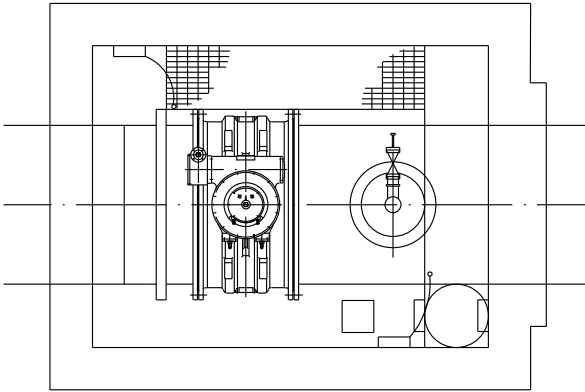
制水弁番号 5号制水弁工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35 ° 32 ' 22.60 "	
			関連事業名				経度	140 ° 23 ' 16.70 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 3.44m³/S	施設容量 3.44m³/S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	4.32 1.16
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

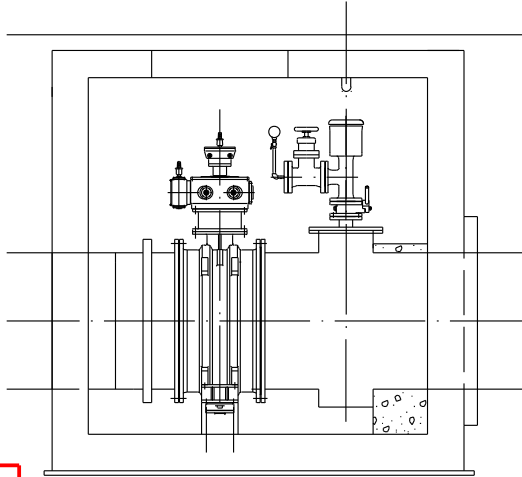
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道4093号線が県道東金豊海線へ突き当たる手前の市道4093号線下に設置された地下埋設施設である。市道脇の通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。

平面図



縦断面図



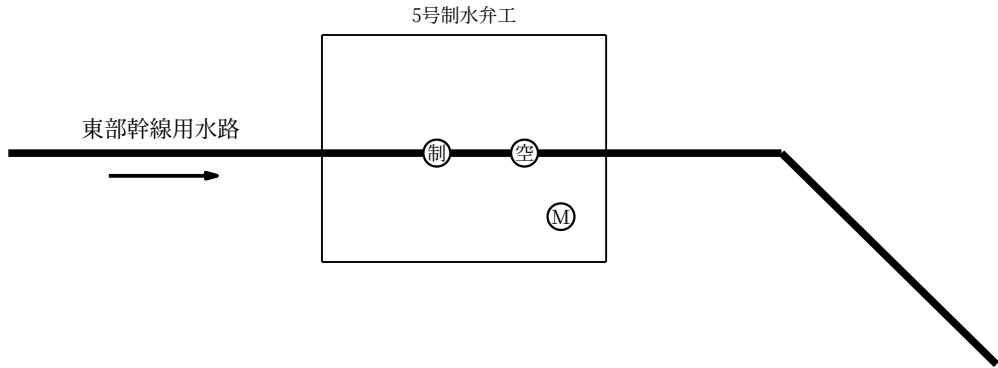
弁室人孔（マンホール）
5号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホール
の弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号 5号制水弁工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 32 ' 22.60 "	
			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 16.70 "	

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

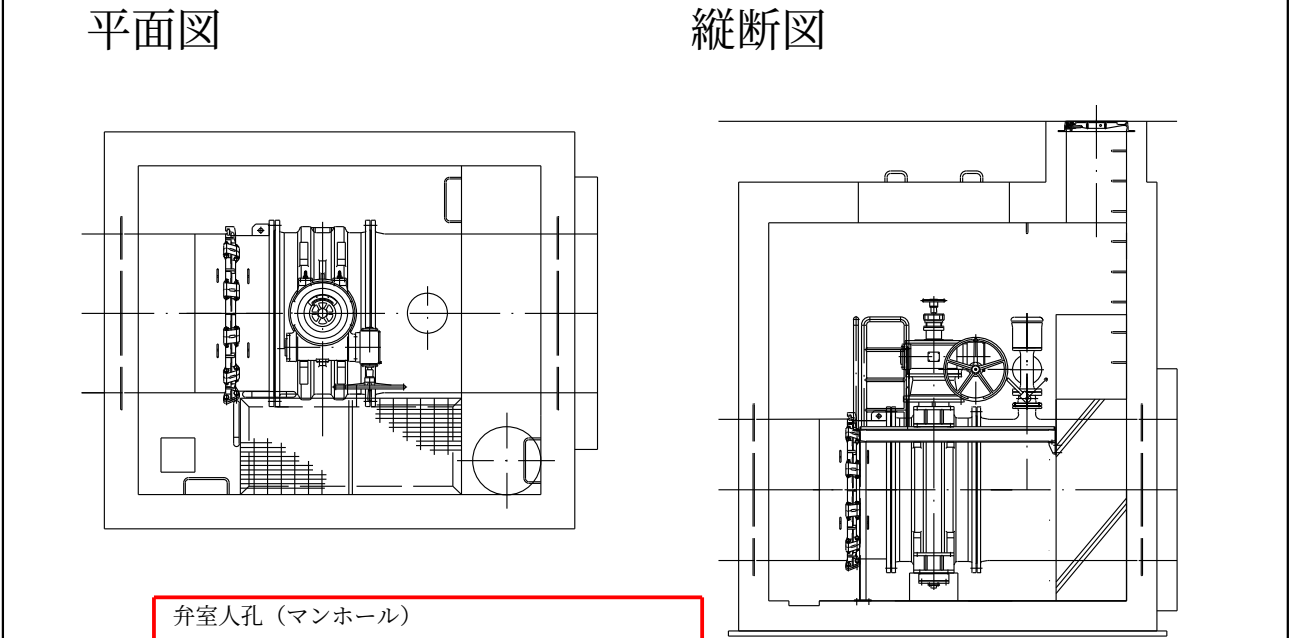
【制水弁について】
5号制水弁の主弁は手動バタフライバルブ
であり、弁室内のハンドルにより全閉・全開
操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 31 ' 27.80 "	
			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 47.20 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,900 (1,210) 1,010 (580) 2,910 (1,790)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 2.11m ³ /S	施設容量 2.11m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東金市道4453号線下に設置された地下埋設施設である。
福岡東分水工から大網白里市方向に行った約20m先のガードレール脇の弁室人孔(マンホール)が目印となる。



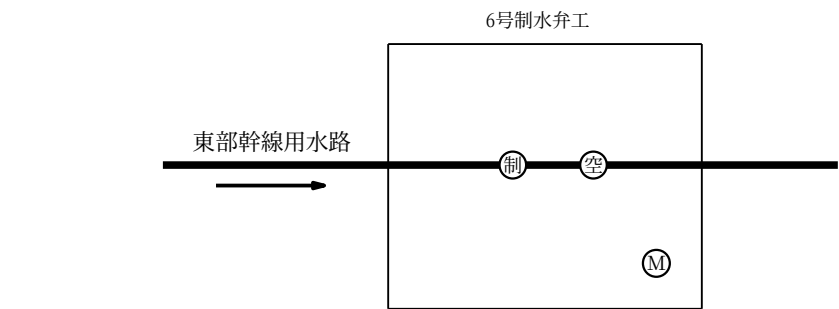
弁室人孔（マンホール）
6号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホール
の弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 31 ' 27.80 "	
			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 47.20 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
6号制水弁の主弁は手動バタフライバルブ
であり、弁室内のハンドルにより全閉・全開
操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

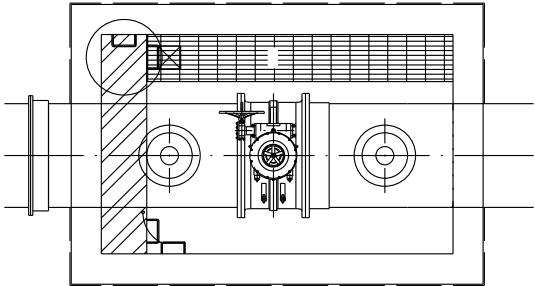
制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 29 ' 55.77 "	
			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 03.40 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,760 (1,070) 960 (530) 2,720 (1,600)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.96m ³ /S	施設容量 1.96m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高 3.95 0.92
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

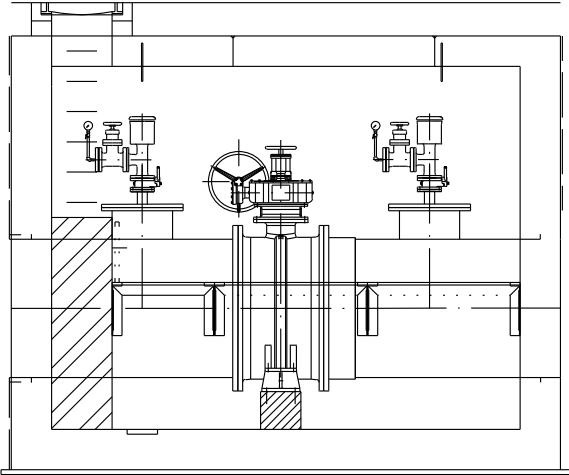
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は大網白里市道0173号線下に設置された地下埋設施設である。
大網東第2分水工手前の道路を左折した道路脇に設置された通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。

平面図



縦断面図



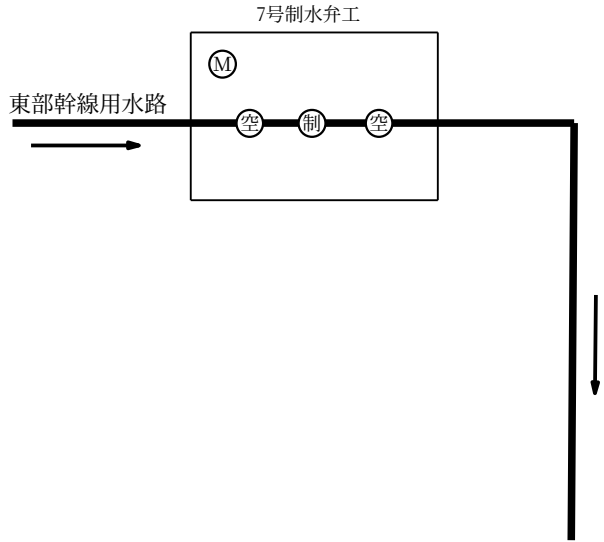
弁室人孔（マンホール）
7号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 29 ' 55.77 "	
			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 03.40 "	

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
7号制水弁の主弁は手動バタフライバルブ
であり、弁室内のハンドルにより全閉・全開
操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

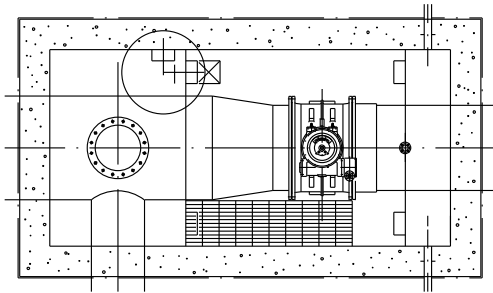
制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 28 ' 58.85 "
8号制水弁工			関連事業名				経度		140 ° 21 ' 29.96 "
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.36m ³ /S	施設容量 1.36m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	4.84 1.11
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

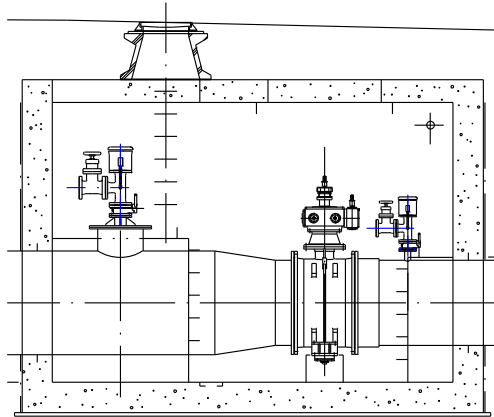
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、
下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は茂原市道3045号線下に設置された地下埋設施設である。
本納東分水工のサイホンブレーカーに隣接する市道交差点脇に設置された弁室人孔(マンホール)が目印である。
制水弁室内には本納東分水工への分水管が設置されている。

平面図



縦断面図



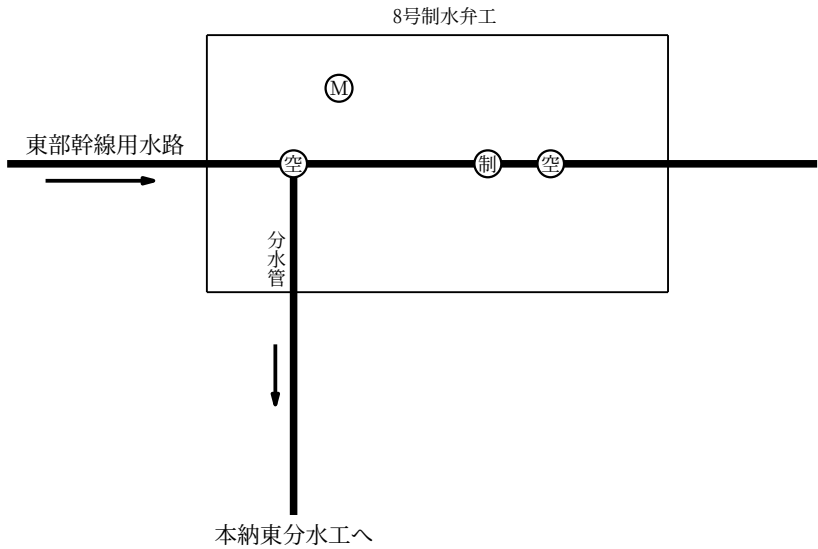
弁室人孔（マンホール）
8号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホール
の弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 28 ' 58.85 "
8号制水弁工			関連事業名				経度		140 ° 21 ' 29.96 "

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
制 水 弁	⊙
マンホール(人孔)	Ⓜ

【制水弁について】
8号制水弁の主弁は手動バタフライバルブ
であり、弁室内のハンドルにより全閉・全開
操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁
(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

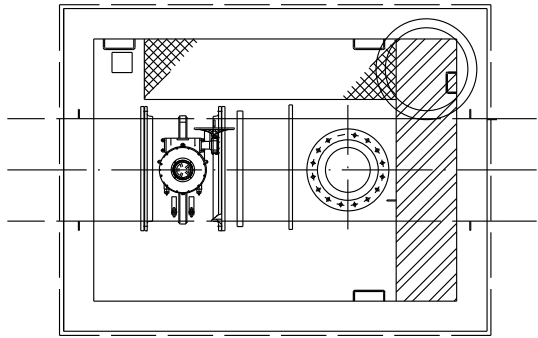
制水弁番号			9号制水弁工		路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 27 ' 13.04 "	
					関連事業名				経度		140 ° 20 ' 47.29 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.36m³/S	施設容量 1.36m³/S	制水弁工付近 標高(m)		地盤高 管中心高		5.37 2.42	
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位			

概要

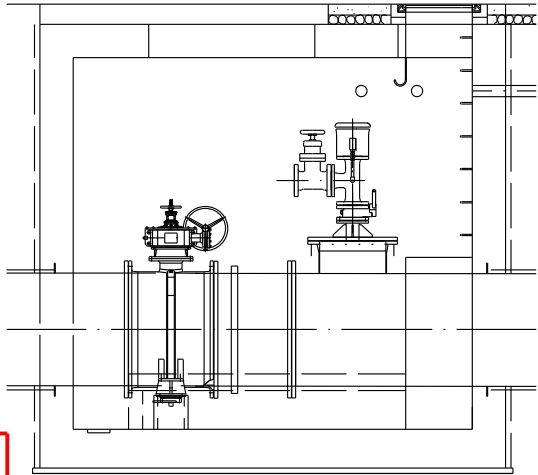
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は茂原市道3172号線下に設置された地下埋設施設である。
東郷東第2分水工施設の入口門扉に向かう道路脇の弁室人孔(マンホール)が目印である。
制水弁室内には東郷東第2分水工への分水管が設置されている。

平面図



縦断面図



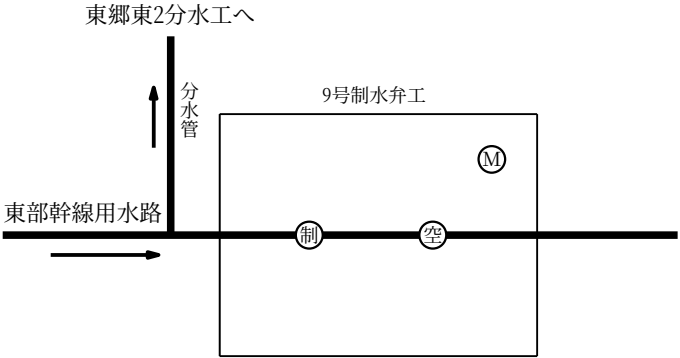
弁室人孔（マンホール）
9号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 27 ' 13.04 "	
9号制水弁工			関連事業名				経度		140 ° 20 ' 47.29 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
9号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

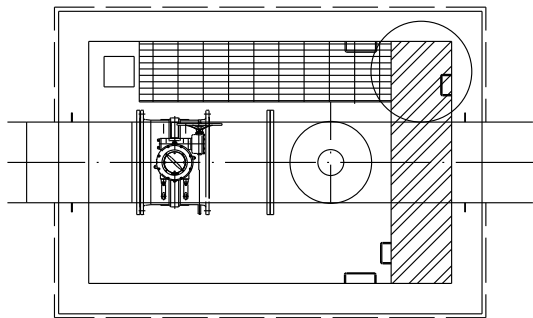
制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 38.20 "		
10号制水弁工			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.57 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.36m ³ /S	施設容量 1.36m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.82 3.04
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

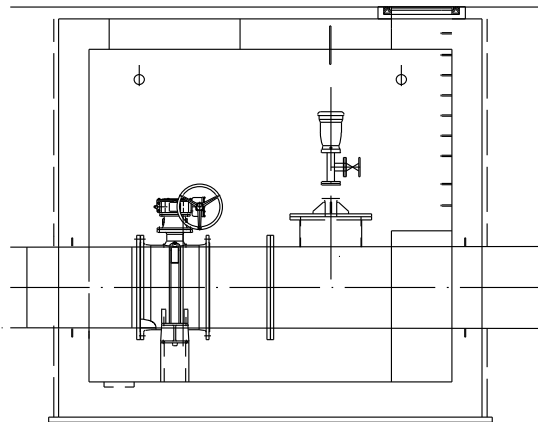
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は長生村道2068号線下に設置された地下埋設施設である。
高根東第2分水工施設に隣接する道路上の弁室人孔(マンホール)が目印である。

平面図



縦断面図



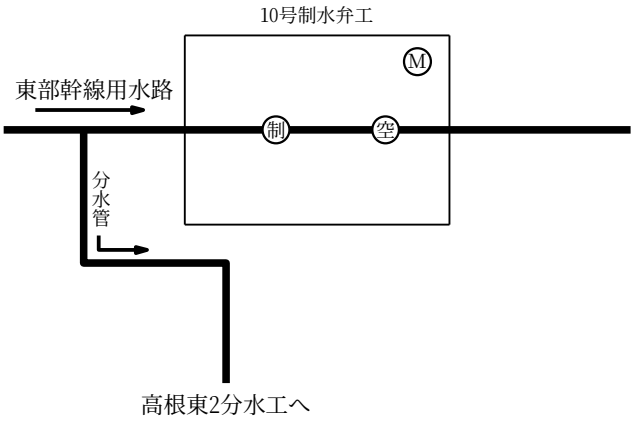
弁室人孔（マンホール）
10号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 38.20 "		
10号制水弁工			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.57 "		

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	⊙M

【制水弁について】
10号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

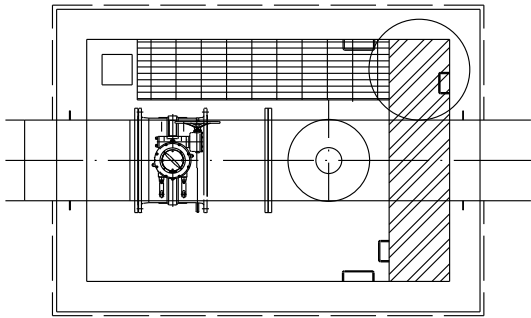
制水弁番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 23 ' 55.63 "		
13号制水弁工			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 07.34 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.36m ³ /S	施設容量 1.36m ³ /S	制水弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	4.90 2.06
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

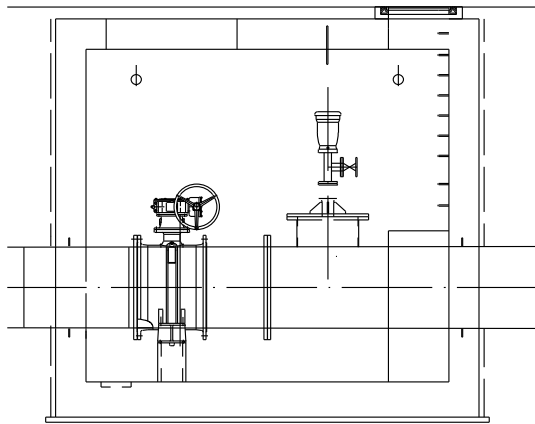
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

制水弁工は東部幹線用水路の管理用道路下に設置された地下埋設施設である。
J R 外房線の住宅地に隣接した舗装道路(車止め有り)上の弁室人孔(マンホール)が目印である。

平面図



縦断面図



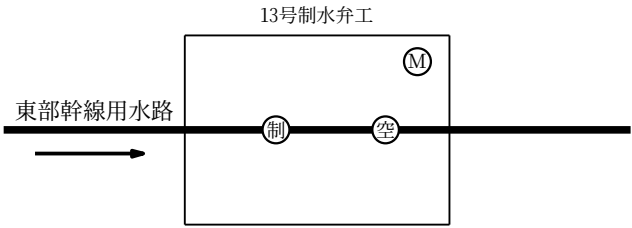
弁室人孔（マンホール）
13号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。



制水弁番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 23 ' 55.63 "		
13号制水弁工			関連事業名		経度	140 ° 21 ' 07.34 "		

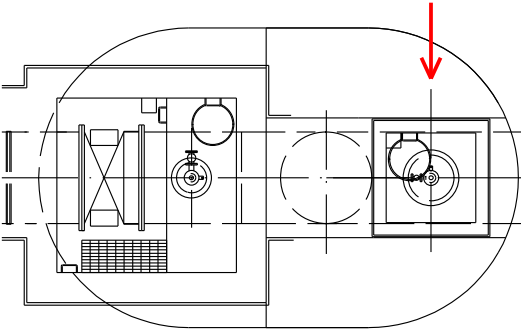
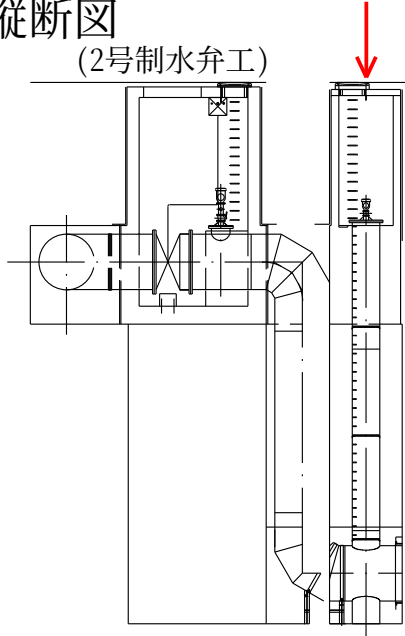
説明図	
-----	--

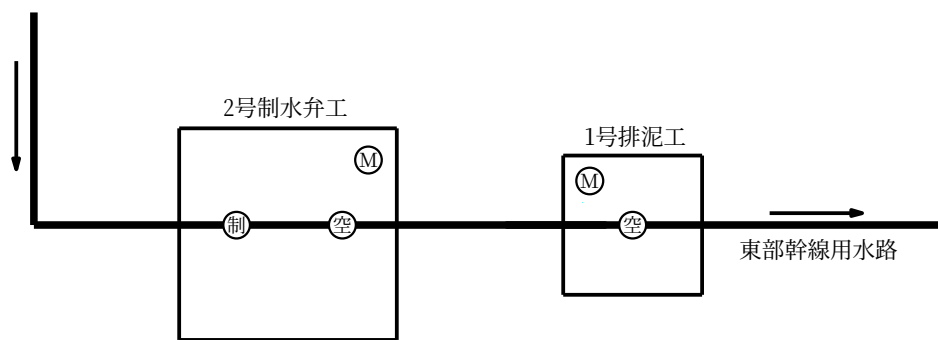
管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙空
制 水 弁	⊙制
マンホール(人孔)	Ⓜ

【制水弁について】
13号制水弁の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁(上部ハンドル付：開は時計廻り)の使用が望ましい。

排泥工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 35 ' 34.71 "		
1号排泥工			関連事業名				経度		140 ° 23 ' 05.38 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3,800 (3,110) 1,870 (1,440) 5,670 (4,550)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 5.45m ³ /S	施設容量 5.45m ³ /S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	9.50 3.56		
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位			
概要		※受益面積欄上段の数字は松瀨支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松瀨支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は東金市道2033号線に隣接した東部幹線用水路の管理用道路下と東金市道2033号線下に設置された 地下埋設施設である。このため管理用道路内に立つ制水弁操作の機側操作盤が目印となる。									
平面図			縦断図								
											
(2号制水弁工)											
弁室人孔（マンホール） 1号排泥工の弁室はこのマンホール内。 内部に空気弁φ75mmが設置されている。 排泥作業はこのマンホールから行うとともに、 東部幹線本管の管理用人孔も兼ねている。											
留意事項			類似構造の排泥工(空気弁φ75mm) が下流に8ヵ所存在するが、別紙一覧表での整理により平面図・縦断図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。								

排泥工番号		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 34.71 "								
1号排泥工		関連事業名		経度	140 ° 23 ' 05.38 "								
説明図		管理施設・配管・模式図											
													
<table><tr><td colspan="2">凡 例</td></tr><tr><td>制 水 弁</td><td>ⓐ</td></tr><tr><td>空 気 弁</td><td>ⓑ</td></tr><tr><td>マンホール(人孔)</td><td>ⓒ</td></tr></table>						凡 例		制 水 弁	ⓐ	空 気 弁	ⓑ	マンホール(人孔)	ⓒ
凡 例													
制 水 弁	ⓐ												
空 気 弁	ⓑ												
マンホール(人孔)	ⓒ												
【排泥弁について】 1号排泥工の構造は空気弁据付タイプであり、 排泥作業は以下の手順により行う。 1. 空気弁副弁を開にして本管内の水位を低下。 2. 空気弁フランジ蓋を取り外す。 3. フランジ孔から管内へ水中ポンプを下ろし弁室外へ排水する。													

「排泥工」

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画上、東部幹線に寄る受益面積)、下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。

工事中

7号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



8号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



9-1号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



11-1号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

.....



12-2号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

.....



16号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

.....



17号排泥工

(構造及び規模)

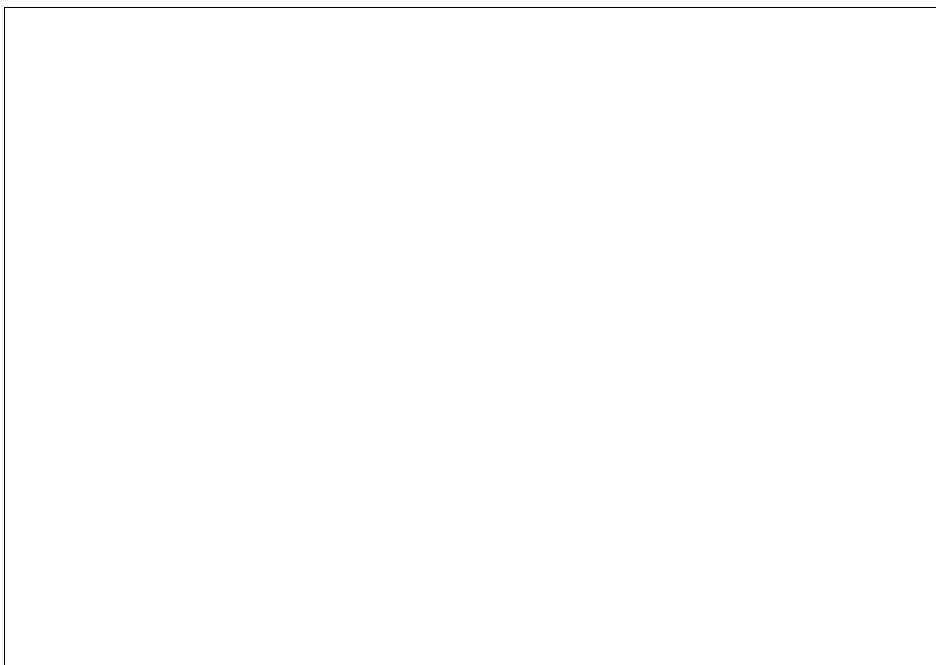
・空気弁(φ75mm)



17-1号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

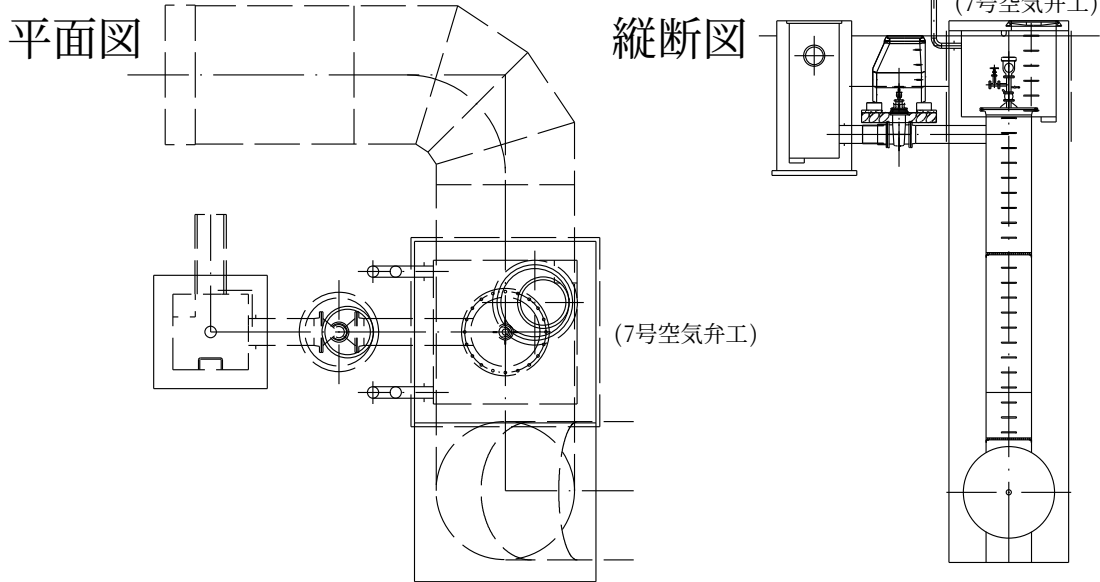


排泥工番号 2号排泥工 7号空気弁工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35° 34' 49.27"	
			関連事業名				経度	140° 24' 10.20"	
国営 受益面積 (ha)	水田	3,800 (3,110)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 5.45m³/S	施設容量 5.45m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.30 -4.14
	畑 計	1,870 (1,440) 5,670 (4,550)					国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は東金市道2169号線に隣接し同一敷地内の7号空気弁工通気管2本が目印となる。
現地には仕切弁保護のためのマンホールが設置されている。



弁室人孔（マンホール）
7号空気弁工の空気弁（φ75mm）はこのマンホール下の弁室内に設置されている。
空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔を兼ねている。

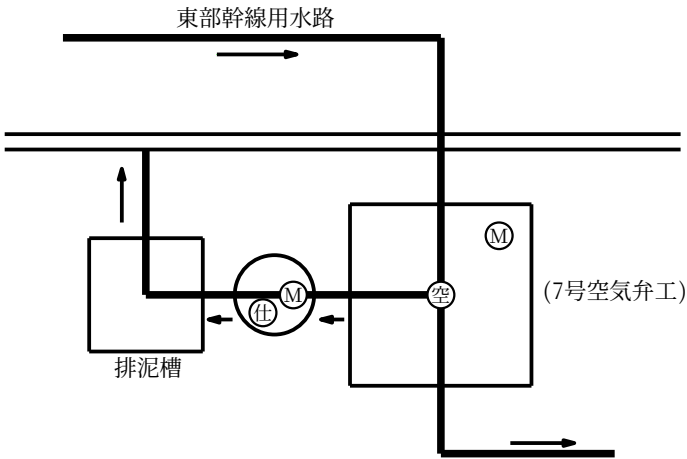
弁保護工（マンホール）
2号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作は開栓棒により行う。



排泥工番号 2号排泥工 7号空気弁工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 34 ' 49.27 "
		関連事業名		経度	140 ° 24 ' 10.20 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
仕 切 弁	⊕
空 気 弁	⊙
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

2号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は上部に開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

【管理孔について】

7号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。
管内へ入る際は以下の手順により行う。
1.2号排泥工の仕切弁を開にして本管内の水位を低下。
2.空気弁フレンジ 蓋を取り外す。

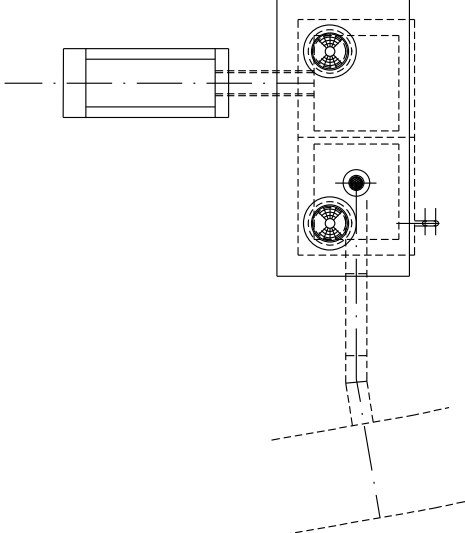
排泥工番号 4号排泥工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°34'24.98"	
			関連事業名				経度	140°24'24.14"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3,800 (3,110) 1,870 (1,440) 5,670 (4,550)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 5.45m³/S	施設容量 5.45m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.30 -4.14
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

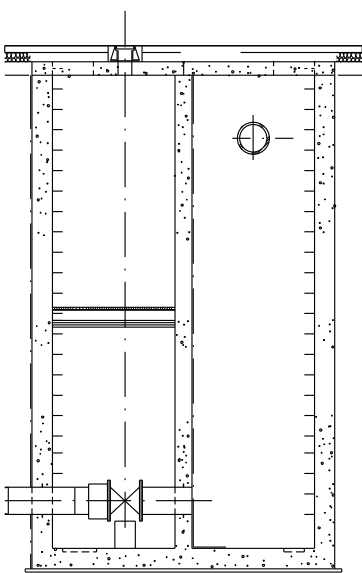
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は高倉川右岸堤防の道路上に設置されており2ヵ所のマンホールと通気管が目印となる。

平面図



縦断面図



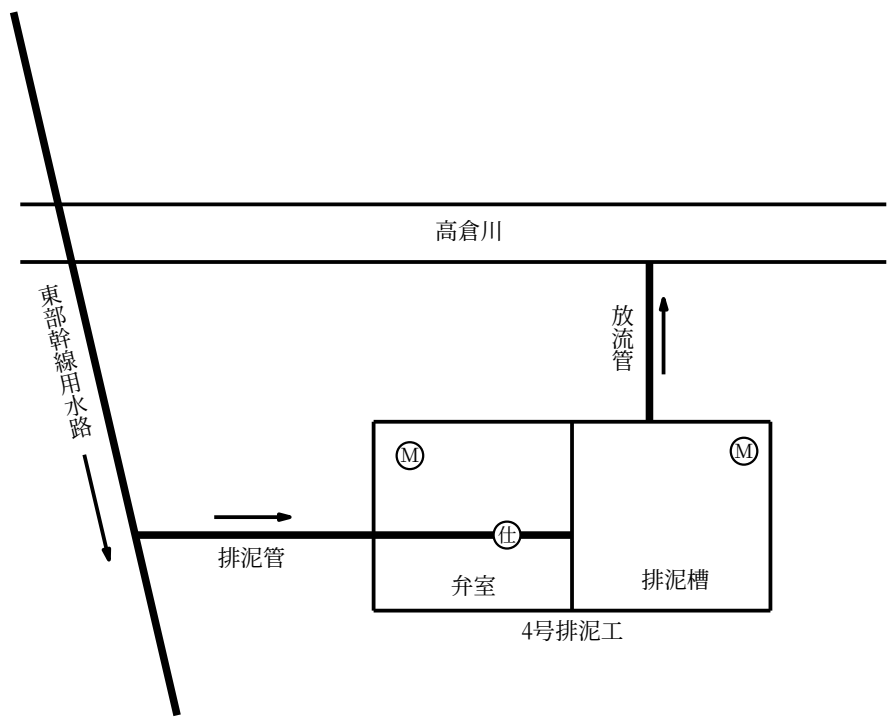
弁室人孔（マンホール）
4号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作はマンホール脇の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 4号排泥工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 34 ' 24.98 "
			関連事業名		経度	140 ° 24 ' 24.14 "

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
仕 切 弁	⊕
空 気 弁	⊙
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

4号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全開操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は上部に開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

「排泥工」

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



5号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



5-1号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



5-2号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)

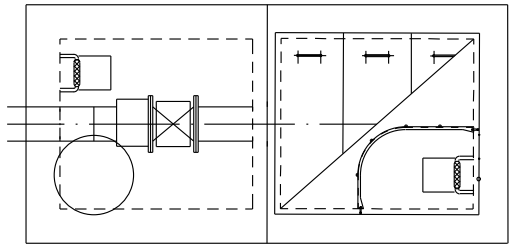
排泥工番号 6号排泥工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°32'09.82"	
			関連事業名				経度	140°23'08.08"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	2,740 (2,050) 1,440 (1,010) 4,180 (3,060)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 3.44m³/S	施設容量 3.44m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.47 -2.88
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	

概要

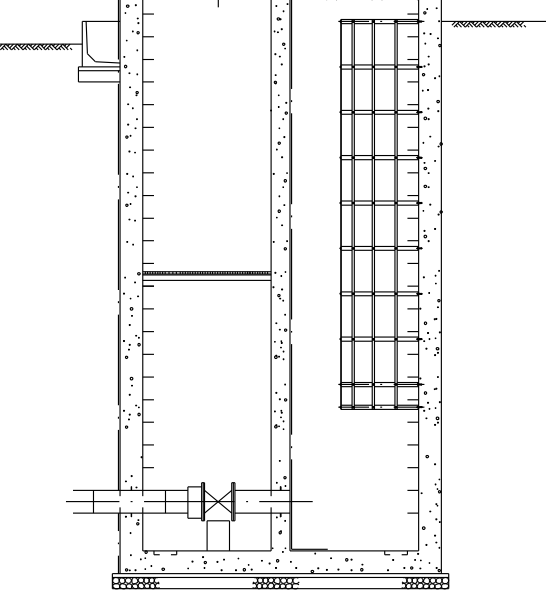
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川真亀川の左岸側に隣接し真亀川西野堰の赤い水門が目印である。

平面図



縦断面図



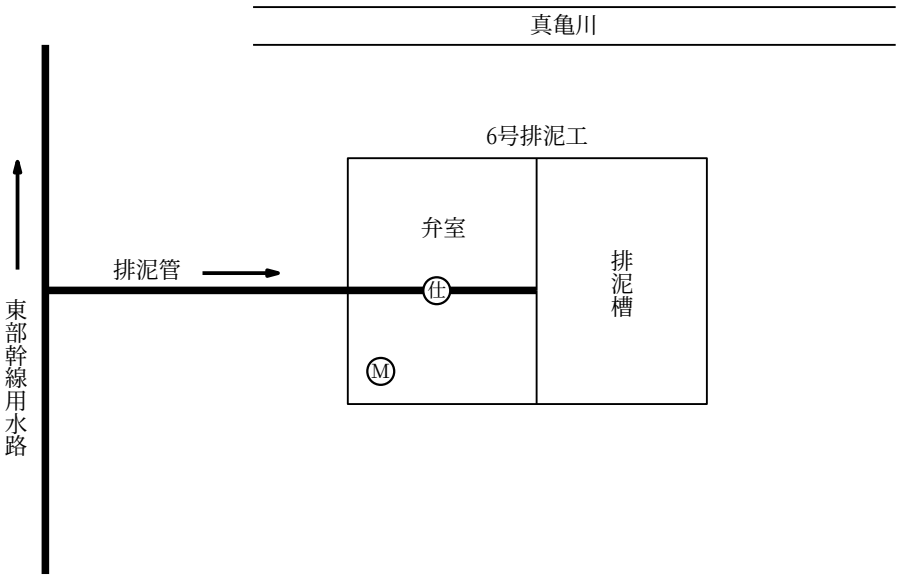
弁室人孔（マンホール）
6号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作はマンホール脇の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 6号排泥工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 32 ' 09.82 "
			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 08.08 "

説明図

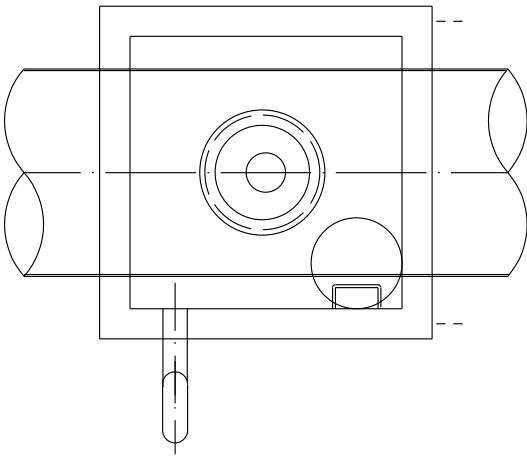
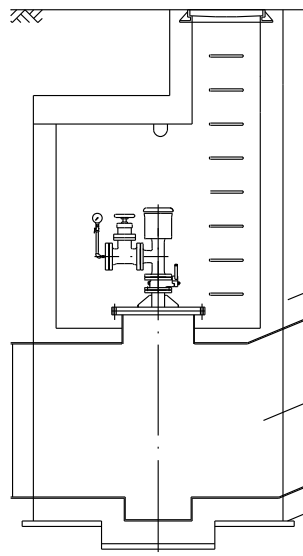
管理施設・配管・模式図

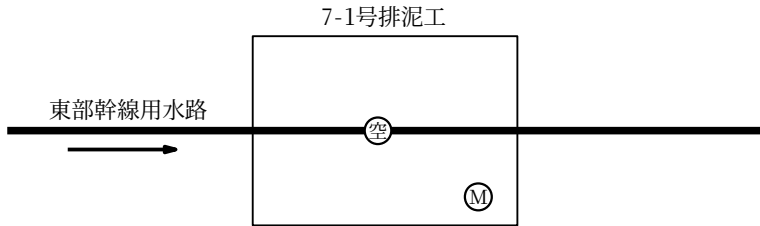


凡 例	
空 気 弁	⊗
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

6号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は上部に開栓棒の受け口が設置されているタイプ。
排泥作業は、隣接する排泥槽へ水中ポンプを降ろして排泥槽外へ排水する方式である。

排泥工番号 7-1号排泥工			路線名 東部幹線用水路		緯度 35 ° 31 ' 23.79 "				
			関連事業名		経度 140 ° 22 ' 44.86 "				
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,900 (1,210) 1,010 (580) 2,910 (1,790)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 2.11m ³ /S	施設容量 2.11m ³ /S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	4.01 0.30
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	
概要		※受益面積欄上段の数字は松瀧支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松瀧支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は東金市道4453号線下に設置された地下埋設施設である。市道4453号線の道路脇に設置された通気管と弁室人孔(マンホール)が目印となる。							
平面図				縦断面図					
									
弁室人孔（マンホール） 7-1号排泥工の弁室はこのマンホール内。 内部に空気弁φ100mmが設置されている。 排泥作業はこのマンホールから行うとともに、 東部幹線本管の管理用人孔も兼ねている。									
									
留意事項		類似構造の排泥工（空気弁φ100mm）が下流に4ヵ所存在するが別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。							

排泥工番号	7-1号排泥工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 31 ' 23.79 "								
		関連事業名		経度	140 ° 22 ' 44.86 "								
説明図	管理施設・配管・模式図 												
<table><tr><td colspan="2">凡 例</td></tr><tr><td>空 気 弁</td><td>⊙空</td></tr><tr><td>仕 切 弁</td><td>⊙仕</td></tr><tr><td>マンホール (人孔)</td><td>⊙M</td></tr></table>						凡 例		空 気 弁	⊙空	仕 切 弁	⊙仕	マンホール (人孔)	⊙M
凡 例													
空 気 弁	⊙空												
仕 切 弁	⊙仕												
マンホール (人孔)	⊙M												
【排泥弁について】 7-1号排泥工の構造は空気弁据付タイプであり、 排泥作業は以下の手順により行う。 1. 空気弁副弁を開にして本管内の水位を低下。 2. 空気弁フランジ蓋を取り外す。 3. フランジ孔から管内へ水中ポンプを下ろし弁室外へ排水する。													

「排泥工」

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



7-2号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



12-3号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



12-4号排泥工

(構造及び規模)

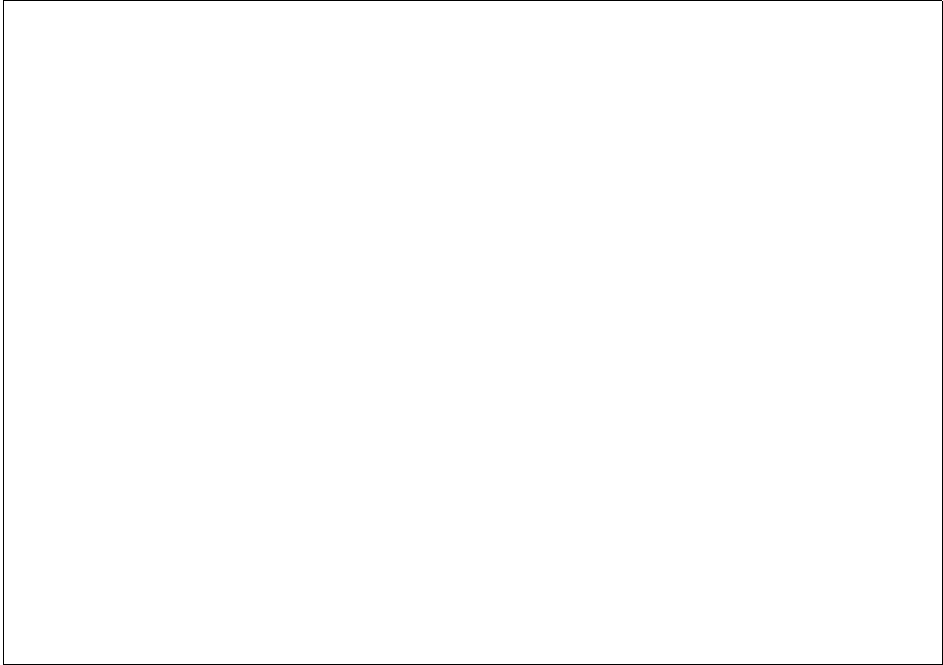
・空気弁(φ100mm)



12-6号排泥工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



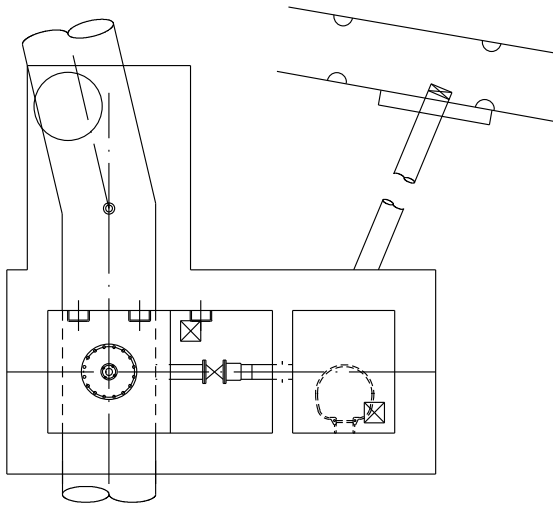
排泥工番号 9号排泥工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°30'51.91"	
			関連事業名				経度	140°22'22.07"	
国営 受益面積 (ha)	水田	1,900 (1,210)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量	施設容量	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.92
	畑	1,010 (580)			2.11m³/S	2.11m³/S	国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	-3.18
計		2,910 (1,790)							

概要

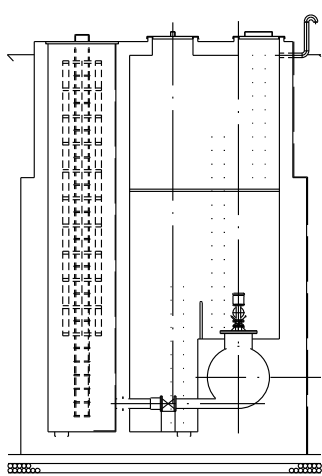
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は東金市道4478号線に隣接し同市道を南白亀川方向へ進んだ突き当たりのネットフェンスが目印となる。

平面図



縦断面図



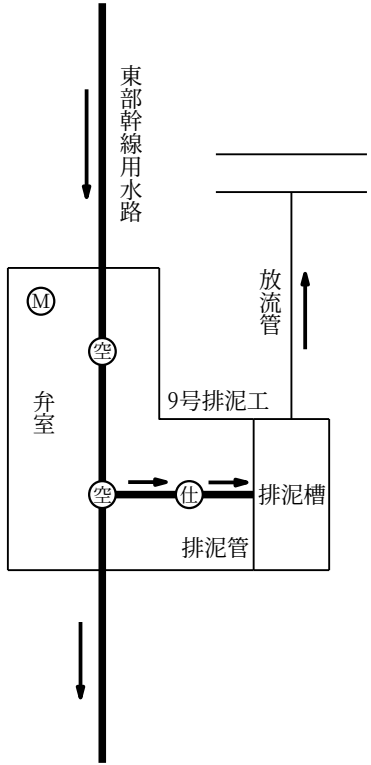
(弁室)
9号排泥工の仕切弁はこの弁室内に設置されている。
操作は鉄蓋上部の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 9号排泥工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 30 ' 51.91 "
			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 22.07 "

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
仕 切 弁	⊞
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

9号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全開操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は上部に開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

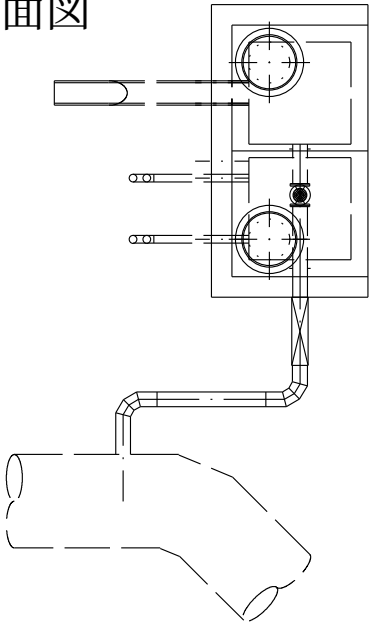
排泥工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 30 ' 07.01 "	
10号排泥工			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 04.41 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,760 (1,070) 960 (530) 2,720 (1,600)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 1.96m ³ /S	施設容量 1.96m ³ /S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

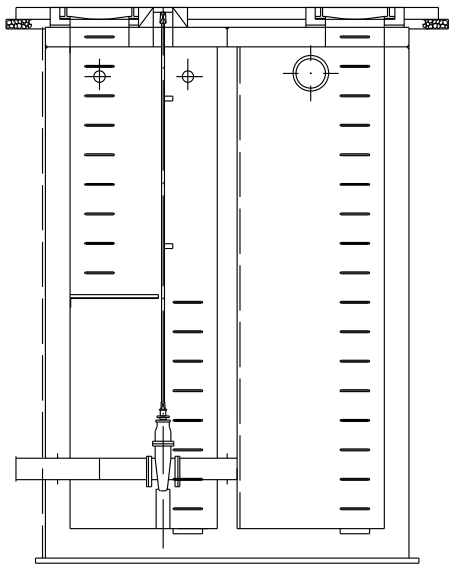
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、
下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は大網白里市道0180号線と県営排水路の交差部に隣接し同排水路の堰上水門施設が目印となる。

平面図



縦断図

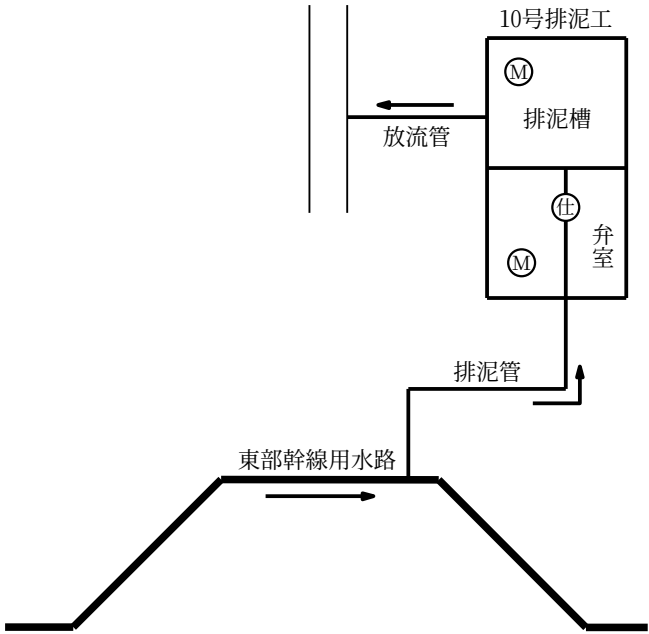


弁室人孔（マンホール）
10号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内
に設置されている。
操作はマンホール脇の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 30 ' 07.01 "	
10号排泥工			関連事業名		経度	140 ° 22 ' 04.41 "	

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊗
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

10号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの
開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

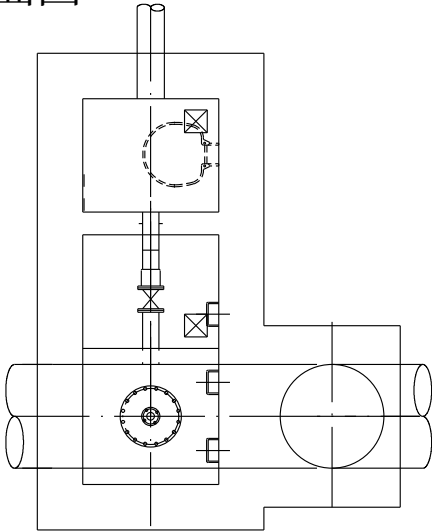
排泥工番号 11号排泥工			路線名	東部幹線用水路			緯度	35°29'39.73"	
			関連事業名				経度	140°21'52.92"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,760 (1,070) 960 (530) 2,720 (1,600)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.96m³/S	施設容量 1.96m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	2.68
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	-4.82

概要

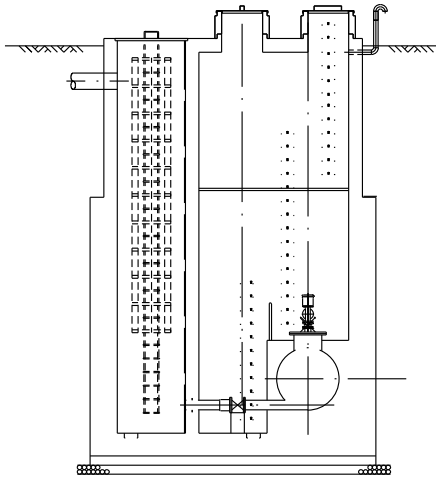
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川小中川右岸側堤防に隣接し同河川の長国堰水門施設が目印となる。

平面図



縦断面図



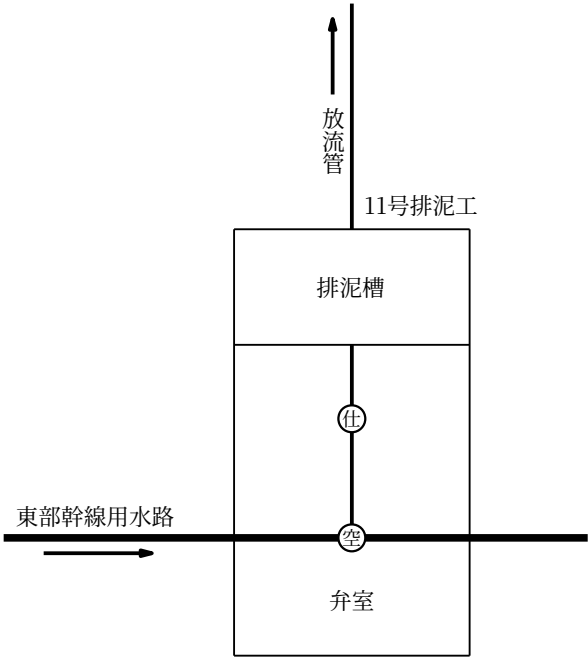
(弁室)
11号排泥工の仕切弁はこの弁室内に設置されている。
操作は鉄蓋上部の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 11号排泥工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 29 ' 39.73 "
		関連事業名		経度	140 ° 21 ' 52.92 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊗
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

11号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

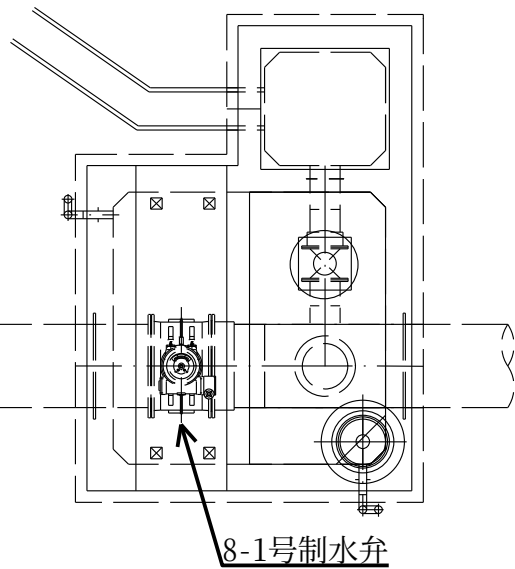
排泥工番号			12号排泥工		路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 24.47 "	
					関連事業名			経度	140 ° 21 ' 23.02 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.36m³/S	施設容量 1.36m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	1.60 -4.52	
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位		

概要

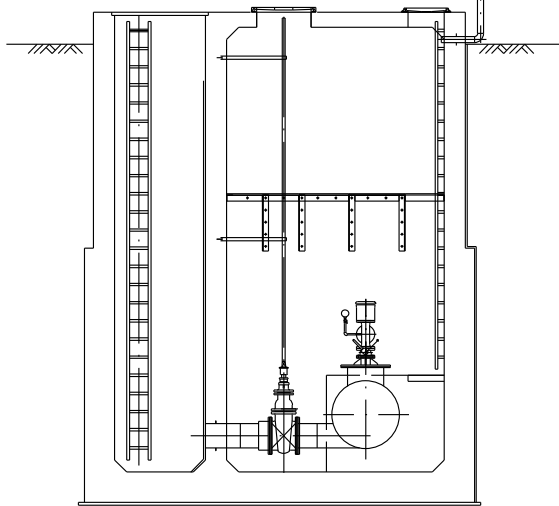
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は二級河川赤目川左岸側に面した耕地への進入路の終点に隣接しコンクリート構造の弁室が目印である。
排泥工弁室内には仕切弁のほか8-1号制水弁が設置されており、制水弁工施設としても機能している。

平面図



縦断図



弁室人孔（マンホール）
8-1号制水弁工の制水弁（主弁）はこのマンホールの弁室内で手動操作。
主弁・副弁ともに操作は弁室内のハンドルで行う。

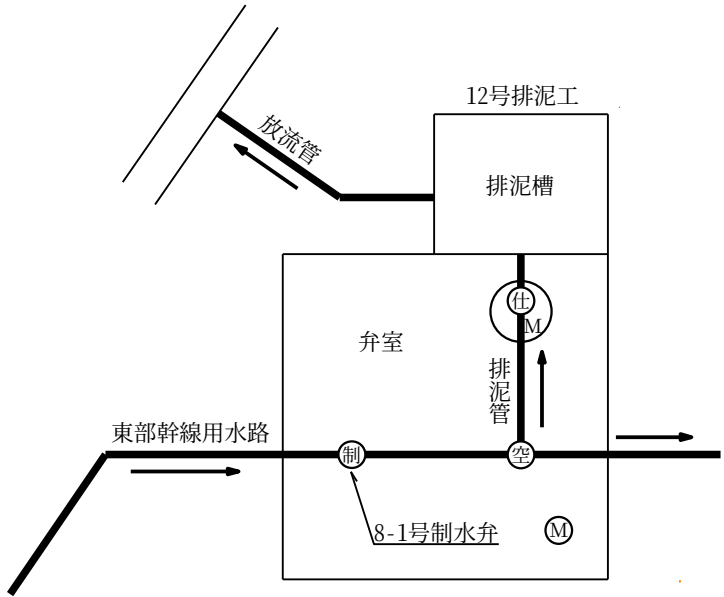
弁保護工（マンホール）
12号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作はφ300mmのマンホール弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 28 ' 24.47 "	
12号排泥工			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 23.02 "	

説明図

管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊙
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ
制 水 弁 8 - 1 号 制 水 弁	⊙

【排泥弁について】

12号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

【制水弁について】

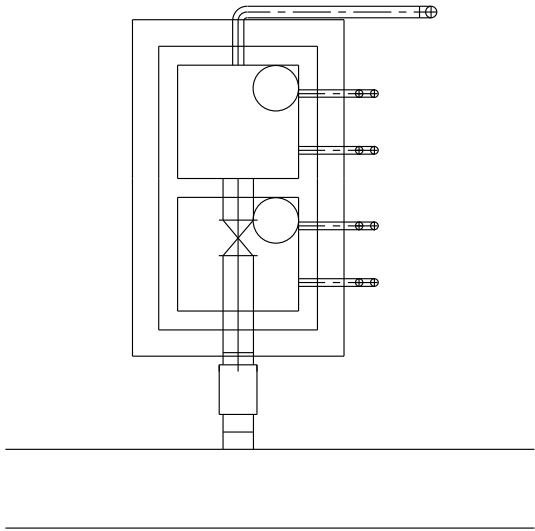
8-1号制水弁工の主弁は手動バタフライバルブであり、弁室内のハンドルにより全閉・全開操作を行う。
全閉操作時、全閉からの開操作時は副弁（上部ハンドル付:開は時計廻り)の使用が望ましい。

排泥工番号			12-5号排泥工			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 27 ' 00.04 "	
						関連事業名				経度		140 ° 20 ' 55.99 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³ S)	計	最大流量 1.36m³/ S	施設容量 1.36m³/ S	排泥工付近 標高(m)		地盤高 管中心高		4.99 -0.83		
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位				

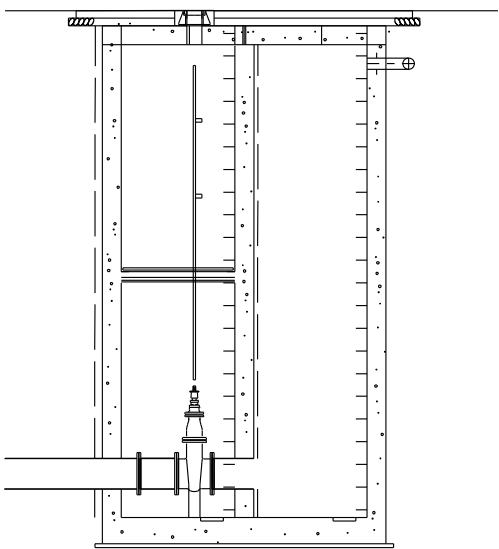
概要 ※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

排泥工は県営両総用水路新川水路に隣接し水路に架かる赤い横断橋が目印である。

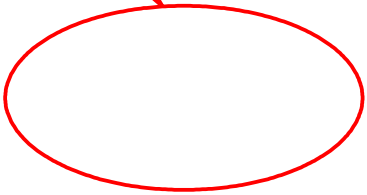
平面図



縦断面図



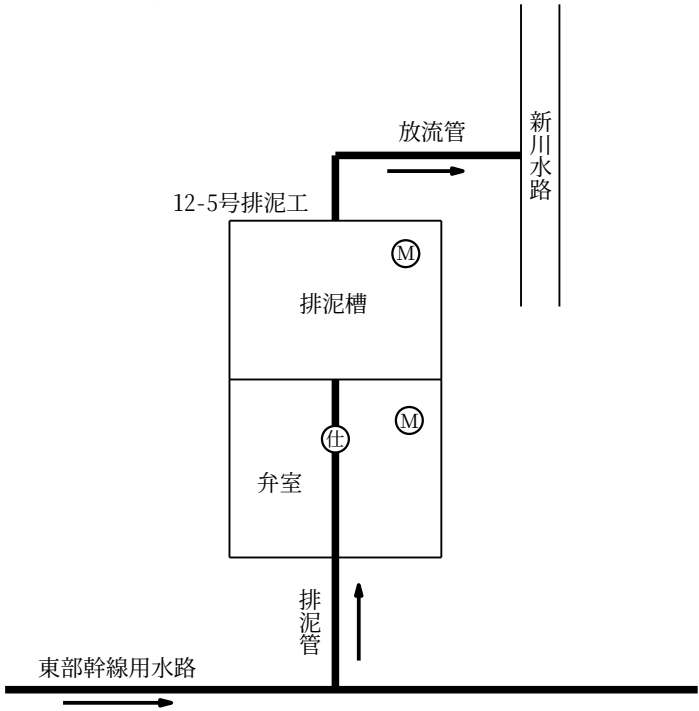
弁室人孔（マンホール）
12-5号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内に設置されている。
操作はマンホール脇の弁蓋から開栓棒により行う。



排泥工番号 12-5号排泥工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 27 ' 00.04 "
			関連事業名		経度	140 ° 20 ' 55.99 "

説明図

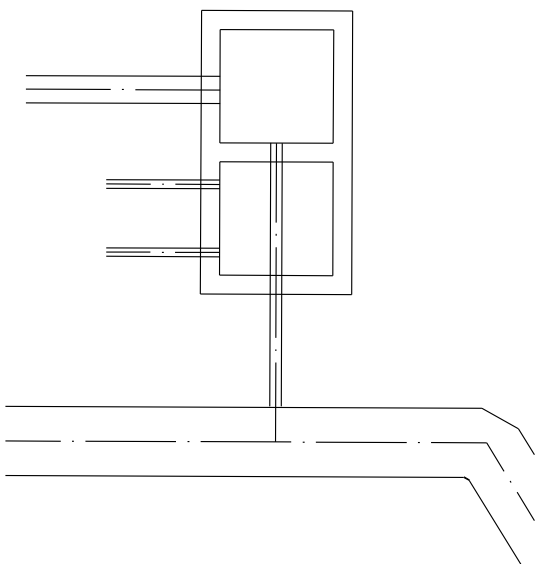
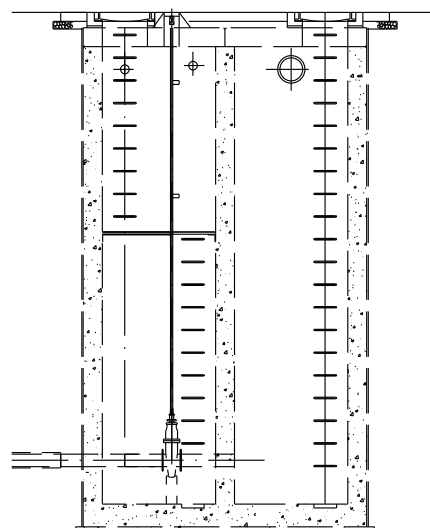
管理施設・配管・模式図



凡 例	
空 気 弁	⊗
仕 切 弁	⊕
マンホール(人孔)	Ⓜ

【排泥弁について】

12-5号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全開操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。
仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

排泥工番号			路線名		東部幹線用水路		緯度		35 ° 25 ' 52.87 "		
13号排泥工			関連事業名				経度		140 ° 20 ' 48.14 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.36m³/S	施設容量 1.36m³/S	排泥工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.20 -0.35		
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位			
概要		※受益面積欄上段の数字は松瀧支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松瀧支線分を含まない）の受益面積を表示している。 排泥工は県営両総用水内谷川東郷支線水路に隣接し長生村道の水路横断橋が目印である。									
平面図			縦断面図								
											
			弁室人孔（マンホール） 13号排泥工の仕切弁はこのマンホールの弁室内 に設置されている。 操作はマンホール脇の弁筐から開栓棒により行う。								
											
留意事項		類似構造の排泥工が下流に3ヵ所存在することから別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各排泥工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。									

排泥工番号	13号排泥工		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 25 ' 52.87 "								
			関連事業名		経度	140 ° 20 ' 48.14 "								
説明図														
管理施設・配管・模式図														
<table><tr><td colspan="2">凡 例</td></tr><tr><td>空 気 弁</td><td>⊗</td></tr><tr><td>仕 切 弁</td><td>⊕</td></tr><tr><td>マンホール(人孔)</td><td>Ⓜ</td></tr></table>							凡 例		空 気 弁	⊗	仕 切 弁	⊕	マンホール(人孔)	Ⓜ
凡 例														
空 気 弁	⊗													
仕 切 弁	⊕													
マンホール(人孔)	Ⓜ													
【排泥弁について】 13号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。 仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。														

「排泥工」

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



14号排泥工

(構造及び規模)

・排泥弁室(仕切弁φ150mm)

・排泥槽

・放流管(ヒューム管φ300mm)

14-1号排泥工

(構造及び規模)

・排泥弁室(仕切弁φ150mm)

・排泥槽

・放流管(ヒューム管φ300mm)



14-2号排泥工

(構造及び規模)

・排泥弁室(仕切弁φ150mm)

・排泥槽

・放流管(ヒューム管φ300mm)



[illegible]

排泥工番号

18号排泥工

路線名

東部幹線用水路

緯度

35 ° 25 ' 52.87 "

関連事業名

経度

140 ° 20 ' 48.14 "

説明図

管理施設・配管・模式図

凡 例

空 気 弁	⊙空
仕 切 弁	⊙仕
マンホール(人孔)	⊙M

【排泥弁について】

18号排泥工の主弁は手動仕切弁で、全閉操作、全閉からの開操作時は開栓棒（開は時計廻り）での操作となる。

仕切弁は開栓ロッドに開栓棒の受け口が設置されているタイプ。

「排泥工」

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画Ⅰ、東部幹線に寄る受益面積)、下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。

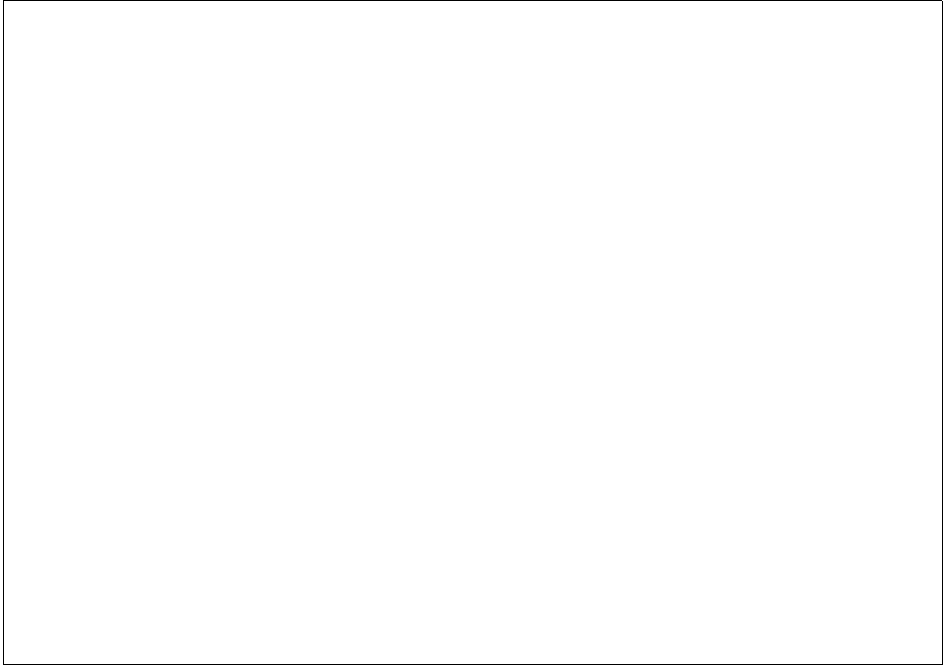


19号排泥工

(構造及び規模)

・排泥弁室(仕切弁φ150mm)

・放流管(硬質塩ビ管φ300mm)



空気弁工番号

1号空気弁工

路線名

東部幹線用水路

緯度

35 ° 35 ' 41.11 "

経度

140 ° 23 ' 04.46 "

関連事業名

国営
受益面積
(ha)

水田
畑
計

3,800
(3,110)
1,870
(1,440)
5,670
(4,550)

国営
計画流量
(m³/S)

計

最大流量
5.45m³/S

施設容量
5.45m³/S

空気弁工付近
標高(m)

地盤高
管中心高

16.50
15.30

国営幹線
水位(m)

静水位
動水位

概要

※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、
下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

空気弁は南部幹線用水路に隣接し周辺より一段上がった弁室が目印となる。

平面図

縦断面図

空気弁室
内部に空気弁φ150mmが設置されている。
空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔
を兼ねている。

空気弁工番号

1号空気弁工

路線名

東部幹線用水路

緯度

35 ° 35 ' 41.11 "

経度

140 ° 23 ' 04.46 "

関連事業名

説明図

管理施設・配管・模式図

凡 例	
空 気 弁	⊙空
マンホール(人孔)	Ⓜ

【管理人孔について】

1号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理用孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。
管内へ入る際は以下の手順により行う。
1. 空気弁制水弁を開にして本管内の水位を低下。
2. 空気弁フランジ蓋を取り外す。

空気弁工番号		4号空気弁工			路線名		東部幹線用水路		緯度		35°35'26.30"		
					関連事業名					経度		140°23'15.87"	
国営 受益面積 (ha)	水田	3,800 (3,110)		国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量	5.45m ³ /S	施設容量	5.45m ³ /S	空気弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	7.35	
	畑	(1,870)											
	計	5,670 (4,550)								国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	0.36	

概要

※受益面積欄上段の数字は松漏支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段()は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松漏支線分を含まない）の受益面積を表示している。
空気弁は山武市道10112号線下に設置された地下埋設施設である。道路上の排水柵2箇所に挟まれた親子蓋(φ900mm×600mm)のマンホールが目印となる。

平面図

縦断図

弁室人孔（マンホール）

4号空気弁工の空気弁（φ150mm）はこのマンホール下の弁室内に設置されている。
空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔を兼ねている。

留意事項

類似構造の空気弁工(空気弁φ150mm)が下流に17ヵ所存在するが別紙一覧表での整理により平面図・縦断図は省略した。
各空気弁工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。

空気弁工番号

4号空気弁工

路線名

東部幹線用水路

緯度

35 ° 35 ' 26.30 "

経度

140 ° 23 ' 15.87 "

説明図

管理施設・配管・模式図

4号空気弁工

東部幹線用水路

M

空

凡 例	
空 気 弁	空
マンホール(人孔)	M

【管理人孔について】

4号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理用孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。

管内へ入る際は以下の手順により行う。

1. 空気弁制水弁を開にして本管内の水位を低下。

2. 1により溜まった空気弁室内の排水は水中ポンプにより弁室外へ排出。

3. 空気弁フレンジ蓋を取り外す。

管理設備調書一覧表

[空気弁]

路線名	施設名	位置情報		国営受益面積(ha)			国営計画流量(m ³ /s)			施設規模(φ mm)		備考
		緯度	経度	水田	畑	計	水田	畑	計	管路口径	空気弁口径	
東部幹線用水路	5号空気弁工	35° 35'13.24"	140° 23'36.03"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	8号空気弁工	35° 34'34.94"	140° 24'12.36"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	12号空気弁工	35° 34'24.65"	140° 24'26.67"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	13号空気弁工	35° 34'26.67"	140° 24'24.65"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	15号空気弁工	35° 34'12.56"	140° 24'22.08"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	16号空気弁工	35° 33'55.59"	140° 24'13.66"	3.800 (3.110)	1.870 (1.440)	5.670 (4.550)	5.45		5.45	φ 1800mm	φ 150mm	マンホール
	18号空気弁工	35° 33'31.11"	140° 24'04.43"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	19号空気弁工	35° 33'12.07"	140° 23'48.95"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	20号空気弁工	35° 32'59.84"	140° 23'41.04"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	21号空気弁工	35° 32'42.89"	140° 23'28.17"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	22号空気弁工	35° 32'34.56"	140° 23'23.16"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	23-1号空気弁工	35° 32'14.92"	140° 23'13.12"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	24号空気弁工	35° 32'09.84"	140° 23'08.39"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	25号空気弁工	35° 32'07.04"	140° 22'56.03"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	26号空気弁工	35° 31'52.62"	140° 23'01.14"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	28号空気弁工	35° 31'38.79"	140° 22'52.89"	2.740 (2.050)	1.440 (1.010)	4.180 (3.060)	3.44		3.44	φ 1500mm	φ 150mm	マンホール
	49号空気弁工	35° 28'15.38"	140° 21'22.73"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 150mm	マンホール

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画上、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



5号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



8号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



12号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



13号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



15号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



16号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



18号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



19号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



20号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



21号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



22号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



23-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



24号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



25号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



26号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)



28号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)

.....

.....

.....

.....

.....



49号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ150mm)

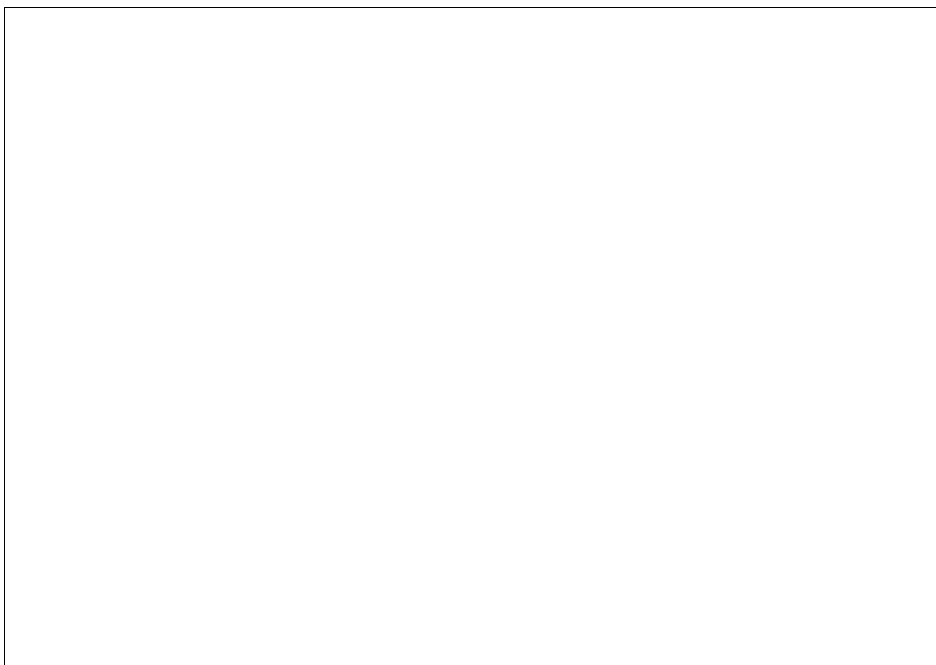
.....

.....

.....

.....

.....



.....

.....

.....

.....

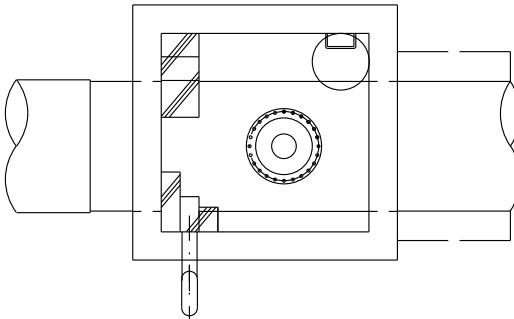
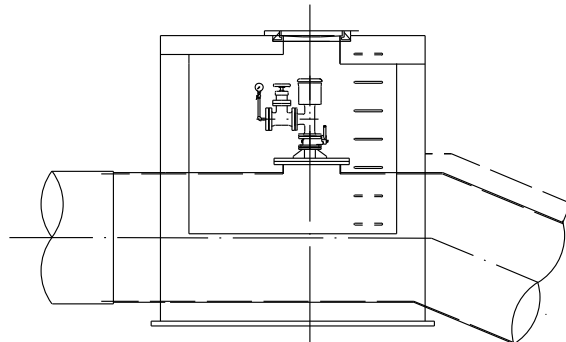
.....

.....

.....

空気弁工番号

10-1号空気弁工

			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 31 ' 17.63 "					
			関連事業名			経度	140 ° 22 ' 40.44 "					
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,900 (1,210) 1,010 (580) 2,910 (1,790)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 2.11m ³ /S	施設容量 2.11m ³ /S	空気弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	3.83 1.60			
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位				
概要			※受益面積欄上段の数字は松漣支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松漣支線分を含まない）の受益面積を表示している。 空気弁工は東金市道4453号線下に設置された地下埋設施設である。道路上に2箇所設置されたマンホール と道路脇の通気管が目印となる。 水路を挟んだ数メートル先には7-2号排泥工施設が設置されている。									
平面図			縦断図									
												
			弁室人孔（マンホール） 10-1号空気弁工の空気弁（φ100mm）はこのマンホール下の弁室内に設置されている。 空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔を兼ねている。 弁室への進入はこのマンホールから行う。 									
留意事項			類似構造の空気弁工(空気弁φ100mm) が下流に23ヵ所存在するが、別紙一覧表での整理により平面図・縦断図は省略した。 各空気弁工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。									

空気弁工番号 10-1号空気弁工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 31 ' 17.63 "
	関連事業名		経度	140 ° 22 ' 40.44 "

説明図

管理施設・配管・模式図

凡 例	
空 気 弁	⊙ _空
マンホール(人孔)	⊙ _M

【管理人孔について】

10-1号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理用孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。

管内へ入る際は以下の手順により行う。

1. 空気弁制水弁を開にして本管内の水位を低下。
2. 1により溜まった空気弁室内の排水は水中ポンプにより弁室外へ排出。
3. 空気弁フレンジ蓋を取り外す。

管理設備調書一覧表

「空気弁」

路線名	施設名	位置情報		国営受益面積(ha)			国営計画流量(m ³ /s)			施設規模(φ mm)		備考
		緯度	経度	水田	畑	計	水田	畑	計	管路口径	空気弁口径	
東部幹線用水路	10-2号空気弁工	35° 31'09.90"	140° 22'35.77"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	11号空気弁工	35° 31'05.00"	140° 22'29.05"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	35号空気弁工	35° 30'37.43"	140° 22'16.14"	1.900 (1.210)	1.010 (580)	2.910 (1.790)	2.11		2.11	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	36号空気弁工	35° 30'25.74"	140° 22'10.96"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	37号空気弁工	35° 30'16.58"	140° 22'06.78"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	37-1号空気弁工	35° 30'15.93"	140° 22'06.69"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	38号空気弁工	35° 30'07.01"	140° 22'04.41"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	41号空気弁工	35° 29'41.40"	140° 21'54.59"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	41-1号空気弁工	35° 29'32.35"	140° 21'39.87"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	42号空気弁工	35° 29'24.65"	140° 21'39.04"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	43号空気弁工	35° 29'11.94"	140° 21'34.29"	1.760 (1.070)	960 (530)	2.720 (1.600)	1.96		1.96	φ 1350mm	φ 100mm	マンホール
	44号空気弁工	35° 28'50.68"	140° 21'27.48"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	50号空気弁工	35° 28'05.28"	140° 21'14.63"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	50-1号空気弁工	35° 27'53.92"	140° 21'13.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	51号空気弁工	35° 27'47.77"	140° 21'10.04"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	52号空気弁工	35° 27'32.88"	140° 21'01.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	53号空気弁工	35° 27'19.74"	140° 20'48.25"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	54号空気弁工	35° 27'00.81"	140° 20'49.73"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1100mm	φ 100mm	マンホール
	55号空気弁工	35° 26'45.83"	140° 20'46.03"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 1000mm	φ 100mm	マンホール
	56号空気弁工	35° 26'24.96"	140° 20'47.02"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	57号空気弁工	35° 26'09.61"	140° 20'46.98"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	58号空気弁工	35° 25'53.79"	140° 20'48.16"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール
	59号空気弁工	35° 25'47.32"	140° 20'47.32"	1.350 (660)	750 (320)	2.100 (980)	1.36		1.36	φ 900mm	φ 100mm	マンホール

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画上、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



10-2号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



11号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



35号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



36号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



37号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



37-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



38号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



41号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



41-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



42号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



43号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



44号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



50号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



50-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



51号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



52号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



53号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)

工事中

54号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



55号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



56号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



57号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



58号空気弁工

(構造及び規模)

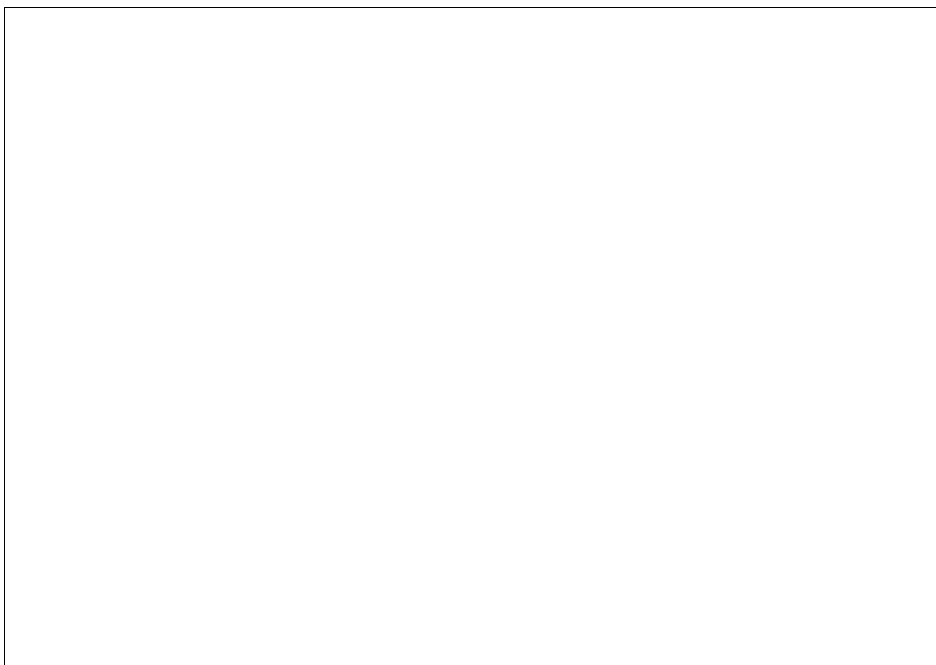
・空気弁(φ100mm)

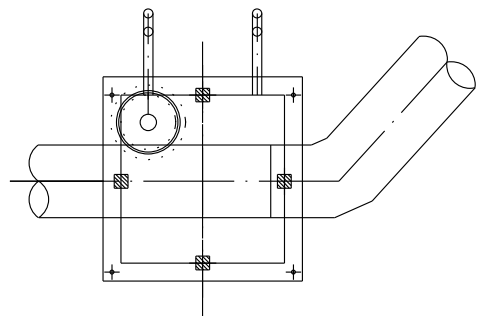
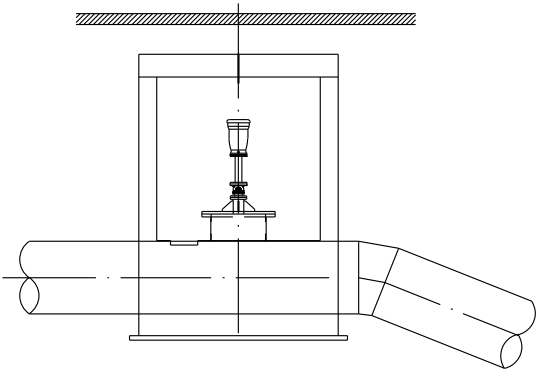


59号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ100mm)



空気弁工番号 60号空気弁工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 25 ' 27.33 "		
			関連事業名			経度	140 ° 20 ' 46.00 "		
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	1,350 (660) 750 (320) 2,100 (980)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 1.36m³/S	施設容量 1.36m³/S	空気弁工付近 標高(m)	地盤高 管中心高	5.89 2.98
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位	
概要		※受益面積欄上段の数字は松瀧支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、 下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松瀧支線分を含まない）の受益面積を表示している。 空気弁工は長生村道2068号線下に設置された地下埋設施設である。内谷川東郷支線水路横断橋手前の 道路に設置されたマンホールと道路脇の通気管が目印となる。 数メートル先の内谷川東郷支線水路沿いに14号排泥工施設が設置されている。							
平面図				縦断面図					
									
				弁室人孔（マンホール） 60号空気弁工の空気弁（φ75mm）はこのマンホール 下の弁室内に設置されている。 空気弁は東部幹線用水路管内の点検用管理孔を兼ねている。 					
				留意事項					
類似構造の空気弁工(空気弁φ75mm) が下流に9ヵ所存在するが、別紙一覧表での整理により平面図・縦断面図は省略した。 各空気弁工における構造の詳細確認は施設管理図を参照のこと。									

空気弁工番号		路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 25 ' 27.33 "
60号空気弁工		関連事業名		経度	140 ° 20 ' 46.00 "
説明図					

管理施設・配管・模式図

凡 例	
空 気 弁	⊙空
マンホール (人孔)	Ⓜ

【管理孔について】

60号空気弁は、東部幹線用水路の空気弁機能のほか東部幹線用水路の管内点検用の管理孔（φ600mm）としての機能も兼ねている。

管内へ入る際は以下の手順により行う。

1. 空気弁制水弁を開にして本管内の水位を低下。
2. 1により溜まった空気弁室内の排水は水中ポンプにより弁室外へ排出。
3. 空気弁フレンジ 蓋を取り外す。

管理設備調書一覧表

[空気弁]

路線名	施設名	位置情報		国営受益面積(ha)			国営計画流量(m ³ /s)			施設規模(φ mm)		備考
		緯度	経度	水田	畑	計	水田	畑	計	管路口径	空気弁口径	
東部幹線用水路	61号空気弁工	35° 25'27.33"	140° 20'46.00"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	62号空気弁工	35° 25'12.18"	140° 20'44.56"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	63号空気弁工	35° 24'52.13"	140° 20'43.41"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	64号空気弁工	35° 24'47.03"	140° 20'53.01"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	65-1号空気弁工	35° 24'40.15"	140° 21'09.69"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	65-2号空気弁工	35° 24'39.01"	140° 21'10.97"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	71号空気弁工	35° 24'11.41"	140° 21'08.51"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	72号空気弁工	35° 23'41.89"	140° 21'20.41"	1,350 (660)	750 (320)	2,100 (980)	1.36		1.36	φ 800mm	φ 75mm	マンホール
	73号空気弁工	35° 23'12.50"	140° 21'18.95"	690 (0)	430 (0)	1,120 (0)	0.20		0.20	φ 400mm	φ 75mm	マンホール

※上段の数字は松潟支線分を含んだ面積(事業計画上、東部幹線に寄る受益面積)、
下段()は、国営単独分(松潟支線分を含まない)の受益面積を表示している。



60号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



61号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



62号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



63号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



64号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



65-1号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



65-2号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

.....



71号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

.....



72号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)

.....

.....

.....

.....

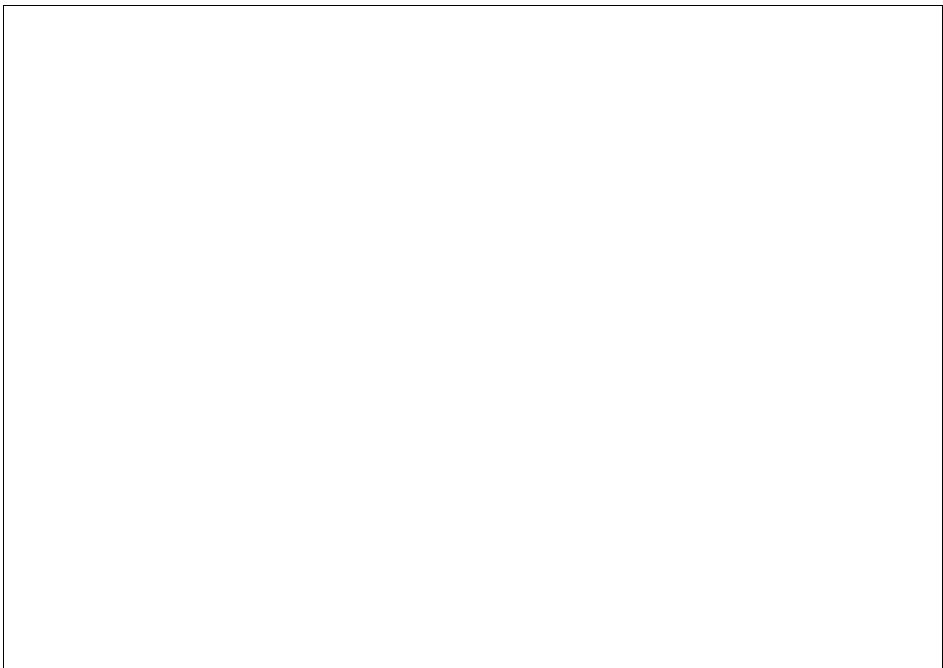
.....



73号空気弁工

(構造及び規模)

・空気弁(φ75mm)



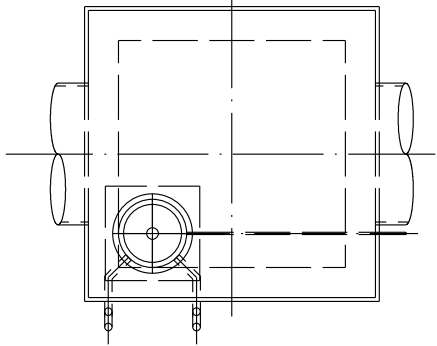
流量計番号			1号流量計室工		路線名		東部幹線用水路		緯度		35°35'36.06"	
					関連事業名				経度		140°23'05.03"	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	3,800 (3,110) 1,870 (1,440) 5,670 (4,550)	国営 計画流量 (m³/S)	計	最大流量 5.45m³/S	施設容量 5.45m³/S	流量計室付近 標高(m)		地盤高 管中心高		11.17 4.04	
							国営幹線 水位(m)		静水位 動水位			

概要

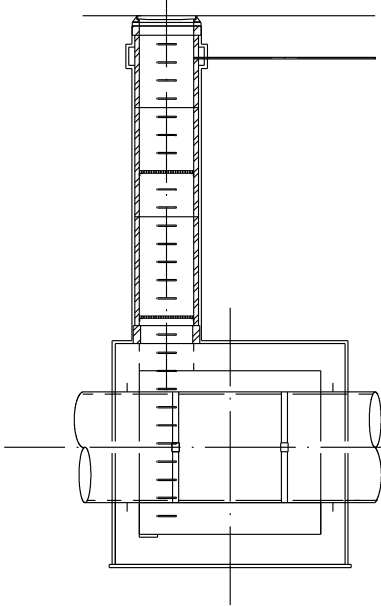
※受益面積欄上段の数字は松漣支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段（ ）は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松漣支線分を含まない）の受益面積を表示している。

流量計室は東部幹線用水路の管理用道路下に設置された地下埋設施設である。
東部幹線用水路の始点から2号制水弁工までの中間地点に位置し、道路上に設置されたマンホールと道路脇に設置された通気管が目印となる。

平面図



縦断面図



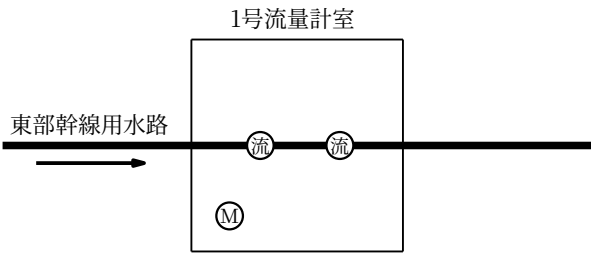
点検用人孔（マンホール）
流量計はこのマンホール下の東部幹線本管
の側面に設置されている。



流量計番号	1号流量計室工	路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 36.06 "
		関連事業名		経度	140 ° 23 ' 05.03 "

説明図	
-----	--

管理施設・配管・模式図



凡 例	
マンホール(人孔)	Ⓜ
超音波流量計	Ⓢ

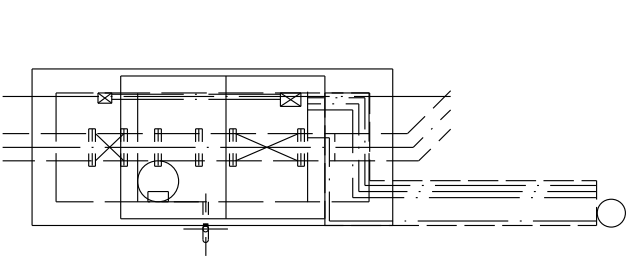
流量計番号 第2流量計室工			路線名	東部幹線用水路		緯度	35 ° 23 ' 07.94 "	
			関連事業名			経度	140 ° 21 ' 18.56 "	
国営 受益面積 (ha)	水田 畑 計	690 (0) 430 (0) 1,120 (0)	国営 計画流量 (m ³ /S)	計	最大流量 0.20m ³ /S	施設容量 0.20m ³ /S	流量計室付近 標高(m)	地盤高 管中心高
							国営幹線 水位(m)	静水位 動水位

概要

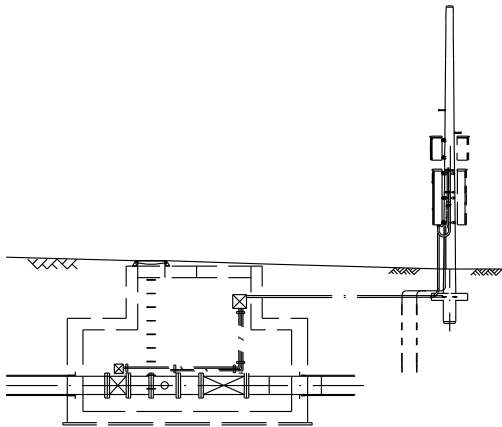
※受益面積欄上段の数字は松潟支線分を含んだ面積（東部幹線の計画用水量全体の受益面積）、下段() は、上段数字の内数である東部幹線単独分（松潟支線分を含まない）の受益面積を表示している。

流量計室は国道128号線と長生村道3336号線との交差部付近長生村道3336号線下に設置された地下埋設施設である。オートアールズ長生店脇村道上に設置されたマンホールと電柱が目印となる。

平面図



縦断面図



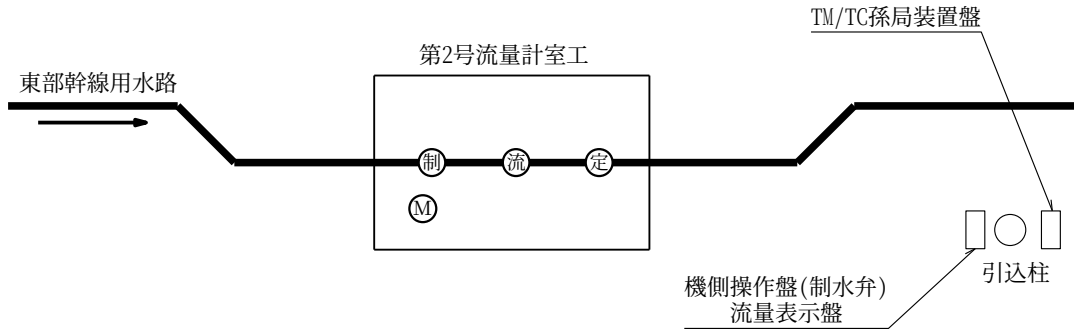
点検用人孔（マンホール）
第2流量計室はこのマンホール下に設置されている。

機側操作盤・孫局
管理用制水弁の遠隔操作と現地操作の切り替え
はここで操作を行う。上部には流量表示器が設置
されている。
裏面には遠隔操作装置盤（TM/TC孫局）が併設
され、制水弁はここから操作。



流量計番号 第2流量計室工			路線名	東部幹線用水路	緯度	35 ° 35 ' 41.11 "	
			関連事業名		経度	140 ° 23 ' 04.46 "	

管理施設・配管・模式図



凡 例	
マンホール(人孔)	Ⓜ
制水弁	ⓐ
電磁流量計	ⓑ
定流量弁	ⓒ

【制水弁について】

第2流量計室工の管理用制水弁は、電動バタフライバルブであり、第2揚水機場中央管理所からの遠隔操作で全閉・全開が可能なほか、現地孫局からも操作可能である。また、機側操作盤により遠隔操作と現地操作の切り替えが可能である。



東部幹線分水工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



1号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



1号流量計室工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



2号制水弁工



1号排泥工



4号空気弁工



5号空気弁工



3号制水弁工



2号排泥工



7号空気弁工

(※手前のマンホールは
2号排泥工の仕切弁室)



8号空気弁工



12号空気弁工



13号空気弁工



4号排泥工



15号空気弁工



16号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



東金東分木工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



4号制水弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



4-1号排泥工



18号空気弁工



5号排泥工



19号空気弁工



20号空気弁工



5-1号排泥室工



21号空気弁工



5-2号排泥工



22号空気弁工



5号制水弁



23-1号空気弁工



24号空気弁工



6号排泥工



25号空気弁工



26号空気弁工

工事中

7号排泥工

※東金市による北幸谷川
改修工事実施中により現
地立入不可であったこと
から撮影できず。



8号排泥工



28号空気弁工



福岡東分水工



6号制水弁工



7-1号排泥工



10-1号空気弁工



7-2号排泥工



10-2号空気弁工



11号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



9号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



35号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



大網東第1分水工



36号空気弁工



37号空気弁工



9-1号排泥工



37-1号空気弁工



38号空気弁工



10号排泥工



大網東第2分水工



7号制水弁工



41号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....



11号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....



41-1号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....



42号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



11-1号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



43号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



8号制水弁工



本納東分木工1



本納東分木工2



44号空気弁工



12号排泥工
(8-1号制水弁工併設)



49号空気弁工



50号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



50-1号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



12-2号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



東郷東第1分水工



51号空気弁工



12-3号排泥工



52号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



12-4号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



53号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



東郷東第2分水工



9号制水弁工

工事中

54号空気弁工

※千葉県による新川水路
改修工事実施に伴う改築
工事中であることから写真
は省略。

工事中

12-5号排泥室工

※千葉県による新川水路

改修工事実施に伴う改築

工事中であることから写真
は省略。



55号空気弁工



東郷東第3分水工



12-6号排泥工



56号空気弁工



57号空気弁工



高根東第1分水工



58号空気弁工



13号排泥工



59号空気弁工



高根東第2分水工



10号制水弁工



60号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



14号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



61号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



62号空気弁工



高根東第3分水工



14-1号排泥工



63号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



64号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



高根東第4分水工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



65-1号空気弁工



14-2号排泥工



65-2号空気弁工



16号排泥工



71号空気弁工



13号制水弁工



17号排泥工



72号空気弁工



17-1号排泥工



茂原東分水工



サイホンブレーカー



18号排泥工



73号空気弁工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



2号流量計室
(定流量弁工併設)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



19号排泥工

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....



一宮川注水工吐水槽



一宮川注水工注水口

